

小牧の教育

令和8年度

小牧市教育委員会

は し め に

小牧市におきましては、平成 29 年 3 月に「小牧市教育大綱」を策定し、その基本理念を“郷土の歴史を礎に、市民とともに愛と夢、生きる力を育みます。”と掲げ、教育分野における指針を定めました。小牧市教育委員会では、それを踏まえ、平成 29 年度から令和 8 年度までの、中長期的かつ総合的な展望に立った「小牧市教育振興基本計画」を策定し、様々な施策を着実に進めているところです。

また、小牧市はこれまで、将来を担うこどもたちの夢への挑戦を地域全体で応援する「こども夢・チャレンジ No.1 都市」を宣言し、本計画を道標として様々な学びや体験の機会を創出してきました。

学校教育においては、次代を生きる子どもたちが、持続可能な社会の担い手となり、それぞれの幸せや生きがいを感じられるよう、「総合的な学習の時間」を「こまき『夢☆チャレンジ』科」と称し、探究的に学習に取り組んでいます。また、熱中症対策として、小中学校にマイボトル給水機と体育館の空調機を設置しました。

さらに、特に児童生徒数の減少が著しい篠岡地区において、令和 7 年度に「学校を考える会」を立ち上げ、地域の方々と協議を進め、令和 8 年 2 月には「篠岡地区学校再編計画」を策定しました。令和 9 年度は、第 1 期として、既存の校舎を利用した再編を実施します。

社会教育においては、地域に住む人々が健康で輝き、生き生きとしたまちづくりにつながるよう生涯学習・生涯スポーツ・文化振興事業を進めています。

施設整備の面では、小牧市の歴史資料等を展示する「こまき歴史発見館」を新たに整備しました。

今後とも、小牧市の教育行政にご理解をいただき、本市教育の発展のために、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 9 月

小牧市教育委員会
教育長 中川 宣芳

目 次

I	教育委員会	
1	令和8年度教育委員会基本方針	1
2	教育長及び教育委員	8
3	教育委員会事務局等の組織図	9
4	分掌事務	10
5	教育財政	14
6	幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校の児童生徒数等	15
7	小牧市教育大綱・小牧市教育振興基本計画	18
II	学校教育（令和7年度実績）	
1	幼児教育	23
2	小中学校教育	25
III	社会教育（令和7年度実績）	
1	生涯学習のまちづくりの推進	48
2	公民館事業	51
3	青少年教育	60
4	成人教育	66
5	文化及び芸術の振興	68
6	図書館	92
7	社会体育	99
IV	資料（令和8年度）	
1	歴代教育長・教育委員・教育委員長	111
2	附属機関委員	115
3	施設	120

小牧市民憲章

市制施行30周年

わたくしたち小牧市民は、小牧を

- 1 健康で生きがいのある 明るいまちにしましょう
- 1 感謝と思いやりのある あたたかいまちにしましょう
- 1 緑とやすらぎのある 美しいまちにしましょう
- 1 高い文化と教養のある 豊かなまちにしましょう
- 1 希望と働く喜びのある 活気あふれるまちにしましょう

小牧市民憲章は、市民の道しるべとして、健康で明るい生活を送るため、また、市民一人ひとりの心構えや果たすべき役割を明確化し、心ふれあう豊かな社会を形成するため、小牧市制施行30周年を記念し、昭和60年5月15日に制定されました。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言(要約)

市制施行60周年

私たちは、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援することで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまちになっていくと確信します。

そこで、私たち小牧市民は、

- 一、こどもの夢への挑戦を応援することで元気になるまち
- 一、世代を越えて市民のつながりが生まれるまち
- 一、支え合うことでさらに住みよくなっていくまち

このようなまちの実現に向け、小牧市を「こども夢・チャレンジNo.1都市」とすることを、ここに宣言します。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言は、小牧市の特徴である「子育て支援が充実している」姿を一層高め、「こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまち」を小牧市全体で目指し、市内外に発信していくため、小牧市制施行60周年を記念し、平成27年5月17日に宣言しました。

I 教育委員会

I 教育委員会

教育委員会は、以下のとおり本年度の教育委員会基本方針を決定しました。

学校教育をはじめとして社会教育、社会体育など教育の分野では、各般にわたり課題が山積しています。厳しい社会情勢ではありますが、問題解決のため積極的に取り組んでまいります。

1 令和 8 年度教育委員会基本方針

(1) 小牧市教育委員会基本方針の位置付け

小牧市教育委員会は、「小牧市教育大綱」を踏まえ、中長期的かつ総合的な展望に立って計画的に教育課題の解決を図るため、平成 29 年度から令和 8 年度を計画期間とする「小牧市教育振興基本計画」（以下、「基本計画」という。）を平成 29 年 3 月に策定しました。

また、令和 3 年度には、変化する教育環境、社会情勢などに適切に対応するため、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間で取り組むべき施策を明らかにするよう中間見直しを行いました。

基本計画は、本市の教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、本市の教育が目指す基本的な方向や今後推進すべき具体的施策を明らかにするものです。

基本計画の推進に当たっては、担当課による自己評価や必要な改善等を実施し、課題解決に向けて、効果が高まるよう努めていますが、特に予算に即した喫緊の課題に対する取組や適時適切な取組を「重点施策」として位置付けた「小牧市教育委員会基本方針」を年度ごとに立案する体制としています。

そして「重点施策」については、年度ごとに担当課が進捗状況や課題等を整理して自己評価を行い、その結果を外部委員会において進捗状況の確認・評価を行い、その結果を広く公表することとしています。

(2) 令和 8 年度の重点施策

基本計画を推進するため、本年度の基本方針を以下のとおり定め、令和 8 年度における重点施策とします。

基本目標 1 時代を切り拓く力を育む「学び」の充実

- 📖 人と関わり合いながら学ぶ「学び合う学び」を進め、様々な課題に関心を持って主体的に学ぶことで、確かな学力を育みます。
- 📖 理数教育や国際教育などを充実し、未来にはばたく人材を育成するとともに、特別支援教育や外国人児童生徒への教育を推進します。

具体的な取組	内容	担当課
「学び合う学び」や「探究的な活動」を支える教員研修の実施（施策１）	「学び合う学び」を土台に据えた学級・授業づくりや、「探究的な活動」に役立つ実技講座や児童・生徒理解、指導にかかわる研修を効率的・効果的に実施します。	学校教育課
ＩＣＴを活用した学びの充実（施策３）	第２次小牧市学校教育ＩＣＴ推進計画に基づき、ＩＣＴ教育のパイオニア校において、クラウドサービスや１人１台端末を効果的に活用した学びについて研究・実践します。	学校教育課
学校生活サポーターの配置（施策４）	特別支援学級に在籍する児童生徒をよりきめ細やかに支援するため、学校生活サポーターを増員し、教員や特別支援教育相談員などとの連携により支援体制を充実します。	学校教育課
必要に応じた語学相談員の配置（施策５）	日本語教育が必要な児童生徒の支援体制において、語学相談員を配置し、通訳、翻訳、学習支援、進路相談などを行うことにより、外国人児童生徒の教育の充実を図ります。	学校教育課

基本目標２ 認め合い高め合う豊かな心と、健やかな体の育成

- 📖 国や郷土を愛する心と自己肯定感を養うとともに、いのちを大切にする心や他者を思いやる心を育みます。
- 📖 体力の向上や学校給食を通じた食育、読書活動の推進など、心身の健全な成長を支えます。

具体的な取組	内容	担当課
児童生徒の心のケアの実施（施策６）	スクールソーシャルワーカーを配置し、貧困やネグレクト、ヤングケアラーなどといった家庭環境に要因がある児童生徒の支援体制を強化します。学校・家庭・地域との連携により不登校の未然防止を図るとともに早期対応を強化します。	学校教育課
学校図書館の運営支援（施策８）	学校司書と連携しながら、児童生徒の探究的な学びを支援します。当館の豊富な蔵書と司書のスキルを活用し、身の回りの疑問や多様なテーマに興味を持つきっかけづくりと、膨大な情報から適切なものを選び取る情報リテラシー向上に資する取組を行います。	図書館

栄養教諭・学校栄養職員等 による食育・給食指導 (施策１０)	望ましい食習慣や食生活を習得させる食育指導の充実を図るとともに、給食に地元農産物を取り入れ、地元農業や郷土料理などへの関心や、食に対する知識と理解を深めます。	学校給食課
--------------------------------------	---	-------

基本目標３ 未来につなげる、安全で充実した教育環境づくり

- ☞ 放課後などの学習支援や経済的な支援を充実するなど、一人ひとりのこどもの学びを保障し、教育の質を高めます。
- ☞ 学校施設の整備など、すべてのこどもが安心して学ぶことができる環境を整えます。

具体的な取組	内容	担当課
児童生徒に対する学習支援の実施（施策１１）	「駒来塾」を開設し、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員ＯＢなどの協力を得て、学習支援活動に取り組めます。	こども政策課
こども夢・チャレンジ事業の展開（施策１３）	こどもの将来の夢を育むきっかけとして様々な事業を展開します。 ①学習支援事業「駒来塾」 ②夢にチャレンジ助成金支給事業 ③大学生等海外留学奨学金支給事業 ④こども夢サポーター制度 ⑤高校生等社会参画事業	こども政策課
学校施設の改修 (施策１４)	老朽化・狭あい化が進んでいる米野小学校の改築に向け計画的に事業を進めます。令和６年度に実施した実施設計に基づき、改築工事に着手します。 また、小学校（８校）、中学校（６校）の校舎棟の照明設備をＬＥＤ照明に更新するなど、学校施設の計画的な改修に取り組めます。	教育総務課
ＩＣＴ機器の整備・充実 (施策１４)	小中学校運動場及び体育館のアクセスポイントを更新します。	学校教育課

学校再編推進事業 (施策14)	「小牧市新たな学校づくり推進計画(令和6年9月策定)」に基づき、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化の課題が特に大きい、巾下地区・篠岡地区・北里地区の3地区において、篠岡地区では学校再編に向けたスクールバス等の通学に関する調整や学校施設の改修等の具体的な準備を進めます。巾下地区、北里地区では地区別の学校再編計画の策定を進めます。	教育総務課
--------------------	--	-------

基本目標4 家庭・地域・学校との連携による教育の推進

- 📎 家庭教育・地域教育を大切にし、地域ぐるみでの教育、子育て、青少年健全育成活動を展開します。
- 📎 家庭・地域・学校の連携を強化し、学校運営への多様な人材の参画・協力を推進します。

具体的な取組	内容	担当課
教育・保育の質の向上 (施策16)	第一幼稚園の公開保育及び小牧市幼年期教育連携推進会議を通じ、幼稚園・認定こども園・保育園・小中学校の連携を推進するとともに、幼保小の架け橋期カリキュラムの視点を踏まえ、幼児期からの発達過程に配慮した心の教育の充実に努めます。	幼児教育・保育課
放課後子ども総合プラン (施策18)	放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携して、共通プログラムを企画・運営する小牧市版放課後子ども総合プランを全小学校で実施し、多様な活動プログラムに参加できる機会を提供します。	こども政策課

基本目標５ 豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくり

- ☞ 誰もが、学びたいときに学びたいことを学ぶことができる環境を整備します。
- ☞ 自らの学びを社会や地域に還元し役立てるようにするとともに、互いに学びあい育ちあう関係を創出します。

具体的な取組	内容	担当課
市民講座の実施 (施策２１)	公募により市民が主体となつて行う市民企画講座を実施するとともに、多様な分野の学習機会を提供するために、各公民館の企画による市民講座を実施します。	文化・スポーツ課 市民センター管理課
生涯学習を推進する人材育成講座の開催 (施策２２)	学びの成果を地域活動などにつなぐため、人材育成のための講座の開催や、地域協議会などと連携し、地域の生涯学習活動のきっかけづくりや活性化に取り組みます。	文化・スポーツ課
図書館・各図書室等の連携 (施策２３)	図書館サービスの効率化を図るため、図書館・各図書室等の役割分担と連携の強化を図ります。市民センター図書室については、週１日休室日を設けるとともに利用者自身で貸出・返却ができるように機器の導入を行ったうえで、午後５時以降の無人運営を実施します。	図書館
こまき市民交流テラス(ワクティブこまき)との連携 (施策２４)	ワクティブこまきと連携して、生涯学習をきっかけに、地域活動などへつながる取組を推進します。	文化・スポーツ課

基本目標６ 誰もが参加できるスポーツ活動の展開

- ☞ 運動やスポーツを通して、あらゆる活動の土台となる基礎体力を育みます。
- ☞ 生涯にわたって誰もがスポーツを楽しむことができる機会や環境をつくりまします。

具体的な取組	内容	担当課
スポーツ教室の開催 (施策２５)	小牧市スポーツ協会や加盟競技団体などと連携して市民スポーツ教室を開催し、広く市民がスポーツに親しみながら健康や体力を増進する機会を提供します。	文化・スポーツ課
こども対象のスポーツ教室の開催(施策２６)	こどもたちが幅広くスポーツに親しむため、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体などと連携し各種目のスポーツ教室を実施します。	文化・スポーツ課

地域クラブの検討 (施策26)	令和8年度から始まる改革実行期間中に、これまで学校単位で部活動として行われてきた活動を、地域の取組として関係者が連携して支える環境を整備します。	学校教育課 文化・スポーツ課
アジア競技大会の開催と活用(施策27)	2026年9月に開催されるアジア競技大会に向け大会機運を高め、市民がスポーツを「する、みる、ささえる」活動を推進し、国際交流など多様なきっかけを創出します。また、大会実施により生み出された様々な価値をまちづくりに生かします。	文化・スポーツ課

基本目標7 市民がともにつくる文化・芸術の振興

📁 文化・芸術の鑑賞機会を充実するとともに、市民の創作活動を支援します。

📁 市民と様々な文化団体との連携により、文化振興活動を支える体制を整備します。

具体的な取組	内容	担当課
身近で良質な鑑賞機会の充実(施策29)	こまき市民文化財団と連携し、バリアフリーコンサートなどの実施により、広く市民に良質な鑑賞機会を提供します。	文化・スポーツ課
こどもを対象とした文化事業の実施(施策29)	学校アウトリーチ事業やこども向けの演劇公演など、こどもたちが文化に親しみ身近に感じてもらう機会を提供します。	文化・スポーツ課
市民文化活動への支援(施策31)	市内文化団体の活動の活性化、環境づくりが図られるようサポートを行います。	文化・スポーツ課
文化財団の活動支援(施策32)	こまき市民文化財団が、文化振興の推進、文化芸術の普及のため、質が高く柔軟な事業企画、文化団体の活動のサポート、効率的・効果的な運営ができるよう支援を行います。	文化・スポーツ課

基本目標８ 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承

- 👉 郷土の歴史・文化に親しむことで、郷土への愛着や誇りを醸成します。
- 👉 市民や関係機関と行政が協力し、郷土の歴史・文化遺産の保護、活用を進め、次世代へ継承します。

具体的な取組	内容	担当課
文化財の指定・保護 (施策３３)	新たに保護すべき文化財などを見出す調査を行い、指定・保護を進めます。	文化財課
歴史資料展示施設の整備 (施策３４)	小牧市の歴史や文化財を来訪者に分かりやすく解説するため、歴史資料展示施設をうぴオ４階市民ギャラリー跡に整備します。また、多くの方に来訪いただけるよう周知や利活用に努めます。	文化財課
史跡小牧山整備基本計画の推進（施策３５）	大手道で行ってきた発掘調査の成果を基に、整備のための基本計画を策定します。また、小牧市青年の家廃止・解体撤去に伴い、創垂館周辺について歴史的価値の向上に資する整備を行うため、関係機関と協議のうえ、基本設計を行います。	小牧山課
史跡小牧山の歴史的価値や魅力の啓発（施策３５）	史跡小牧山のガイダンス施設である小牧山城史跡情報館（れきしるこまき）や戦国時代の小牧山について展示解説する小牧山歴史館において、小牧山城にまつわる歴史や発掘調査の成果、史跡整備の情報など、タイムリーな企画展示や講座等を開催するなどにより、来館者への解説の充実を図るとともに、広く情報発信に努めます。	小牧山課

2 教育長及び教育委員



教育長 中川宣芳



委員（教育長職務代理者） 加藤由美



委員 野中亮秀



委員 古田重紀



委員 瀬瀬由美

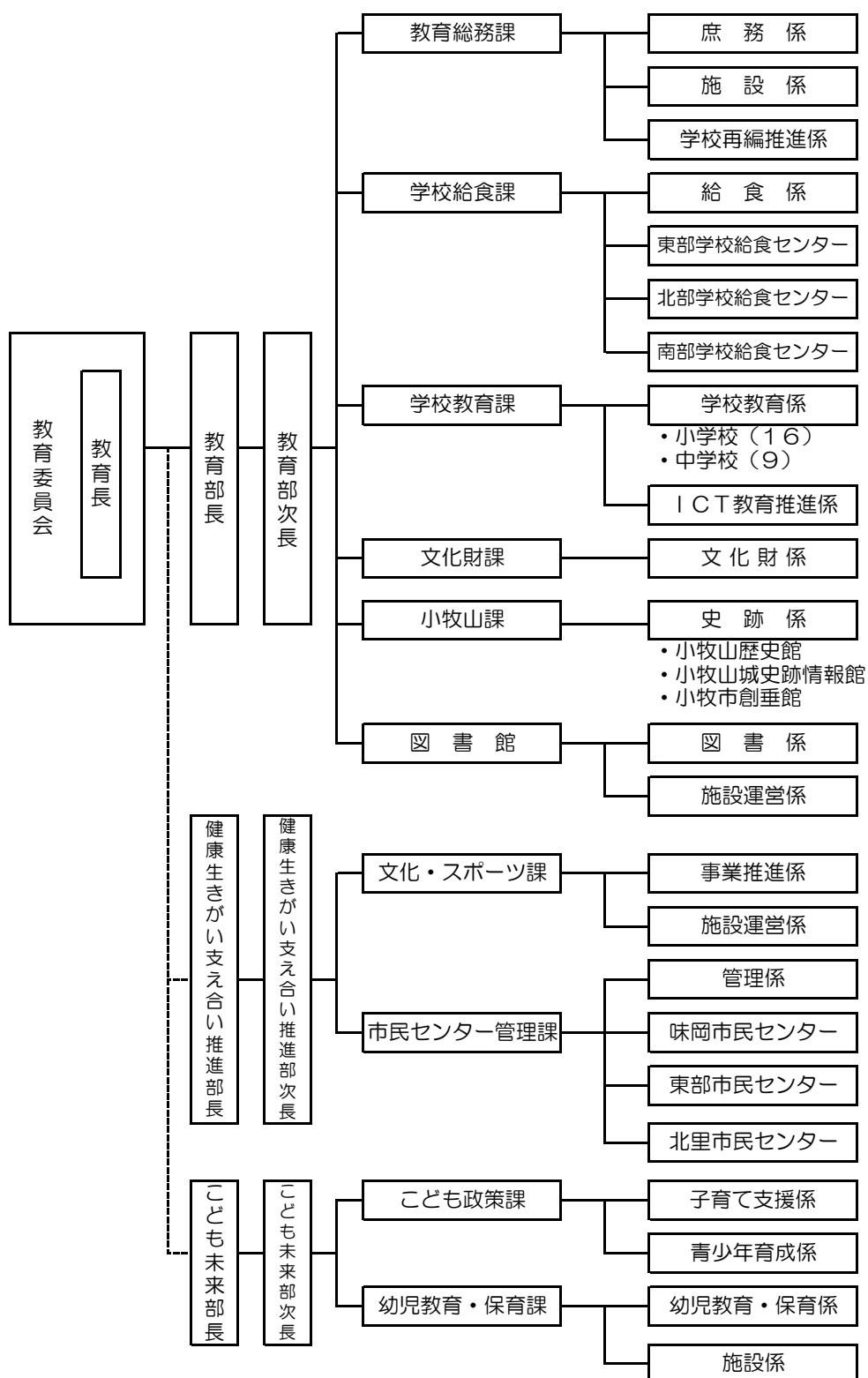
令和8年4月1日現在

	氏名	住所	任期
教育長	中 川 宣 芳	小牧市桃ヶ丘	平成30. 4. 1～ 令和 9. 3. 31
委員 (教育長職務代理者)	加 藤 由 美	小牧市中央	令和 元. 10. 21～ 令和 9. 10. 20
委員	野 中 亮 秀	小牧市大字文津	令和 4. 7. 1～ 令和10. 9. 30
委員	古 田 重 紀	小牧市田県町	令和 4. 10. 1～ 令和 8. 9. 30
委員	瀬 瀬 由 美	小牧市大字上末	令和 6. 10. 1～ 令和10. 9. 30

※平成27年4月1日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に基づき、平成27年4月1日より教育委員長を廃止し、常勤特別職の教育長を設置した。

3 教育委員会事務局等の組織図

(令和8年4月現在)



※文化・スポーツ課及び味噌・東部・北里市民センターで、生涯学習に関する事務、文化に関する事務、スポーツに関する事務について、令和2年度より補助執行

※こども政策課及び幼児教育・保育課で、青少年教育に関する事務、幼児教育に関する事務について、平成26年度より補助執行

4 分掌事務

教育委員会事務局

(1) 教育総務課

① 庶務係

- a 委員会及び委員会の会議に関すること。
- b 委員会規則、規程等の制定及び改廃に関すること。
- c 通学区域の設定及び変更並びに通学路に関すること。
- d 教育行政に関する相談に関すること。
- e 儀式及び表彰に関すること。
- f 公印の保管に関すること。
- g 教育費の予算及び決算の総括に関すること。
- h 事務局職員、県費負担教職員以外の教職員及びその他教育機関の職員の任免、給与その他の人事に関すること。
- i 教育に係る調査及び統計に関すること。
- j 文書の収受、発送、整理及び保存に関すること。
- k 他の課及び係に属しないこと。

② 施設係

- a 学校施設（小学校及び中学校の施設に限る。以下同じ。）の財産の管理に関すること。
- b 学校（小学校及び中学校をいう。以下同じ。）の施設及び設備の整備に関すること。
- c 学校施設の環境衛生に関すること。
- d 学校施設の修繕に関すること。

③ 学校再編推進係

- a 学校の再編に関すること。
- b 学校の設置、廃止及び変更に関すること。

(2) 学校給食課

① 給食係

- a 学校給食の計画に関すること。
- b 学校給食の献立作成に関すること。
- c 学校給食用物資の選定に関すること。
- d 学校給食費に関すること。
- e 学校給食センターに関すること。
- f 学校給食関係団体に関すること。
- g その他学校給食に関すること。

② 東部学校給食センター

- a 学校給食の調理、運搬及び回収に関する事。
- b 学校給食物資の購入及び管理に関する事。
- c 給食センターの管理及び運営に関する事。
- d 文書及び公印の保管に関する事。

③ 北部学校給食センター

- a 学校給食の調理、運搬及び回収に関する事。
- b 学校給食物資の購入及び管理に関する事。
- c 給食センターの管理及び運営に関する事。
- d 文書及び公印の保管に関する事。

④ 南部学校給食センター

- a 学校給食の調理、運搬及び回収に関する事。
- b 学校給食物資の購入及び管理に関する事。
- c 給食センターの管理及び運営に関する事。
- d 文書及び公印の保管に関する事。

(3) 学校教育課

① 学校教育係

- a 県費負担教職員の任免その他の進退の内申等に関する事。
- b 県費負担教職員の服務の監督及び勤務成績の評定並びに研修に関する事。
- c 学校の組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導に関する事。
- d 教科用図書その他の教材の取扱いに関する事。
- e 学齢児童及び生徒の就学並びに児童及び生徒の入学、転学及び退学に関する事。
- f 教職員、児童及び生徒の保健、安全、厚生及び福利に関する事。
- g 就学援助に関する事。
- h いじめ及び不登校に関する事。
- i 愛日地方教育事務協議会に関する事。
- j 教育の研究及び振興に関する事。
- k 家庭教育に関する学習機会の充実にに関する事。
- l その他学校教育に関する事。

② ICT教育推進係

- a 学校におけるICT環境の整備に関する事。
- b 学校におけるICTの利活用に関する事。

(4) 文化財課

① 文化財係

- a 文化財の保護に関すること。
- b 文化財保護審議会に関すること。
- c 文化財施設（小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館及び小牧市創垂館を除く。）に関すること。
- d ユネスコ活動に関すること。

（５） 小牧山課

- ① 史跡係
 - a 史跡小牧山の発掘、調査及び研究に関すること。
 - b 史跡小牧山の整備に関すること。
 - c 小牧山歴史館、小牧山城史跡情報館及び小牧市創垂館に関すること。

（６） 図書館

- ① 図書係
 - a 図書館資料の収集、利用及び保管に関すること。
 - b 図書館資料の案内及び相談に関すること。
 - c 閲覧所及び配本所に関すること。
 - d 読書会、研究会、展示会等の主催及び開催の奨励に関すること。
 - e 図書館協議会に関すること。
 - f 文書及び公印の保管に関すること。
 - g 他の係に属しないこと
- ② 施設運営係
 - a 建物及び附属設備の維持管理に関すること。

健康生きがい支え合い推進部

※文化・スポーツ課及び味噌・東部・北里市民センターで、生涯学習に関する事務、文化に関する事務、スポーツに関する事務について、令和２年度より補助執行

（１） 文化・スポーツ課

- ① 事業推進係（抜粋）
 - a 社会教育委員等に関すること。
 - b 生涯学習の推進並びにまなび創造館、図書館、味噌市民センター、東部市民センター及び北里市民センターの生涯学習事業の総合調整に関すること。
 - c 生涯学習審議会に関すること。
 - d 芸術及び文化の振興に関すること。
 - e 公民館運営審議会に関すること。
 - f 公民館事業の企画及び運営に関すること。
 - g 成人教育の振興に関すること。

- h 社会教育関係団体及び文化団体の育成指導に関すること。
- i 社会教育資料の刊行及び配布に関すること。
- j 社会体育及びレクリエーションの指導奨励に関すること。
- k 社会体育団体の育成指導に関すること。
- l 学校の体育施設の開放に関すること。
- m スポーツ推進審議会に関すること。

② 施設運営係（抜粋）

- a 体育施設（小牧市スポーツ公園運動施設を除く。）に関すること

（２） 市民センター管理課（味岡・東部・北里市民センター）

① 管理係（抜粋）

- a 公民館事業の実施に関すること。
- b 市民センターの管理及び運営に関すること。

こども未来部

※こども政策課及び幼児教育・保育課で、青少年教育に関する事務、幼児教育に関する事務について、平成 26 年度より補助執行

（１） こども政策課

① 子育て支援係（抜粋）

- a 放課後児童健全育成事業に関すること。

② 青少年育成係（抜粋）

- a 青少年に関する施策の企画及び調整に関すること。
- b 青少年の健全育成に関すること。
- c 青少年教育の振興に関すること。

（２） 幼児教育・保育課

① 幼児教育・保育係（抜粋）

- a 小牧市市立幼稚園(以下「幼稚園」という。)の設置、廃止及び変更に関すること。
- b 幼稚園の財産の管理に関すること。
- c 幼稚園の施設及び設備の整備に関すること。
- d 幼稚園の組織編制、教育課程及び学習指導に関すること。
- e 幼稚園に係る入園、転園及び退園に関すること。
- f 幼稚園の職員の任免、給与その他人事に関すること。
- g 幼稚園の職員及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- h 私立幼稚園に関すること。

5 教育財政

(1) 一般会計と教育費の当初予算の推移

(単位：千円)

年度	R4	R5	R6	R7	R8
一般会計 総額 (A)	58,475,000	60,379,000	62,440,000	70,356,000	72,680,000
教育費 (B)	9,229,184	9,838,355	9,613,436	10,454,332	11,315,264
一般会計に 占める教育 費の割合 (B) / (A)	15.8%	16.3%	15.4%	14.9%	15.6%

(2) 令和8年度教育費当初予算

(単位：千円)

款項目	本年度	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国県支出金	地方債	その他	
教育費	11,315,264	954,724	1,500,700	2,136,310	6,723,530
1 教育総務費	3,269,330	587,866		669,276	2,012,188
教育委員会費	3,930				3,930
事務局費	993,066	18		585,118	407,930
教育指導費	849,998	33,365		20,058	796,575
給食センター費	1,422,336	554,483		64,100	803,753
2 小学校費	2,729,072	226,223	855,500	589,027	1,058,322
学校管理費	1,321,380			289,067	1,032,313
教育振興費	99,452	4,177		79,960	15,315
学校建設費	1,308,240	222,046	855,500	220,000	10,694
3 中学校費	926,352	3,393		245,469	677,490
学校管理費	834,312			166,621	667,691
教育振興費	92,040	3,393		78,848	9,799
4 幼稚園費	242,868	123,599		79	119,190
幼稚園費	242,868	123,599		79	119,190
5 社会教育費	2,961,054	13,643	547,100	337,459	2,062,852
社会教育総務費	257,895				257,895
公民館費	658,658		113,400	61,439	483,819
市民会館費	597,312		350,500	83,231	163,581
青少年育成費	217,076	8,105	83,200	57,363	68,408
文化振興費	200,700			39,669	161,031
文化財保護費	208,404	1,025		82,138	125,241
小牧山費	209,975	4,513		3,163	202,299
歴史館費	89,101			10,208	78,893
図書館費	521,933			248	521,685
6 保健体育費	1,186,588		98,100	295,000	793,488
保健体育総務費	363,405			225,949	137,456
体育施設費	823,183		98,100	69,051	656,032

6 幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校の児童生徒数等

(1) 幼稚園

① 公立幼稚園（市立第一幼稚園）

令和8年5月1日現在

年度	3歳児 (人)	4歳児 (人)	5歳児 (人)	計 (人)	学級数計	教職員 (人)
R8	15	8	12	35	3	11
R7	6	11	14	31	3	11

② 私立幼稚園

令和8年5月1日現在

名称	3歳児 (人)	4歳児 (人)	5歳児 (人)	計 (人)	学級数計	教職員 (人)	認可年月
美 鳥	57	59	63	179	11	19	S41.3
小 牧	30	30	26	86	6	25	S4.4
市之久田	41	29	46	116	8	15	S44.3
名北ゼンヌ	28	30	31	89	7	15	S44.12
美 鳥 第 二	37	62	51	150	9	17	S51.2
太 陽	40	40	60	140	7	13	S51.3
あ お そ ら	7	10	15	32	4	11	S51.3
桃花台ひまわり	23	31	29	83	7	14	S57.2
計	263	291	321	875	59	129	

※旭ヶ丘第二幼稚園は平成29年4月に、外山幼稚園は平成31年4月に、幼保連携型認定こども園へ移行

R7計	302	316	357	975	60	125
-----	-----	-----	-----	-----	----	-----

(2) 幼保連携型認定こども園

令和8年5月1日現在

名称	3歳児 (人)	4歳児 (人)	5歳児 (人)	計 (人)	学級数計	教職員 (人)	認可年月
旭ヶ丘第二	11	16	12	39	3	18	H29.4
とやま	51	50	46	147	8	32	H31.4
計	62	66	58	186	11	50	

R7計	67	58	65	190	11	47
-----	----	----	----	-----	----	----

(3) 小学校

令和8年5月1日現在

学校名	児童数 (人)	単式 学級数	特別支援 学級数	教員数 (人)
小 牧	658	21	7	50
村 中	298	12	3	27
小牧南	731	23	6	49
三ツ渕	253	11	3	25
味 岡	815	25	6	52
篠 岡	219	8	2	24
北 里	410	14	5	38
米 野	701	21	6	46
一 色	505	17	6	46
小 木	296	12	3	33
小牧原	599	19	5	45
本 庄	521	18	5	38
桃ヶ丘	243	9	2	25
陶	156	6	1	15
光ヶ丘	255	11	2	28
大 城	225	8	3	28
計	6,885	235	65	569
R7計	7,226	248	59	591

(4) 中学校

令和8年5月1日現在

学校名	生徒数 (人)	単式 学級数	特別支援 学級数	教員数 (人)
小 牧	730	21	4	55
味 岡	656	19	3	47
篠 岡	141	6	2	27
北 里	382	12	3	37
応 時	720	21	3	54
岩 崎	433	12	2	38
桃 陵	354	11	3	43
小牧西	238	9	3	32
光ヶ丘	241	9	3	31
計	3,895	120	26	364
R7計	3,970	116	24	355

7 小牧市教育大綱・小牧市教育振興基本計画

(1) 「小牧市教育大綱」「小牧市教育振興基本計画」の基本事項

① 策定の趣旨・期間

「小牧市教育大綱」は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、小牧市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものとして、平成 29 年 3 月に策定しました。

「小牧市教育振興基本計画」は、「教育基本法」に基づき、「小牧市総合計画」の教育分野を更に具体化するとともに、「小牧市教育大綱」を踏まえ、中長期的かつ総合的な展望に立つて計画的に教育課題の解決を図るために、平成 29 年 3 月に策定し、令和 4 年 3 月に改定しました。

計画期間はともに平成 29 年度から令和 8 年度までとします。

教育大綱と教育振興基本計画の概要

	教育大綱	教育振興基本計画
根拠法	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）	教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）
策定主体	地方公共団体の長 ※総合教育会議において要協議	地方公共団体
範囲等	地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱 ※必須	地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画 ※努力義務

② 策定の経過 ～市民・保護者・児童生徒の声の反映～

教育大綱及び教育振興基本計画の策定に当たっては、市長と小中学校の教諭及び小中学生の児童を持つ保護者との意見交換会を開催するとともに、市民・児童生徒・保護者に対するアンケート調査などを実施し、実際に教育現場に立つ学校教諭や保護者、児童生徒等の意見の反映に努めました。

また、市長と教育委員からなる「小牧市総合教育会議」、市長を本部長とした「市政戦略本部」や、有識者を含めた外部委員で組織する「小牧市教育振興基本計画検討会議」、庁内組織の「小牧市教育振興基本計画調査検討委員会」などの各種検討機関での検討を経て策定しました。

教育振興基本計画の中間見直しに当たっては、有識者を含めた外部委員で組織する「小牧市教育振興基本計画推進会議」、庁内組織の「小牧市教育振興基本計画調査検討委員会」での協議を経て改定しました。

(2) 「小牧市教育大綱」

① 基本理念と目指す人間像

【基本理念】

郷土の歴史を礎に、
市民とともに
愛と夢、生きる力を育みます。

【小牧市が目指す人間像】

自他を愛する
心や、国及び郷土を
愛する心を
大切にできる人

夢を持ち、
志を抱いて、
社会の発展に
貢献できる人

主体的に学び・
考え、社会の中で
たくましく生きる
ことのできる人

(3) 「小牧市教育振興基本計画」

基本目標 1 時代を切り拓く力を育む「学び」の充実

【主な取組】

施策 1 確かな学力の定着を目指す「学び合う学び」を基本とした授業の推進

- 互いに関わり合い学び合う授業の実施
- 「学び合う学び」を支える教職員研修の実施
- 「学び合う学び」を推進する ICT の活用

施策 2 地域の特徴を生かした学校教育の推進

- 学校地域コーディネーター派遣事業の実施
- 学校教育における人材との連携・地域資源の活用

施策 3 未来にはばたく人材の育成

- 地元企業等と連携したキャリア教育の推進
- ICT を活用した学びの充実

施策 4 特別支援教育の推進

- 合理的配慮の浸透
- 特別支援教育相談員の配置

施策 5 外国にルーツを持つ児童生徒への教育の推進

- 日本語初期教室の実施・整備
- 外国にルーツを持つ生徒等への進路相談の実施



基本目標 2 認め合い高め合う豊かな心と、健やかな体の育成

【主な取組】

施策 6 他者とのふれあいを通じた自己肯定感の育成

- 自己肯定感獲得動画を活用した啓発
- 児童生徒の心のケアの実施

施策 7 道徳心・社会性の育成

- 生命尊重に関する教育の推進
- いじめの未然防止と指導の強化

施策 8 こどもの読書活動の推進

- 小中学生にすすめるブックリストの活用
- 学校図書館・市立図書館連絡協議会の開催

施策 9 こどもの体力の向上・健やかな体づくり

- 学校体育における体づくりの推進
- 運動系部活動における支援体制の整備

施策 10 学校給食や授業を通じた食育の推進

- 栄養教諭・学校栄養職員等による食育・給食指導
- 給食における地産地消



基本目標 3 未来につなげる、安全で充実した教育環境づくり

【主な取組】

施策 11 就学や進学に対する支援

- 児童生徒に対する学習支援の実施

施策 12 教職員等の資質や指導力の向上

- 学力向上のためのスーパーバイザーの招聘
- 今日的な教育課題に対応した研修の実施

施策 13 総合的な子育て・教育を支える環境の整備

- こども夢・チャレンジ事業の展開
- 教育センター（仮称）の整備

施策 14 将来を見据えた学校施設づくり

- 学校施設長寿命化計画の見直し
- 将来的な学校規模の適正化に関する調査・研究

施策 15 地域と連携した安全な環境づくり

- 地域における通学路の交通安全活動の促進
- 家庭・地域との連携による児童生徒の安全確保



基本目標 4 家庭・地域・学校との連携による教育の推進

【主な取組】

施策 16 成長の基礎を支える幼児教育・保育の推進

- 教育・保育の質の向上

施策 17 家庭教育の育みへの応援

- 家庭教育推進事業の実施（PTA 連絡協議会との連携）
- 幼児期家庭教育学級事業の実施

施策 18 地域でこどもを育む意識の醸成

- 地域 3 あい事業の実施
- 放課後子ども教室の実施

施策 19 学校等と地域との連携強化

- 学校教育における人材との連携・地域資源の活用
- コミュニティ・スクールの推進

施策 20 青少年健全育成活動の展開

- 小牧市少年センターにおける活動の充実
- 小牧市青少年健全育成市民会議の支援



基本目標5 豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくり

【主な取組】

施策21 学習機会の提供と学習環境づくり

- 大学との連携講座の開催

- オンラインを活用した講座の実施

施策22 学びの成果が活用できる仕組みの充実

- 生涯学習を推進する人材育成講座の開催

- 団体等による自主展示・発表活動への支援

施策23 図書館サービスの充実

- レファレンスサービスの充実
- 電子図書館の充実

施策24 生涯学習活動を支える体制の整備

- SNSを活用した生涯学習情報の提供
- こまき市民交流テラス（ワクティブこまき）との連携



基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開

【主な取組】

施策25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進

- ノルディックウォーク講習会の開催

- 地域スポーツ教室の開催

施策26 こどものスポーツ活動の充実

- 親子スポーツ教室の開催
- 地域指導者による学校運動部活動の指導

施策27 競技スポーツの振興

- パークアリーナ小牧を活用した大会等の誘致
- アジア競技大会に向けた気運の醸成

施策28 市民のスポーツ活動を支える環境整備

- ニュースポーツ等の普及促進
- スポーツ指導者の養成



基本目標7 市民がとらにつくる文化・芸術の振興

【主な取組】

施策29 文化・芸術の鑑賞機会の充実

- こどもを対象とした鑑賞事業の実施
- 鑑賞講座の開催
- アウトリーチ事業の実施

施策30 文化・芸術活動への参加促進

- 学校や地域における児童生徒の活動促進
- 文化団体の連携、公益事業に関する支援

施策31 市民の創作活動への支援

- 舞台芸術祭の開催支援
- 全国・世界大会出場に関する支援

施策32 文化振興を支える体制の整備

- 文化・芸術施設の環境整備
- 文化財団の支援



基本目標8 郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承

【主な取組】

施策33 文化財の保護

- 埋蔵文化財の調査・記録保存
- 文化財の修理等への必要な助成

施策34 歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用

- 古文書・歴史に関する講座等の開催
- 民俗資料の整理・活用
- 文化財の紹介

施策35 史跡小牧山の整備・活用

- 史跡小牧山主郭地区整備基本計画の推進
- 史跡小牧山の歴史的価値や魅力の啓発

施策36 地域資源を生かしたふるさと学習の推進

- 郷土教育・ふるさと教育の推進
- 文化財啓発イベントの開催

施策37 市民との協働や大学と連携した歴史・文化の継承活動の展開

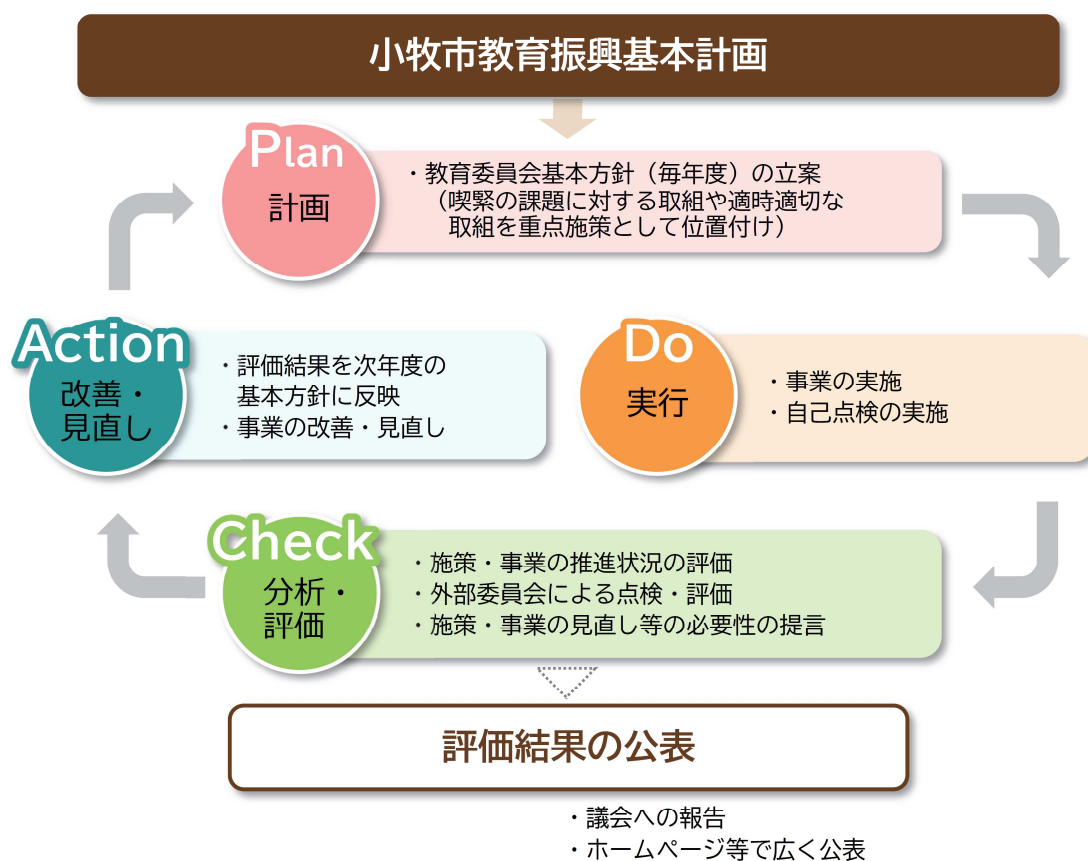
- 地域の伝統文化・伝統芸能の継承・保存
- 歴史ガイドボランティアと連携した展示資料・文化財等の解説



（４） 計画の推進体制

① PDCAサイクルによる推進

本計画の施策・事業は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき毎年度実施している、「教育に関する事務執行状況の点検・評価」により実施状況を点検・評価し、より良い教育行政の推進に努めます。



② 評価指標の考え方

本市の最上位計画である「小牧市まちづくり推進計画 第1次基本計画」では、目標にどの程度近づいているのかを客観的に確認するための指標を設定しています。「教育・子育て」「文化・スポーツ」等の、本計画に関連する分野についても複数の指標が設定されているため、これらの指標を合わせて参考とします。また、指標については、外部委員会を中心に、施策目的に対する取組の状況を評価・分析する中でその有効性を確認し、必要に応じて見直しを行っていきます。

Ⅱ 学校教育（令和7年度実績）

Ⅱ 学校教育

21 世紀という変化の激しい時代に生き、その新しい時代を意欲的に創造していく子どもたちの基礎づくりをするのが学校教育の役割であります。

小牧市教育委員会では、基本目標である「時代を切り拓く力を育む『学び』の充実」、「認め合い高め合う豊かな心と、健やかな体の育成」、「未来につなげる、安全で充実した教育環境づくり」、「家庭・地域・学校との連携による教育の推進」の達成に向けて、各学校は子どもの実態を的確に把握し、保護者・地域の考え・要望を基に特色ある学校づくりを展開してきました。また、少人数による指導、ICT等を活用した指導など学習指導の充実に努めています。

1 幼児教育

（１） 重点施策 幼・保・小・中の連携強化 ―幼年期教育連携推進会議―

教育委員会では平成 8 年度から年 1 回、公私立の幼稚園と保育園の教諭・保育士合同の幼児教育講演会を開催してきました。これは、いじめ・不登校への対応が学校教育の大きな課題となるにつれ、幼稚園・保育園にも共通理解を持ってもらい、幼児教育の充実を目指そうと始めたものです。教育ビジョンでは「幼児期からの心の教育の推進」として幼・保・小の連携を一層深めることなどをうたっていました。これを受け、平成 13 年 7 月に「幼年期教育推進会議」を設置しました。推進会議の委員は 10 人で、幼稚園代表、保育園代表、小学校代表のほか、家庭児童相談員など幼児・児童に関係する部署の職員及び学識経験者です。平成 29 年度に「幼年期教育連携推進会議」と名称を変更し、令和 7 年度は会議を 2 回と幼稚園教諭・保育士・小中学校教諭を対象とした研修会を 2 回開催しました。

これからも会議や研修を重ね、継続した子どもたちの育ちや学びについての理解を深め、効果的な交流・連携や幼児期からの心の教育の推進を図っていきます。

（２） 公立幼稚園（市立第一幼稚園）

市立第一幼稚園は、昭和 41 年の開園以降、市内の私立幼稚園とともに本市の幼児教育の発展に努めています。市内唯一の公立幼稚園として、障がいの傾向がある幼児の受入に配慮するとともに、幼・保・小・中の連携の要としての役割を果たすよう努めています。幼・保・小・中の連携として、幼稚園教育における「主体的に取り組む幼児の育成」について専門家を招へいし、研究・研修を実施しています。

また、保護者の多様なニーズに対応するため、令和 2 年 4 月から預かり保育を開始しました。

（３） （仮称）小牧市立第一こども園の建設

市立第一幼稚園は、園舎の老朽化が進んでおり、園児数は減少が続いています。

また、近隣の大山保育園は、園舎の老朽化が進んでおり、遊戯室を保育室として活用するなど保育室が慢性的な飽和状態にあること等の問題を抱えています。

これらの課題を解決するため、第一幼稚園と大山保育園を統合した公立の認定こども園を、令和 9 年 4 月に開園することを目指し、令和 7 年度は旧第一幼稚園の解体工事を完了し、（仮称）小牧市立第一こども園の建設工事を進めました。

（４） 私立幼稚園

市内の私立幼稚園 8 園及び私立認定こども園 2 園は、小牧市私立幼稚園連合協議会を組織し、「私立幼稚園だより」の発行や P T A、教員研修等の事業を行っています。これに対し、市から私立幼稚園連合協議会運営費補助として 100 万円を補助しています。個々の私立幼稚園及び私立認定こども園には、緊急地震速報装置維持管理費補助として 129,600 円を上限とした補助を、個々の新制度未移行私立幼稚園には、遊具及び教材の購入等を対象として 1 園当たり 10 万円＋園児 1 人当たり 3,000 円を上限とした補助を行っています。

令和 7 年度	交付対象	補助金額（円）
私立幼稚園連合協議会運営費補助	私立幼稚園連合協議会	1,000,000
私立幼稚園等緊急地震速報装置維持管理費補助	市内私立幼稚園及び 私立認定こども園	210,636
私立幼稚園運営費補助	市内新制度未移行私立 幼稚園	3,108,000

（５） 幼児教育・保育の無償化

令和元年 10 月から幼児教育・保育の無償化が実施され、幼稚園・保育所・認定こども園等を利用する 3 歳から 5 歳までの子どもたちの入園料・保育料が無償となっています。（幼稚園については、月額上限 25,700 円）

小牧市独自の少子化対策事業として、小牧市に住所を有し、幼稚園に通う 3 番目以降の児童の入園料・保育料について全額補助しています。また、給食の副食費については上限 4,900 円とし、補助をしています。

令和 7 年度	対象園児数（人）	無償化金額（円）
幼児教育・保育の無償化（施設等利用給付費）	11,576	292,357,956
入園料・保育料の補助（3 番目以降）	67	2,330,650
給食の副食費の補助（3 番目以降）	1,179	3,019,038

※対象園児数は、月延べ人数で表記しています。



第一幼稚園での保育の様子

2 小中学校教育

(1) 新しい学校づくり

① コミュニティ・スクール（学校運営協議会）

平成 30 年度から、市内全小中学校で一斉にコミュニティ・スクールを導入するため、これまでの学校評議員会（平成 13 年度～29 年度）を発展的に解消し、新たに学校運営協議会を設置しました。

コミュニティ・スクールは、10 年、20 年後を目指し、地域と学校が連携・協力して子どもたちの豊かな学びと成長を支える風土づくり（地域とともにある学校づくり）を進めていこうとするものです。学校と学校運営協議会が「目指す子どもの姿」を話し合い、目標やビジョンを共有し、毎年、校長が作成する学校運営の基本方針を学校運営協議会で承認します。各学校の学校運営協議会委員（小学校 10 人、中学校 15 人以内）は、教育委員会が任命します。

② 特色ある学校づくり

平成 15 年度から実施している「新しい学校づくり事業」を平成 28 年度から新たにし、今まで以上に各小中学校が創意工夫し、地域の特性や人材を生かして特色ある教育活動を進めるよう、「特色ある学校づくり事業」を行っています。

令和 7 年度事業内容

学校名	主な内容
小牧小	かかわり学び、かかわり高め合う学校づくり～学びの質の向上、豊かな心の醸成、保護者・地域と共に子どもを支え、育てる関係づくり～
村中小	持続可能な社会の創り手の育成・確かな指導力をもつ教師をめざして・豊かな心をもつ児童の育成・地域とともにある学校づくり

小牧南小	持続可能な社会の創り手の育成・教師力の育成～学び合う学びを通して～・豊かな心の育成～地域とのかかわりを通して～
三ツ淵小	子どもを中心にした地域活性化事業・かかわり つながり 高め合う 授業づくり・地域とともに子どもを育てる「米づくり活動」・学習サポーター、ICT活用事業
味岡小	質の高い教育の確保・豊かな心づくりの取組・家庭や地域とともに育む味岡っ子
篠岡小	地域とともに行う学校づくり推進事業～持続可能な社会の創り手の育成、ふれあい活動、連携の基盤づくり～・小中連携教育を進めながら、学校づくり推進事業
北里小	心身共に健康で主体的な児童の育成・開かれた学校推進事業・親子、地域ふれあい活動推進事業
米野小	《心身の健康・体力》豊かな心と健康な体をつくる・《確かな学力・生きる力》とともに学び、ともに成長する・《豊かな人間性・社会性》地域とつながり、地域に愛される学校をつくる
一色小	授業力向上の取組・地域の特性を生かした教育・保護者、地域と手を携えた教育
小木小	だれもが居心地のよい笑顔あふれる学校づくり～教職員研修の充実・児童の心を育てる教育の充実・保護者、地域との連携～
小牧原小	つながる学びつながる心で原輝（GENKI）な学校づくり（持続可能な学校づくりで輝く・つながる学びで輝く・地域とつながり輝く・豊かにつながる心で輝く）
本庄小	住み続けられるまちづくりの担い手としての児童の育成～地域との連携、協働を通して～・子どもたちに確かな力を定着させるための授業づくりの推進・健やかな体と豊かな心を育むための学習活動の充実
桃ヶ丘小	地域に学び地域とともに歩む学校づくり・誰もが考えることを楽しめる授業づくり・つながる学びつながる居場所づくり
陶小	地域に学び、地域とともに歩む教育活動・学びを大切にする教育活動・活力と温かさのある教育活動
光ヶ丘小	持続可能な社会の創り手の育成・共に育む学力・地域の自然と私たち・地域、保護者との信頼関係の構築
大城小	子どもたちが豊かに学ぶ環境基盤の充実・子どもたちの豊かな心を育む学習活動の充実・地域と共に子どもを育てる地域コミュニティの推進
小牧中	未来の人材を育成する取り組み・人間関係づくりと豊かな心をはぐくむ取り組み・生徒と教師が学び合う取り組み
味岡中	SDGsの理解と行動化で共生力を育む・学び力を育む・豊かな心とかかわり力を育む・「輝く学校」への基盤づくり
篠岡中	「自ら学ぶ」生徒の育成・「豊かな心」をもつ生徒の育成・「たくましい」生徒の育成・地域とともにある学校づくり
北里中	自立への支援事業（学びを楽しむ、生き方を学ぶ・豊かな心を育む・地域とともに育つ）
応時中	持続可能な社会の創り手を育成する事業・豊かで潤いのある人間関係を構築し、自立した生徒の育成を促す事業・一人一人の学びを保障する事業・地域主体のコミュニティ・スクールを推進する事業
岩崎中	持続可能な社会の担い手の育成・主体的に学習に取り組む生徒の育成・温かい人間関係づくり・地域と共にある学校づくり
桃陵中	温かい心が通い合う学校づくり・生徒と教師が学び続ける学校づくり・家庭、地域とともにある学校づくり
小牧西中	絆プラン～夢の実現のために探究ができる生徒の育成・感動と思いやりで強い生徒を育む取組・生徒同士、教師と生徒のかかわりを深めるための活動・地域、保護者との連携、協働・西中の足跡づくり、情報発信、受信～
光ヶ丘中	ぼくたちはどう生きるか～ウェルビーイングを通してSDGsに迫る・地域貢献活動・上方講談師とのコラボ授業・光ヶ丘中学校版「夢の教室」・マイ課題をもつ、能動的・探究的な授業・関係作りと心作りの取り組み・学校、家庭、地域の繋がり・こまき「夢☆チャレンジ」科の取り組み～

③ J F A ころのプロジェクト「夢の教室」の実施

「夢の教室」とは、学校の授業（2コマ）を利用して、現役のプロサッカー選手などのトップアスリートが「夢先生」として、自らの体験をもとに「夢を持つこと、その夢に向かって努力することの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」などを講義と実技を通じて子どもたちに伝えることで、子どもの人格形成に資するものです。

平成26年5月23日にJ F A（公益財団法人日本サッカー協会）と協定を締結し、小学5年生を対象にクラス単位で実施しています。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見合わせました。令和3・4年度は、前年度に受講できなかった児童（6年生）に対して、オンラインによる実施をしました。令和5年度は5・6年生を対象に、令和6年度からは5年生を対象に対面で実施しています。

④ ジュニアスポーツ指導

小中学校におけるジュニアスポーツ指導については、平成25年度から中学校では、平日・土日・祝日ともに学校部活動主体での指導とし、これまでのジュニアクラブにおける地域指導者が引き続き指導者として関わるができるような体制（地域連携型部活動）づくりをしています。小学校については、これまで進めてきたジュニアクラブ化を定着させることで、地域社会全体で行われるジュニアスポーツ指導体制の確立をめざしていきます。

（2） 指導の充実

① 非常勤講師・非常勤養護教諭、スクールサポーター等の配置

平成13年度、少人数授業などきめ細かな学習指導や生徒指導の充実を目指して、市単独の非常勤講師（教員免許あり）を配置しました。現在では、小中学校に非常勤講師を配置し、各学校の状況に応じて、少人数授業をはじめとしてそれぞれ学校の必要とする場面で活用されています。

また、平成26年度より、県による複数配置基準に満たないものの、児童生徒数の多い小中学校に市単独の養護教諭を配置し、よりきめ細かな指導の充実に努めています。

教員免許がないスクールサポーターは授業を1人で行うことはできませんが、主としてクラスに入って児童生徒の指導で担任を補助する業務及び児童生徒の不登校の対応、個別の支援を必要とする児童生徒を支援する業務に就いています。

令和8年4月9日現在

種別	人数	配置先
市単独非常勤講師（教員免許あり）	17人	8小学校、9中学校

市単独非常勤養護教諭	7人	4小学校、3中学校
スクールサポーター	26人	全小中学校
学校生活サポーター	22人	14小学校、3中学校

② 小学校外国語活動の推進

学習指導要領により小学校外国語活動が開始する以前の平成11年度から、本市においては、小学校の英語活動に取り組んできました。ALT（外国人英語指導助手）を小学校にも配置するとともに、地域から英語活動協力員を小学校ごとに数人ずつ募り、担任を中心に、ALT、英語活動協力員が協力しあって、英語によるコミュニケーション活動をしてきました。

平成20年3月には、小学校学習指導要領改訂が告示され、平成23年度から小学校5・6年生は、「外国語活動」が年間35時間（週1時間）実施されました。実施に伴い、小牧市においては、平成20年度に、中学校の指導内容との連続性を考慮した市独自の英語活動のカリキュラム「小牧市英語活動レスンプラン」を作成し、平成21年度から市内全小学校で年間35時間の外国語活動（英語活動）を先行実施しました。

平成24年度からは、文部科学省より小学校外国語活動教材が配布され、小牧市もこの教材に基づいたカリキュラムによる外国語活動に取り組んでいます。外国語活動実施に当たっては、DVD教材、フラッシュカードなども活用して、児童同士が楽しく関わり合い、積極的にコミュニケーションをすすめられるように条件整備も進めています。

令和2年度から小学校で新学習指導要領が完全実施されました。5・6年生での外国語の教科化や、3・4年生での外国語活動の時間数の増加に伴い、ALT（外国語指導助手）および一人一台のタブレット端末を効果的に活用しながら、教育活動の充実を図っています。

③ キャリア教育の推進

平成18年度に県から「あいち・出会いと体験の道場」の委託事業を受けたことを機に、市内すべての中学校で職場体験学習を実施し、キャリア教育に取り組んでいます。

平成19年度からは、「小牧市キャリア教育推進委員会」を設置し、中学2年生が「職業人体験学習」という3日間程度の職場体験学習に臨んでいます。委員会は、学校・事業所・地域・保護者の代表で構成し、学校・地域が一体となって、生徒の「職業人」としての資質を育むことを目標として協議を進めています。平成28年度からは、県のキャリアスクールプロジェクト「つなぐ」がスタートし、市内全中学校が参加しています。各中学校では、3年間を見通したキャリア教育の一環として体験学習を位置づけ、生徒一人ひとりが自己の進路を選択・決定する能力や確かな勤労観・職業観を身につけるよう力を入れています。なお、令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中学2

年生の「職業人体験学習」を中止しました。令和４年度は、可能な学校から事業所での体験学習を再開しました。

小学校においては、平成２６年度より県の事業として「地域に学び・語り継ぐ キャリア教育」推進事業が始まりました。これは、高学年児童を対象に、地域の方を招いた講話や体験活動を通して、働くことや生きることについての考えを深めることを目的とした取り組みです。平成２９年度からは小学校においても県のキャリアスクールプロジェクト「つなぐ」がスタートし、モデル校となった学校において体験活動を取り入れた系統的なキャリア教育を推進しています。

④ 特別支援教育の充実

平成１９年４月から特別支援教育が実施されています。特別支援教育は、知的な遅れのない発達障がいも含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての園・学校において実施されるものです。さらに、特別支援教育は、障がいのある幼児児童生徒への教育にとどまらず、障がいの有無やその他の個々の違いを認識しつつ、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものであり、我が国の現在及び将来の社会にとって重要な意味を持っています。

小牧市においても、すべての幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善し、克服するため、園や学校を中心に、関係機関が連携し、支援体制の整備に努めています。

小牧市では、平成１４年４月に「こどもこころの相談室」を開設し、平成１８年度からは、相談支援の形態を改善、平成２７年度からは有識者や児童精神科医が園や学校を巡回し、学校の関係職員とともに支援をしています。

平成２０年度からは特別支援教育相談員、平成２４年度から平成２６年度には特別支援教育指導員も配置し、各校を巡回し、面談や発達検査・ケース検討などを行っています。

通級指導教室については、言語障がいの児童に対応する「ことばの教室」に加え、平成２１年度からは、通常学級に在籍する発達障がい児を対象にした「まなびの教室」を設置しました。市内全小中学校を担当教諭が巡回して指導に当たっています。

平成２５年度に医療的ケアを必要とする児童の入学に伴い、看護師資格所持者１人をスクールサポーター（業務の特殊性を考慮し、平成２６年度からは特別支援教育介助員）として配置し、愛知県医療療育総合センター中央病院の医師に指導、助言を受けながら、平成３０年度まで業務を行いました。令和６年度にあらたに１名の看護師を配置しました。

平成３０年度から、学校生活サポーターを配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒や学級全体に対する支援を行っています。

⑤ 宇宙航空教育活動に関する協定の締結

小牧市教育委員会と、JAXA（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）との間で、平成28年10月31日に宇宙航空教育活動を協働して推進するための協定を締結しました。

「宇宙航空」を素材にした教育活動の推進として、学校教育支援活動、社会教育支援活動、研修支援活動を実施していきます。

⑥ SDGsに関する協定の締結

小牧市教育委員会と、愛知教育大学との間で、令和3年8月31日に子どもたちの夢への挑戦を応援し、未来につながるまちづくり、SDGs（持続可能な開発目標）の実現をめざし、多様な分野で協力していくための協定を締結しました。

相互の人的・知的資源の交流を図り、子どもたちの健やかな成長、教職員の資質・能力の向上につながる取り組みを実施していきます。

（３） 通学区域の取り扱い

就学すべき学校の指定の変更や市外に住民登録がある児童生徒の就学を許可する場合の要件・手続については、平成9年4月に要綱を設けて運用しています。学校選択制については、学校と地域社会との結びつきが重要と考えておりますので、現時点では導入は検討しておりません。

（４） 次世代教育環境整備基金積立金

平成20年3月から次世代育成のための学校施設等教育環境整備事業の資金として基金を設け、平常時より積み立てを行うことで、将来予測される校舎の改築等の多額な事業費の支出に備えています。

令和7年度には、こまき応援寄附金及び基金利子で470,669,443円を積み立て、小中学校営繕工事及び給食センターの修繕及び給食調理用備品購入に係る費用に充てるために333,700,000円を取り崩したことにより、令和7年度末の現在高は5,124,579,589円になりました。

(5) 学校施設の整備

① 小学校施設管理事業

各小学校の光熱水費や修繕、下水道使用料、備品の購入等、学校運営が適切に行えるように経費を支出しました。

各校備品等購入状況

区分	主な内容等	金額（円）
一般備品	物置、シュレッダー、テーブル、紙折り機、折畳机、 収納棚、防犯カメラ付属品、視力検査器、拡大機 等	11,057,137
特別教室用備品	図書カウンター	1,304,600

② 小学校施設営繕事業

各小学校において老朽化している部分や教室を改修することで、安心して学べる環境整備を行いました。

学校名	区分	内容	工事費（円）
村中小学校 三ッ淵小学校	空調機更新工事	図書室南側（村中小）とコンピュータ室西側（三ッ淵小）の空調機の更新	7,315,000
小牧小学校 外 14 校	災害用バルク通信機器設置工事	災害用バルクの通信機器の設置	1,567,500
味岡小学校	屋外時計撤去工事	屋外時計の撤去	253,000
篠岡小学校	職員室空調機更新工事	職員室の空調機の更新	825,000
一色小学校	下水道接続工事	下水道の接続	46,159,300
	体育器具庫改築工事	体育器具庫の改築	12,217,700
	特別支援教室改修工事	特別支援教室の改修	1,386,000
	物置基礎設置工事	物置の基礎の設置	284,900
小木小学校	職員室東側空調機更新工事	職員室東側の空調機の更新	1,782,000
小牧原小学校	コンピュータ室北東側空調機更新工事	コンピュータ室北東側の空調機の更新	1,364,000
	正門門扉改修工事	正門門扉の改修	1,562,000

本 庄 小 学 校	コンピュータ室西側空調機更新工事	コンピュータ室西側の空調機の更新	1,364,000
	特別支援教室アコーディオンカーテン設置工事	特別支援教室のアコーディオンカーテンの設置	891,000
桃ヶ丘小学校	給食用リフト改修工事	給食用リフトの改修	4,994,000
	トイレ改修工事	校舎棟・体育館・プール棟トイレの洋式便器化工事	22,275,000
光ヶ丘小学校	変圧器改修工事	変圧器の改修	2,116,400
	トイレ改修工事	校舎棟・プール棟トイレの洋式便器化工事	28,759,500
	花壇解体工事	花壇の解体	1,958,000
	扇風機設置工事	普通教室の扇風機の設置	1,320,000
大城小学校	ことば・まなびの教室ウィンドエアコン設置工事	ことば・まなびの教室のウィンドエアコンの設置	1,397,000

③ 小学校教育振興設備整備事業

小学校学習指導要領及び理科教育振興法等に基づき、より効果的な授業展開を可能にするため教材の整備を進め、児童の発達段階に応じて実際に手に触れさせるなど「わかる授業」の教材整備を行いました。

区分	主な内容等	金額（円）
消耗品費	流水の働き実験器具、定温器、湯せん器、月の満ち欠け説明器	406,780
義務教育教材用備品	ミシン、電子キーボード、ポータブルワイヤレスランプ、マット、絵画作品乾燥棚 等	4,716,305
学校教育設備整備備品	百葉箱、気体測定器、双眼実体顕微鏡、てこの働き実験器具、人体解剖模型、顕微鏡 等	1,573,220
特別支援学級教材用備品	収納棚、掃除機、キーボード、落書きボード 等	900,823

④ 小学校施設整備事業

令和7年度から、米野小学校改築工事に着手する予定でしたが、入札不調になったため、工事スケジュールの見直しを行い、令和8年度からの工事着手に向け、設計内容の変更を行いました。

⑤ 中学校施設管理事業

各中学校の光熱水費や修繕、下水道使用料、備品の購入等、学校運営が適切に行えるように経費を支出しました。

各校備品等購入状況

区分	主な内容等	金額（円）
一般備品	防犯カメラ、講演台、スピーカー、片袖机、ピンスポットライト、シュレッダー、紙折り機 等	6,546,375
特別教室用備品	被服机、書架、ブックトラック	394,020

⑥ 中学校施設営繕事業

各中学校において老朽化している部分や教室を改修することで、安心して学べる環境整備を行いました。

学校名	区分	内容	工事費（円）
小牧中学校 応時中学校 岩崎中学校	受変電設備改修工事	受変電設備の改修	9,736,100
小牧中学校 外 8 校	災害用バルク通信機器設置工事	災害用バルクの通信機器の設置	940,500
篠岡中学校	職員室ウィンドエアコン設置工事	職員室のウィンドエアコンの設置	1,870,000
北里中学校	変圧器改修工事	変圧器の改修	1,194,600
	カウンセリングルーム空調機更新工事	カウンセリングルームの空調機の更新	495,000
応時中学校	自転車置場新設工事	自転車置場の新設	5,740,900
岩崎中学校	花壇解体工事	花壇の解体	1,287,000
	校舎屋上防水改修工事	校舎屋上の防水改修	52,470,000
桃陵中学校	特別支援教室カーテン設置工事	特別支援教室のカーテンの設置	269,500
光ヶ丘中学校	トイレ改修工事	校舎棟・体育館・柔剣道場・プール棟・屋外トイレの洋式便器化工事	27,451,600

光ヶ丘中学校	調理室ガス配管改修工事	調理室のガス管の改修	1,686,300
	保健室空調機更新工事	保健室の空調機の更新	4,345,000
	特別支援教室アコーディオンカーテン設置工事	特別支援教室のアコーディオンカーテンの設置	847,000

⑦ 中学校教育振興設備整備事業

中学校学習指導要領及び理科教育振興法等に基づき、より効果的な授業展開を可能にするため教材の整備を進め、生徒の発達段階に応じて実際に手に触れさせるなど「わかる授業」の教材整備を行いました。

区分	主な内容等	金額（円）
消耗品費	電磁石実験器具、光学台、支持スタンド、水圧実験学習セット、電池実験器具	889,570
義務教育教材用備品	卓球台、マット、多目的支柱、フットサルゴール、カーリングゲーム、冷蔵庫、ミニサッカーゴール、自立式白板、絵画作品乾燥棚 等	3,089,526
学校教育設備整備備品	双眼実体顕微鏡、電子てんびん、生物顕微鏡、電源装置、クルックス管	1,585,430
特別支援学級教材用備品	ミシン、掃除機、卓球台、洗濯機	368,830

（６） ＩＣＴ教育の推進

ＩＣＴ教育の推進は、小牧の学校教育の柱の一つで、教育振興基本計画でも“「学び合う学び」を推進するＩＣＴの活用”、“ＩＣＴを活用した学びの充実”を掲げています。令和４年３月に策定した「第２次小牧市学校教育ＩＣＴ推進計画」に基づき、「時代を切り拓くことも」の育成を目指して、小牧南小学校、篠岡中学校をＩＣＴ教育のパイオニア校とし、ＩＣＴ機器やソフトウェア等の試行検証や授業実践に取り組んでいます。

学校現場のＩＣＴ環境については、令和２年度に、児童生徒１人１台タブレットＰＣ等を導入し、小牧小、小牧南小、味噌中を除く市内２２小中学校の校内ＬＡＮケーブルを更新しました。アクセスポイントを順次増設することにより、体育館、運動場、図書室、柔剣道場でも円滑にＩＣＴ機器を活用できる環境を整えています。

教育委員会と市内全小中学校を光専用回線で接続し、教育委員会と学校間で教育情報を共有しているほか、全小中学校の学習系ネットワークから直接インターネット接続できる校外通信ネットワークを整備しています。

ネットワークの運用に当たっては、小牧市教育委員会情報セキュリティポリシー及び実施手順を随時見直し、令和３年度には、校務系システムをインターネットリスクから分離しました。令和５年９月にはネットワーク分離ソフトの導入により、パソコン１台で校務系・校務外部系の使い分けを可能とするなど、情報セキュリティ対策の強化と校務の円滑化の両立に努めています。

学校現場でＩＣＴ機器の操作に対する助言や活用事例の紹介等を行うＩＣＴ支援員を配置し、教員の業務負担及びＩＣＴ活用指導力の向上を図っています。

令和５年１月からは、保護者連絡アプリを導入し、保護者からの欠席連絡及び学校の配布文書等をデジタル化し、保護者の利便性向上に努めています。

① コンピュータの整備の状況

小 学 校	平成７年８月～ 平成８年９月	全小学校にコンピュータ教室整備 ２１台 (教師用１台、児童用２０台)
	平成１３年６月	コンピュータ教室の整備台数を４１台に増設 大城小に第２コンピュータ教室を整備 ４１台
	平成１４年９月	普通教室にデスクトップＰＣ整備(各教室１台)
	平成１７年９月	普通教室にノートＰＣ整備(普通教室２台目、担任用)
	平成１８年９月	担任以外の教師用としてノートＰＣを整備(１０６台)
	平成２２年３月	各校のコンピュータ教室に電子黒板を整備(１６台)
	平成２４年９月	各校に児童用タブレットＰＣを整備(６台)
	平成３０年９月	普通教室及び特別教室(一部)にタブレットＰＣと電子黒板機能付き プロジェクターを整備(１台) 各校にプログラミング用教材を整備(４０台) 各校の児童用タブレットＰＣを増設(１０台)
	令和元年９月	味岡小(２８０台)及び大城小(１３７台)に３クラスに１クラス分 程度のタブレットＰＣを整備(※令和２年度に中学校の生徒１人１ 台タブレットとして移設)
	令和３年１月	コンピュータ教室のノートＰＣ(３６０台)を中学校のコンピュータ 教室に移設 全小学校に児童１人１台タブレットＰＣ(iPad: 8,487台)を整備
	令和４年１１月	全小学校にオンライン配信用タブレットＰＣ(iPad Air: 48台)を整備
	令和６年９月	普通教室(一部)及び特別教室に電子黒板を整備

小学校	令和 8 年 1 月	児童 1 人 1 台タブレット PC (iPad7, 5 1 9 台) を整備 (令和 3 年 1 月整備分の更新)
中学校	平成 2 年 2 月～ 平成 4 年 4 月	全中学校にコンピュータ教室整備 41 台 (教師用 1 台、生徒用 40 台)
	平成 10 年 9 月	普通教室にデスクトップ PC 整備 (各教室 1 台)
	平成 17 年 9 月	普通教室にノート PC 整備 (普通教室 2 台目、担任用)
	平成 18 年 9 月	担任以外の教師用としてノート PC を整備 (128 台)
	平成 22 年 3 月	各校のコンピュータ教室に電子黒板を整備 (9 台)
	平成 25 年 9 月	各教室にノート PC を整備 (1 台) 各校に生徒用タブレット PC を整備 (9 台) 各校にプログラミング用教材を整備 (10 台)
	令和元年 9 月	普通教室及び特別教室 (一部) にタブレット PC と電子黒板機能付きプロジェクターを整備 (1 台) 各校にプログラミング用教材を整備 (20 台) 各校の生徒用タブレット PC を増設 (10 台、篠岡中のみ 9 台) (※令和 2 年度に中学校の生徒 1 人 1 台タブレットとして転用) 各校のコンピュータ教室のノート PC をタブレット PC に更新 41 台 (教師用 1 台、生徒用 40 台) (※生徒用 40 台については、令和 2 年度に生徒 1 人 1 台タブレットとして転用。コンピュータ教室用として、小学校からノート PC を移設) 味岡中 (290 台) 及び光ヶ丘中 (85 台) に 3 クラスに 1 クラス分程度のタブレット PC を整備 (※令和 2 年度に中学校の生徒 1 人 1 台タブレットとして転用)
	令和 3 年 1 月	全中学校に生徒 1 人 1 台タブレット PC (Surface GO2 : 3,082 台) を整備
	令和 4 年 11 月	全中学校にオンライン配信用タブレット PC (iPad Air : 27 台) を整備
	令和 6 年 9 月	小牧中・篠岡中・光ヶ丘中の生徒 1 人 1 台タブレット PC (iPad : 1, 1 6 5 台) を整備 (令和元年 9 月整備分の更新) 普通教室 (一部) 及び特別教室に電子黒板を整備
	令和 8 年 1 月	小牧中・篠岡中・光ヶ丘中を除く 6 中学校の生徒 1 人 1 台タブレット PC (iPad : 2, 9 8 2 台) を整備 (令和 3 年 1 月整備分の更新)

※定期的にコンピュータ及び周辺機器のリース替えを実施しています。

② インターネットへの接続状況

小学校	平成 11 年 5 月～	コンピュータ教室、職員室、保健室、図書室、多目的教室
	平成 14 年 9 月～	普通教室、一部特別教室
	令和 3 年 1 月～	運動場、体育館
	令和 4 年 9 月～	図書室
中学校	平成 10 年 9 月～	コンピュータ教室、職員室、保健室、図書室、多目的教室、普通教室、一部特別教室
	令和 3 年 1 月～	運動場、体育館
	令和 4 年 9 月～	図書室、柔剣道場

③ 教育ネットワーク等の整備状況

センターサーバの整備、光専用回線による接続、校内・校外通信ネットワークの整備

平成 17 年 9 月～	教育委員会、小学校（16 校）、中学校（9 校）
平成 22 年 2 月～	給食センター（3 センター）
平成 25 年 9 月～	第一幼稚園（平成 30 年 8 月末まで）、適応指導教室カルミア、日本語初期教室分室
平成 28 年 9 月～	センターサーバの整備
令和 2 年 9 月～	小学校（16 校）、中学校（9 校）に校外通信ネットワークの整備
令和 3 年 1 月～	校内 LAN のケーブルを更新（1Gbps⇒10Gbps）（小牧小、小牧南小、味岡中を除く）
令和 3 年 4 月	全小中学校の中継器を交換（100Mbps⇒1Gbps）
令和 4 年 1 月	教育ネットワークの分離（校務系システムをインターネットリスクから分離）
令和 5 年 9 月	ネットワーク分離ソフトの導入（1 台のパソコンでセキュリティを担保しつつ、校務系システムと校務外部系システムにアクセスすることが可能となった）

(7) 学校給食

学校給食は、成長期にある児童・生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上をはかることはもちろん、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、好ましい人間関係を育てるなど多様で豊かな教育的なねらいをもっています。

給食は、市内統一献立で実施され、3ヶ所の学校給食センターで、合計約12,000食の調理を行っています。給食費は1食当たり小学校290円、中学校330円です。

献立の原案は、栄養教諭・学校栄養職員が、毎年テーマを決め作成しています。この原案を学校給食献立作成委員会で協議して、使用する食材については学校給食用物資選定委員会で決定しています。

① 実施状況

(令和7年5月1日現在) (単位:校、人)

	給食型	学校数	児童生徒数	栄養教諭・栄養職員
小学校	完全給食	16	7,226	
中学校	完全給食	9	3,970	
計		25	11,196	6(1)

※栄養教諭・学校栄養職員は、県費負担職員です。

※栄養教諭・学校栄養職員6人のうち、1人は栄養職員です。

② 受配校

東部学校給食センター	篠岡小、本庄小、桃ヶ丘小、陶小、光ヶ丘小、大城小、篠岡中、桃陵中、光ヶ丘中
北部学校給食センター	小牧小、村中小、味岡小、一色小、小牧原小、小牧中、味岡中、岩崎中
南部学校給食センター	小牧南小、三ツ渚小、北里小、米野小、小木小、北里中、応時中、小牧西中

③ 地産地消

地産地消とは、「地場の生産物を、地場で消費する。」を略したもので、地域で生産した食材をその地域で消費するという意味で使われています。学校給食では、食に関する教育にも積極的に取り組んでいますが、その一環として地産地消による学校給食を平成16年度から実施しています。食習慣が生活や学習などに及ぼす影響は決して小さくはありません。地産地消による学校給食は、農業をはじめとする地域との関わりをより強くし、大きな役割を担っています。

令和7年度は、小牧の農産物15種類を使った地産地消の給食を延べ215回実

施し、協力いただいた農業生産者は8者です。

地域	産品名
篠岡地区	きゅうり、なす、白菜、大根、キャベツ、ねぎ、巨峰
味噌地区	みつば、小松菜
北里地区	ねぎ、たまねぎ、里芋、冬瓜、エビ芋（親）、白菜、キャベツ、大根、にんじん

（８） 学校保健

① 各種検査

学校医等による各種健診やプール水・飲料水・照度・空気等の環境検査を実施し、児童生徒の保健衛生の向上を図りました。

検査事項	対象
就学時健診	小学校新入学児童
定期健康診断	児童生徒全員
結核健診	児童生徒全員
尿検査	公立幼稚園児・児童生徒全員
心電図検査	小学校 1・4 年生、中学校 1 年生
貧血検査	中学校 1 年生

② 日本スポーツ振興センター災害共済

学校管理下の活動で児童生徒が怪我などをした場合、市が掛金を負担し、保護者が災害共済給付金を受け取る共済事業です。

項目	掛金（円）	災害数（件）	発生率（％）	給付額（円）
小学校	6,707,910	223	3.1	2,227,074
中学校	3,690,830	165	4.2	3,958,594

(9) 教員研修・研究調査

教職員研修では、「学び合う学び」や「探究的な活動」を土台に据えた学級・授業づくりに役立つ実技講座や児童・生徒理解、指導に関わる研修講座の充実を図ってきました。また、授業力の向上を図る教職員のための研修にも力を入れてきました。

事業名	金額（円）
教員研修事業	6,025,945
ＩＴ活用調査研究事業	122,070
研究校委嘱事業	70,000

教員研修の内容

- ① 校内研修 各学校で校内現職教育委員会を組織し、設定したテーマについて研究・研修を実施。
- ② 系統研究 教職経験に応じてそれぞれの段階にふさわしい研修会を開催（初任者、３年目の教員、中堅教諭等を対象）。個人又はグループでの継続的な研究と実践の成果としての教育論文を募集。
- ③ 職務研修 職務に応じた意識の高揚と専門的な実務能力を高める研修会を開催（校長、教頭、教務主任、校務主任、保健主事、事務職員等を対象）。
- ④ 専門研修 教育関係職員としての自覚を高めるとともに、直面している教育課題への対応、専門的技能と指導力向上を図る研修を開催（発達障がい児の理解と支援についての講座、授業・学級づくりに役立つ実技講座、児童・生徒理解に関わる講座、危機管理講座、情報教育関連講座）。
- ⑤ 特別研修
 - a 教育講演会 小牧市の全教職員を対象に、直面している教育課題について考える講演会。
 - b 国内研修派遣 研究論文秀逸者及び教育研究実践の中核となる教員を選考し、国内の研究施設・先進校に派遣。
 - c 救急救命講習 緊急時に適切に対応できるように、ＡＥＤを含めた救命講習。
 - d 危機管理研修 食物アレルギー等によるアナフィラキシーショックや、校内で起こるケガ等に適切に対応できるようにする研修。

（１０） 外国人児童生徒教育

小牧市には、外国籍児童生徒を含め、日本語教育が必要な児童生徒が多く在籍し、その児童生徒数は、名古屋市を除く県内の市町村において、豊橋市・豊田市に次いで３番目に多い数です。また、その数も年々増加しており、令和８年１月現在、日本語教育を必要とする児童生徒数は９１３人となっています。県からの日本語指導加配教員に加え、市が独自にポルトガル語、スペイン語、タガログ語、中国語及びベトナム語の語学相談員と日本語指導員を配置して対応しています。

語学相談員と日本語指導員は母語での学習支援をするとともに、学校生活への適応支援や悩みごとなどの相談にもあたっています。また、語学相談員は、保護者への連絡文の翻訳や個人面談の通訳など児童生徒や保護者の相談や支援に幅広く対応しています。

平成２２年度には、来日直後で日本語がほとんどわからない児童生徒に対して、日本語初期指導の充実を図るため、短期間で集中的に初期指導をする日本語初期教室「にじっこ教室」を開設しました。また、平成２５年度には、適応指導教室の移設に合わせて旧味噌岡児童館跡地に分室を設置しました。

平成３０年度には、日本語初期教室のマネジメント機能を強化するため、日本語初期教室室長を配置しました。

小牧市では、全国でも先駆的に、教員を中心とした外国人児童生徒教育連絡協議会を立ち上げています。「学び合う学び」の授業のあり方や母語指導の研修、翻訳文書等の共有化、進路説明会の開催、教材開発など、体制整備に努めています。また、多文化共生教育を推進する本市では、近隣大学等との協力関係や支援もあり、児童生徒が安心して学び育つ連続した多様な学習環境が整ってきています。

（単位：人）

日本語教育が必要な児童数	日本語教育が必要な生徒数	計	語学相談員	日本語指導員	にじっこ教室入級児童生徒数
626	287	913	22	2	5

※日本語教育が必要な児童生徒数は令和７年度３学期始業式（R8.1.9）現在

（１１） いじめ・不登校対策

① 適応指導教室、不登校児童生徒訪問指導員、フレッシュフレンド

適応指導教室は、平成７年度に小牧児童館の一画に指導員３人で開設しました。市が配置する常勤の学校カウンセラーも週１日相談業務にあたるほか、平成１１年度には不登校児童生徒宅と学校とを訪問して指導にあたる不登校児童生徒訪問指導員１人を配置しました。この３つの職種の代表と指導主事が定期的に打ち合わせをして、個々の児童生徒の状況に応じた適切な指導にあたるようにしています。

適応指導教室とほぼ同じ目的をもって不登校児童生徒の学校復帰に寄与してきた「青年の家教室」も含め、平成２１年度から「カルミア」と「アイトワ」という名称で２つの適

応指導教室を運営しています。「カルミア」は平成 25 年度に旧味岡児童館跡地に移転し、アイトワは、令和 8 年度より小牧市公民館に移転します。

フレッシュフレンドは、児童生徒に相談相手・友達として接し、その行動範囲を拡げるなど側面的な支援にあたる人で、平成 8 年度から大学生を中心に募集し登録しています。保護者の要請があったときは、登録者の中から適切な組み合わせとなる人材を選び、児童生徒のもとに派遣しています。

令和 8 年 3 月 31 日現在

不登校児童		不登校生徒		計		カルミア・アイトワ 在籍者数 (人)	カルミア・アイトワ 指導員数 (人)	訪 問 指 導 員 (人)
人数 (人)	出現率 (%)	人数 (人)	出現率 (%)	人数 (人)	出現率 (%)			
319	4.4	416	10.5	735	6.6	37	5	1

② 学校カウンセラー

平成 10 年度から市が常勤の学校カウンセラーを配置し、適応指導教室での相談と各学校を巡回してのカウンセリングを始めました。平成 12 年度からは非常勤のカウンセラーも配置し、県派遣のスクールカウンセラーの配置増と合わせ、カウンセリング体制を充実しています。

学校カウンセラー（市）		スクールカウンセラー（県） （校）
常勤（人）	非常勤（人）	
1	3	13

③ 心の教室相談員

心の教室相談員は平成 10 年度に県の委託事業として、県のスクールカウンセラーが配置された学校を除く全中学校に配置しました。その後、県の委託事業の対象校や配置の日数が縮小されましたが、本市では心の教室相談員とスクールカウンセラーの役割はそれぞれ別のところにあると考え、平成 13 年度に全中学校に配置しました。さらに、平成 19 年度からは全小学校にも配置し、児童生徒一人ひとりが心のゆとりを持ち、生き生きと活動できる学校環境づくりをめざし、1 校あたり年間 700 時間を上限として児童生徒の相談活動にあたっています。

④ スクールソーシャルワーカー

スクールソーシャルワーカーは、いじめや不登校、児童虐待などの生徒指導上の諸課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技能を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行います。平成 28 年度に 1 人、令和元年度に 2 人、令和 4 年度に 3 人、令和 5・6・7 年度は 4 人配

置を継続し、市内小中学校から依頼を受けて、教育委員会から派遣され、児童生徒やその保護者との関わりだけでなく、学校や関係機関とも連携しながら、生徒指導上の諸課題に対応しています。

⑤ 関係会議

a いじめ問題対策委員会

小牧市内の小中学校において、いじめ防止等のための対策を実効的に行うために平成 27 年度より設置しました。法律、医療、教育、心理、福祉等に関する専門的知識、経験を有する委員により構成されており、年 1 回の会議を開催し、市内の小中学校におけるいじめ防止等の対策の現状について、審議を行っています。

b いじめ・不登校対策連絡会

各小中学校の担当者、適応指導教室「カルミア」「アイトワ」指導員、不登校児童生徒訪問指導員、少年センター指導員、学校カウンセラー、スクールソーシャルワーカー、校長・教頭各 2 人及び教育長ほか市教育委員会指導主事で構成されており、年 3 回の事例研究と、年 1 回の講演会及びカウンセリング研修を行っています。

c いじめ・不登校対策関係機関会議

年 3 回、適応指導教室「カルミア」「アイトワ」指導員、不登校児童生徒訪問指導員、少年センター指導員、学校カウンセラー、市教育委員会指導主事、学校代表のほか、児童相談センター職員、小牧警察署員、子育て世代包括支援センター家庭児童相談員が情報交換し、互いの連携を図っています。平成 28 年度からスクールソーシャルワーカー、平成 29 年度から春日井保健所も参加しています。

(12) 学習環境の整備

① 学校版 EMS の推進

小牧市環境基本計画に従い、学校の環境改善活動を継続するため、学校版 EMS の取り組みを推進しています。平成 30 年度から、小牧市独自の環境マネジメントシステム（EMS）運用開始に合わせて、これまでの学校版環境 ISO から学校版 EMS に名称を変更しました。令和 7 年度は、下記の学校において、現地調査を実施しました。制度導入を機に、各学校独自の取り組みによる学習や活動が多様に展開され、児童生徒一人ひとりの意識が高まり、生きた環境教育として根付いています。

【現地調査実施校】一色小学校、小木小学校、小牧原小学校、本庄小学校、
桃ヶ丘小学校、陶小学校、光ヶ丘小学校、大城小学校

② 安心して学べる環境づくりの推進

a 通学路安全対策事業

平成 24 年度に、全国的に通学路における交通事故が多発したことから、各学校、教育委員会事務局、道路管理者、警察による 16 小学校の通学路緊急合同点検を行い、危険箇所を対象に対策案を作成し、整備を進めてきました。

平成 28 年度より、通学路等の安全確保に向けた取り組みをより一層効果的に進めるため、「小牧市通学路交通安全プログラム」（平成 27 年 12 月策定）に基づく通学路の合同点検と対策を実施しています。令和 7 年度は、小牧小・村中小・味噌小・米野小・小牧原小・陶小の 6 校を対象に、各小学校、教育委員会事務局、道路管理者及び警察等による通学路の合同点検と対策を実施しました。

令和 7 年度は、市内 23 箇所、全長 2,735.8m の通学路にカラー塗装（みどり線）を設置（再塗装を含む）し、通学路の安全対策に努めました。

b 通学路パトロールボランティア

全国各地で児童生徒を狙った犯罪が多発する中、登下校時の児童を犯罪から守ることを目的として平成 18 年 1 月から通学路パトロールボランティアを募集し、全小学校区において活動を開始しています。令和 7 年度は約 600 人のボランティアの方たちが登下校中の児童を見守り、安全確保を図りました。

c セルフディフェンス講座

子どもを標的にした犯罪の多発を受け、小学校 1・4 年生と中学校 1 年生を対象に全小中学校において、平成 18 年度からセルフディフェンス講座を実施しています。平成 24 年度からは、各学校の現状に応じた体験学習を通して犯罪被害から守るための具体的な行動を身につけるとともに、人との関わり方を学び、自他を大切にしようとする気持ちを育て、いじめを防ぐ手立てのひとつにしています。令和 4 年度からは、小学校 1 年生と中学生 1 年生を対象に実施しています。

d 不審者情報の配信

不審者出没等の情報については、愛知県教育委員会策定の「学校安全緊急情報共有化広域ネットワーク」の運用ガイドラインに基づいて小牧市が平成 20 年 9 月に策定した「小牧市不審者情報・緊急ネットワーク」を利用し、市内全小中学校・幼稚園・保育園・高等学校をはじめ、児童館や適応指導教室等、幼児児童生徒が通うすべての施設へ提供しています。また、各小中学校では、児童生徒の安全確保に役立ててもらうことを目的として、保護者連絡アプリを活用し、情報を配信しています。

e こども 110 番の家

子どもを犯罪から守ることを目的とし、有事に子どもが緊急時に駆け込める場所として「こども 110 番の家」を平成 10 年度から 3 年間の委嘱として継続的に指定しています。令和 7 年度末時点で小牧警察署と市教育委員会からの委嘱を合わせて 370 軒の登録があります。

(13) 就学援助費

経済的理由により就学困難であったり、特別支援学級に在籍したりする児童生徒の保護者に対して、給食費や学用品費などの一部を援助するものです。

平成 30 年度から、次年度 4 月入学者を対象に「新入学学用品費」の事前支給を希望者に対して、実施しました。

項目	小学校		中学校	
	支給者（人）	金額（円）	支給者（人）	金額（円）
就学援助費	721	46,105,544	458	47,642,225
特別支援教育就学奨励費	207	7,550,215	66	3,191,585

(14) 育英事業交付金

育英事業寄附金を積み立てた育英事業基金の資金を充てて、高校等への進学の前準備金として支給するものです。

平成 30 年度から、一人あたり支給額と支給人数の上限を拡充しました。

令和 5 年度から、支給人数の上限を拡充しました。

1 人あたり支給額 （円）	支給人数 （人）	支給額合計 （円）	基金残高（年度末） （円）
120,000	100	12,000,000	155,180,545

(15) 私立高校等授業料補助

保護者の市県民税の所得割額に応じて授業料の一部を補助しました。

交付者（人）	補助金額（円）
308	15,230,232

(16) 児童生徒交流事業

① 北海道八雲町

昭和 57 年に小牧山公開 55 周年の記念事業に尾張徳川家 20 代徳川義知様が来訪された折、明治 24 年頃八雲町開拓のため小牧の住民が入植された話をもとに、小牧市と八雲町の交流が提言されました。小牧市と八雲町の一層の相互理解と発展を図るため昭和 58 年から、八雲町との間で子どもの相互訪問を行っています。

令和 7 年度は第 40 回を迎え、夏には小牧市の子どもが八雲町を訪れました。また、秋には八雲町の子どもが小牧市を訪れ、学習交流を行いました。これまでに、小牧市から 1,543 人、八雲町から 751 人の児童生徒がお互いの市町を訪問しています。

	参加児童生徒（人）	引率者（人）
小牧市から派遣	24（児童）	6
八雲町から受入	7（生徒）	2

② アメリカ合衆国ワイアンドット市

平成 10 年度から、姉妹都市のアメリカ合衆国ミシガン州ワイアンドット市との間で両市の中学生のホームステイを行っています。（平成 23 年度からは受入・派遣を隔年で実施。）

③ アメリカ合衆国グラント郡

令和元年 12 月 18 日にアメリカ合衆国ワシントン州グラント郡と友好の覚書を結びました。

令和 5 年度から隔年で中学生を派遣し、ホームステイを行っています。

④ 大韓民国安養市

平成 10 年度から、友好都市の韓国安養市との間で、夏休みに両市の小学 5、6 年生がホームステイによる相互交流を行っています。

平成 29 年度から、受入・派遣ともに中止しています。

(17) 学校再編推進事業

児童生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中、将来を担う子どもたちに充実した教育環境を整えるため、子どもたちにとってより望ましい教育環境と本市における学校施設の適正規模・適正配置の基本的な考え方を整理した「小牧市新たな学校づくり推進計画」を、令和 6 年 9 月に策定しました。

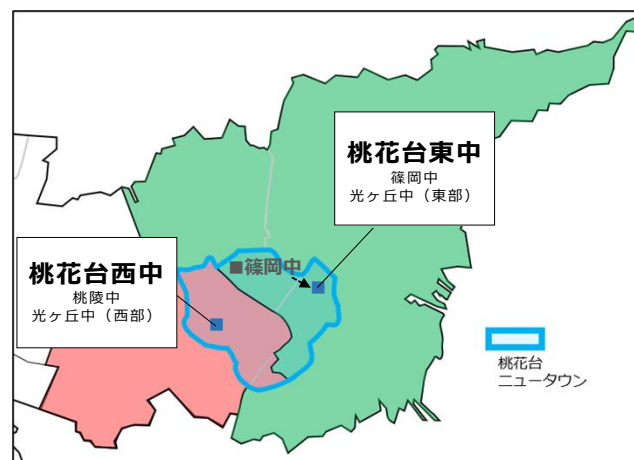
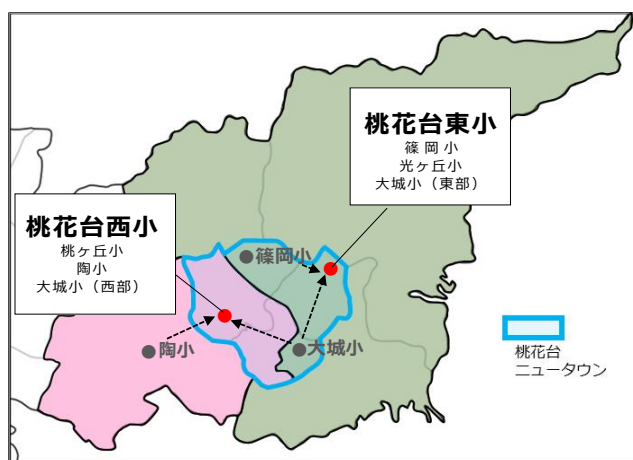
令和7年度は、特に児童生徒数の減少が著しい篠岡地区において、「学校を考える会」を立ち上げ、地域の方々と協議を進め、令和8年2月に「篠岡地区学校再編計画」を策定しました。

篠岡地区については、児童生徒数の減少が顕著であり、目の前の子どもたちの教育環境を早急に改善するため、段階的な再編として、再編を2期に分け、まずは第1期の再編として、既存の校舎を利用した再編を早期に実施します。

＜篠岡地区学校再編計画の概要＞

第1期（令和9年度）

区分	学校名	再編校	備考
小学校	桃花台東小学校	篠岡小、光ヶ丘小、大城小（大草、城山三丁目）	光ヶ丘小の校舎を利用
	桃花台西小学校	桃ヶ丘小、陶小、大城小（城山二、四、五丁目）	桃ヶ丘小の校舎を利用
中学校	桃花台東中学校	篠岡中、光ヶ丘中（城山四丁目除く）	光ヶ丘中の校舎を利用
	桃花台西中学校	桃陵中、光ヶ丘中（城山四丁目）	桃陵中の校舎を利用



第2期（時期は第1期後の児童生徒数と学校施設の老朽化の状況等により判断）

篠岡小学校と篠岡中学校の敷地に新たな学校を設立（小学校1校、中学校1校に再編）し、小中一貫教育の導入に向けて検討を進めます。

Ⅲ 社会教育（令和7年度実績）

Ⅲ 社会教育

「生涯学習のまちづくり」における社会教育

市民が健康で心豊かに充実した社会生活を営み、地域の教育力を向上させるには、生涯学習の振興が非常に重要です。

本市では豊かな人生を支える、生涯学べるまちづくりを目指し、市民の学習意欲を核として、ライフステージに応じ、日常生活で必要となる教養、技能を修得するための情報や学習機会の充実を図り、学習活動を通じ、ともに学びあう地域づくりを進めることにより、まなびのネットワークづくりを推進しています。

そして、市民が生きがいを持った生活を送れるようスポーツや文化活動などの「まなび」を通じてふれあう場の支援と充実を図っています。また、市民が自主的に学んだ成果を地域社会に活かせるよう市民との協働を核に、関係者・関係機関の連携を深めて、学びを支えるしくみづくりに努め、「知の循環型社会」の基盤づくりを進めています。



市民企画講座

1 生涯学習のまちづくりの推進

(1) 生涯学習のまちづくり出前講座

生涯学習関連事業を実施する関係部局との連携を密にし、学習情報の提供と啓発、広報に努め、「出前講座」の事業を推進しています。

令和7年度出前講座は、行政編 65 講座、市民サークル・企業・公共機関編 42 講座の合計 107 講座のメニューがあり、延べ 230 講座を実施しました。

令和7年度出前講座実績

《行政編》

(単位：件)

講座名	講師所属	実施件数
楽しい交通安全教室	市民安全課	13
資源・ごみの分別講座	ごみ政策課	12
防ごう誤嚥性肺炎！これであなたも歯(し)あわせ講座	保健センター	8
みんなで楽しもう！健康体操	保健センター	8
地域ぐるみで防犯対策	市民安全課	8
人生100年時代の「食べる」を知ろう！講座	保健センター	7
小牧山のはなし	小牧山課	7
ごみのはなし	ごみ政策課	6
フレイルチェック	健康生きがい推進課	6
睡眠がもたらす健康の秘訣	保健センター	5
ふるさと小牧クロニクル	図書館	5
転ばぬ先の転倒予防教室	保健センター	5
心を育む本の選び方	図書館	3
女性の健康講座～やってみよう！骨盤底筋エクササイズ～	保健センター	3
ためよう！こまき健康いきいきポイント講座	健康生きがい推進課	3
糖尿病予防教室「どうする？ごはんの話」	保健センター	3
救命入門コース	消防署	3
消費・防犯・交通安全教室	市民安全課	3
消費者トラブルを未然に防ごう	市民安全課	3
空き家になる前に対策を	都市計画課	2
オトナ女子の更年期講座	保健センター	2
こまくる(こまき巡回バス)と公共交通	都市整備課	2
となりの外国人市民を知ろう！	多文化共生推進室	2
身を守る簡単護身術	市民安全課	2
介護保険制度について	介護保険課	2
自分らしさを再発見！わた史ノートの使い方	地域包括ケア推進課	2
地域で楽しく防犯パトロール	市民安全課	1
後期高齢者医療制度について	保険医療課	1
市の多文化共生事業について	多文化共生推進室	1
水生生物調査	環境対策課	1
認知症サポーター養成講座	地域包括ケア推進課	1

《市民サークル編》

(単位：件)

講座名	講師団体名	実施件数
身近なもので防災グッズをつくる	小牧防災リーダー会	25
防災・減災 地震編	小牧防災リーダー会	16
あっと！？驚く楽しいマジック	小牧マジッククラブ	10
防災・減災 風水害編	小牧防災リーダー会	5
非常持出品ゲーム	小牧防災リーダー会	5
高齢者の健康と安全	小牧市赤十字奉仕団	5
簡易トイレの作り方	小牧防災リーダー会	4
幼児安全法講習	小牧市赤十字奉仕団	4
避難所運営ゲーム HUG	小牧防災リーダー会	3
避難所運営と炊き出し	小牧防災リーダー会	3
SDGs こまきカードで地域の課題を考えよう	(特非) こまき市民活動ネットワーク	2
災害図上訓練 DIG	小牧防災リーダー会	2
ぼうさいボードゲーム いえまですごろく	小牧市赤十字奉仕団	2
ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！	小牧市赤十字奉仕団	1
兒の森で里山体験をします	兒の森活動グループ	1
交流分析	TA 研究会	1
庭木・果樹の手入れ、雑草対策	日本樹木医会 愛知県支部	1

《企業・公共機関編》

(単位：件)

講座名	講師団体名	実施件数
「おいしく たのしく」カゴメと健康生活を送ろう！	カゴメ(株)小牧工場	4
スマートフォンの基礎的な使い方講座	シオン倶楽部	3
出前終活講座 ～わたしらしく生きること～	シオン倶楽部	1
誰でもわかる終活講座	(一社) シオン終活支援協会	1
「睡眠」と「健康」の知恵袋講座	明治安田生命 小牧営業所	1

(2) 施設予約システムの管理

生涯学習活動を行う文化施設やスポーツ施設を利用するための公共施設予約システムを管理・運営しています。令和 5 年 1 月にシステムを更新し、スマートフォンなどからいつでも予約ができ、また、クレジットカードによるオンライン決済も可能になりました。

(3) こまき市民文化財団、こまき市民交流テラス（ワクティブこまき）との連携

(一財)こまき市民文化財団と連携し、小牧市公民館の「こまなびサロン」を拠点として、生涯学習に関する事業の企画運営や相談事業などを行っています。

また、ワクティブこまきと連携して、市内の生涯学習団体や市民活動団体の総合データベースとして、こまき団体情報ガイドブックを活用し、団体情報の収集や市民への情報提供などを各公民館で行っています。

2 公民館事業

(1) 市民企画講座

市民のみなさんが、知識・教養及び技能の習得や趣味を広め、ゆとりある生活と市民相互のつながりを深めるため、手芸・音楽・健康・料理・一般教養等の講座を小牧市公民館・中部公民館・東部市民センター・北里市民センター・味噌市民センターなどで開催しました。

・小牧市公民館

(単位：回、人)

講座名		講師	回数	定員	受講者数
前期	はじめての製本講座	平川 瑞浩	6	16	11
	みんなで歌おうビートルズ!	大倉 尚士	4	40	25
	フラダンス入門	篠田 しおり	6	20	18
	セルフリンパケア&バランスボールで免疫力アップ	山口 彩花	6	10	10
	世界三大料理を作ってみよう	世界の郷土料理同好会	3	16	16
	暮らしで使える配色レッスン	宮本 真由美	6	30	17
	実家の相続で後悔しない秘訣を学ぶ	後藤 明	3	20	20

後期	ハングルを読もう（韓国発のマンガを使って）	川嶋 まちこ	5	20	16
	名物ガイドの小牧おもしろ話	鵜飼 公俊	3	30	17
	対話型鑑賞ワークショップ	山本 宗由	6	15	13
	やさしいベリーダンス	manolia（マノリア）	6	13	13
	「今年こそやりきる！」年末片付けでスッキリ新年をむかえる講座	小澤 美和子	6	20	20

・中部公民館

（単位：回、人）

講座名		講師	回数	定員	受講者数
前期	レジンアクセサリー講座	勅使川原 由紀	5	20	20
	わくわく楽しむフラワーアレンジメント	渡邊 和泉	5	15	15
	複音ハーモニカ入門講座	小川 弘美	6	20	17
後期	己書（おのれしょ）で自己肯定感アップ！！	鈴木 純子	3	20	20
	シニアと初心者のための楽しいギター	渡邊 欣聖	5	20	20
	自分で着るのが着られる きものを楽しもう	榎本 美幸	5	10	10

・東部市民センター

(単位：回、人)

講座名		講師	回数	定員	受講者数
前期	弾いてみよう！ウクレレ	ジューク・オカ ヨシ	6	24	24
	踊って楽しむハートフルエクササイズ とリズム体操	勝 恵子	6	30	18
	初めてでも出来る手作りパン	富山 希文	6	16	16
後期	知って得するマネーの基礎講座～ NISA、ideco、給付金・助成金を活用し、 賢く安全に暮らしましょう～	河田 貢	4	50	25
	発酵食で心も身体もごきげんに！学び & 発酵調味料作り	伊藤 志乃	3	20	20
	定年後の断捨離	むらやま ち かこ	3	40	15

・北里市民センター

(単位：回、人)

講座名		講師	回数	定員	受講者数
前期	中高年のセカンドキャリアとメンタル ヘルス	橋本 広高	5	20	6
	己書もとちゃん道場	本 美保	4	30	17
	筋力UP（軽運動）	谷本 陽子	6	20	20
	協働講座 世界で一番短い詩。俳句を 一緒に学びませんか。	藤島 咲子	1	3	3
	協働講座 油絵をかいてみよう	吉田 清隆	1	5	5
後期	大人のリズムダンス講座	吉田 香織	6	20	11
	わかりやすい！初めて学ぶマネーセミ ナー	野崎 美奈	3	30	24
	クラフトバンドで作るおしゃれなクロ スステッチバッグ	石川 恵	4	20	20
	協働講座 「描こうよみんなで絵手紙」	小岸 広子	1	8	3
	協働講座 心を癒すオカリナの音色と 共に	水野 一枝	1	15	3

・味岡市民センター

(単位：回、人)

講座名		講師	回数	定員	受講者数
前期	英語を通じて世界とつながる！異文化コミュニケーションを学ぼう！	西村 直樹	3	14	11
	大正琴の基本を学びましょう	木村 春美	6	21	20
	何歳からでも素敵に輝く笑顔トレーニング	松下 美奈子	4	30	25
	季節を彩るアイシングクッキー	浜島 浩恵	3	20	16
	ひとりで着る、着せてあげるゆかた基本マスター	林 文子	6	17	16
後期	大人のリース欲張り講座	水野 雅代	3	24	24
	基礎から学ぶ美文字トレーニング	佐藤 典子	6	28	28
	ミニトランポリンで歩こう	香月 諭子	6	30	30
	知識ゼロから「そば打ちうどん」	渡辺 大器	3	12	12

(2) ゆうゆう学級

高齢化時代にあって、高齢者一人ひとりが生きがいのある人生を送るためには、どのようにしたらよいかに関心をもち、心身の健康、仲間づくりなどを中心として、60歳以上の市民を対象に年間を通して講義、実技、体験など幅広い学習を小牧市公民館・東部市民センター・北里市民センター・味岡市民センター等で開催しました。(単位：回、人)

学級名	学習テーマ	回数	生徒数
小牧市公民館ゆうゆう学級	わくわく ときどき 学びの楽しさ	18	50
東部市民センターゆうゆう学級	イキイキ学習・すこやか人生	17	49
北里市民センターゆうゆう・つつじ合同学級	ふれあい、学びあい、生きがい再発見	18	30
味岡市民センターゆうゆう学級	まだまだ現役！フレッシュ感覚で学ぶ「友・遊」学級	18	40

(3) つつじ学級

18歳以上の女性を対象とし、教養を高め生活に役立つ学習の場として、仲間づくりの中から潤いや生きがいのある生活を創造することを目指し、ゆうゆう学級と合同で北里市民センターにおいて開催しました。

(単位：回、人)

学級名	学習テーマ	回数	生徒数
北里市民センターゆうゆう・つつじ合同学級（再掲）	ふれあい、学びあい、生きがい再発見	18	30

(4) その他講座

地域で社会貢献したい人や学んだ成果を活かしたい人などが、そのために必要な知識・技能を習得することを支援するため、「生涯学習・市民活動人材育成講座」を開催しました。また、多様な分野の学習機会を提供するために、各公民館の企画による市民講座や、小牧市近隣の大学と連携し、各大学の強みを生かした内容の「大学連携講座」などを開催しました。

・小牧市公民館

(単位：回、人)

講座名	講師	回数	定員	受講者数
中部大学連携市民講座 夏休み親子講座 「ヒエログリフで探るミイラのなぞ」	中部大学 国際関係学部 国際学科 教授 中野 智章	1	親子 50組 100人	親子 30 組 60人
名古屋経済大学連携市民講座 国宝「源氏物語絵巻」の魅力を紐解く	名古屋経済大学経営学部 特別教授 四辻秀紀	2	60	44
愛知文教大学連携市民講座 ようこそ、和本の世界へ ～「べらぼう」にみる江戸の出版文化～	愛知文教大学人文学部人文学科 教授 松村美奈	2	60	30
名古屋造形大学連携市民講座 リアルな鉛筆画を描いてみよう	名古屋造形大学 視覚表現領域 教授 足立ゆうじ	3	20	20
名古屋芸術大学連携市民講座 クラシック音楽に触れる	名古屋芸術大学 芸術学科音楽領域鍵盤楽器コース（ピアノ）准教授 戸田 恵	1	50	42

脳を活性化！大人の塗り絵講座「花を塗ろう」	サクラクレパス認定講師 加藤 洋一朗	1	24	23
脳を活性化！大人の塗り絵講座「動物を塗ろう」	サクラクレパス認定講師 加藤 洋一朗	2	48	47
魅せられる写真作りのコツ	丹羽 省吾	3	40	33
コーヒーにふれてみよう	スターバックスコーヒー バリスタ	1	24	24
新聞論説委員 歩&哲司の時事ニュース講座 前期	元中日新聞論説委員 飯尾 歩／小塚 哲司	3	60	43
親子で学ぶ小牧の郷土料理～いもぼたもちとおとしこし料理～	志村 八壽恵	1	12組 24人	親子10組 20人
はじめての水引アクセサリー	sawacca	2	20	19
漬物屋直伝！ぬか床造り講座～今日から始めるぬか漬け生活～	中野 弘毅	1	24	24
新聞論説委員 歩&哲司の時事ニュース講座 後期	元中日新聞論説委員 飯尾 歩／小塚 哲司	3	60	46
生涯学習・市民活動人材育成講座「世代間や価値観のズレにも悩まない～令和の時代のコミュニケーション～」	千田 伸子	1	60	19

・中部公民館

(単位：回、人)

講座名	講師	回数	定員	受講者数
小牧のはちみつ採蜜体験	ハピネスビー／ハピネスラボ 大野麻衣・赤根彩夏	2	15組	親子30組 94人
はじめての三味線講座～民謡「こきりこ節」に挑戦～	小牧市民謡連盟 森民謡会 会主 森 信佐句	3	15	14

・ワクティブこまき

(単位：回、人)

講座名	講師	回数	定員	受講者数
伝わる！集まる！市民活動広報セミナー ～団体のブランドを伝える発信術～	二宮 佳代	1	20	20
はじめての方向け Canva でチラシを作 ってみよう！	ワクティブこま き	1	10	9

・東部市民センター

(単位：回、人)

講座名	講師	回数	定員	受講者数
色鉛筆画描いてみませんか	色鉛筆画クラ ス KOMAKI	1	7	5
梅雨を楽しむプリザーブドフラワー・スワ ッグ(金曜)	水野 雅代	1	20	17
梅雨を楽しむプリザーブドフラワー・スワ ッグ(土曜)	水野 雅代	1	20	12
60 からはじめるメンズ自炊入門	近藤 真由美	2	16	4
アイルランド伝統のハロウィンスイーツ・ バームブラック（土曜）	大野 順子	1	16	13
アイルランド伝統のハロウィンスイーツ・ バームブラック（木曜）	大野 順子	1	16	12
漬物屋直伝！ぬか床造り講座～今日から 始めるぬか漬け生活～	中野 弘毅	1	16	16

・味噌市民センター

(単位：回、人)

講座名	講師	回数	定員	受講者数
シンプル☆ピラティス	TOMOKO	6	20	20
漬物屋直伝！ぬか床造り講座～今日から 始めるぬか漬け生活～	中野 弘毅	1	16	16
はじめての中国茶	望月 千恵子	2	12	12

（５） こまなびフェスティバルの開催

小中学生が日ごろ取り組んでいる体験活動等の成果・大人の生涯学習の活動発表の場とし、相互に高め合い、今後の活動意欲を高めることを目的として開催しました。

期 日	1 月 24 日（土）・25 日（日）
場 所	小牧市市民会館・市公民館
参加者	参加団体：41 団体 来場者数：1,335 人

（６） 生涯学習情報ガイド「こまなび」の充実

生涯学習情報ガイド「こまなび」を、年 2 回（4 月・9 月）発行し、全戸に配布しています。分野別の講座の情報や地域の情報、各種団体の活動状況等、学びの様々な情報を紹介しています。

（７） 社会教育関係団体の育成

各団体の定期的な活動に加え、市民講座等を終了して結成された同好会・グループに対して、小牧市公民館、各市民センター施設の利用及び活用を図り団体の育成に努めました。

（８） 公民館開放

青少年の健全育成を図るため、中・高等学校生徒及び大学等受験生の夏休みなど長期休業時に公民館の空き部屋を開放し、自宅学習を補完する支援を行いました。

令和 7 年度利用者数 72 人（夏休み 63 人、冬休み 2 人、春休み 7 人）

（９） プラネタリウム

小牧中部公民館プラネタリウムでは、直径 12m の半球状のスクリーンに 6,500 個の恒星を映し出し、リアルな宇宙空間を再現しています。天文現象に対する理解と探究心の向上を図り、宇宙知識の普及を目指し、このプラネタリウムを拠点として一般番組の放映のほか、各種行事の開催に加え、小学生の学習教材に対応した学習番組や、幼児向け番組を放映しています。

（単位：回、人）

催事名等	開催数	人数等
一般番組		
ヤドカリくん、ほしをみに	112	2,131
ゲゲゲの鬼太郎 河童のテラフォーミング	15	204
ドラえもん 宇宙の模型	120	4,600
宇宙の模型 プラネタリウム誕生物語	48	551
名探偵コナン 閃光の宇宙船	144	5,415
MMX 火星衛星探査計画	72	698

宇宙天気予報は放課後に	44	366
おほしさまだいすき！サンとムーン	12	141
ピーターパンと宇宙へGO!	4	192
学習番組（指導要領に沿った団体番組） 月と夏の星座	22	（対象）市内小学4年生 1,191
幼児番組（幼稚園・保育園を対象とした番組） 七タ「もうひとつのたなばたものがたり」	28	1,018
親子で楽しむプラネタリウム	12	468
宵のプラネタリウム	6	203
キッズプラネタリウム	6	57
プラネタリウム震災特別投映	1	8
星空コンサート	1	69
市民まつり（無料開放）	6	235
星を見る会	4	656
天文講座	5	264
こども天文講座	2	96
ジュニアセミナー	6	113
ゆうゆう学級	1	42

（１０） 地域３あい事業

平成 17 年度から実施している地域 3 あい事業は、地域の幼児から高齢者までが、学びあいやふれあい活動を通して、地域ぐるみで子育てに関わり、お年寄りを支える「ふれあい・学びあい・支えあい」の地域づくりを目指しています。

また、地域 3 あい事業では、地区の集会所などを公民館の分館と位置付けており、地区の集会所などが公民館と同じ役割を担うことを期待しています。

令和 7 年度実施地区 50 地区

小牧原西、舟津、藤島、米野、久保一色本田、小松寺、久保山団地、東町、西之島、入鹿、光ヶ丘第5、河内屋、寺浦、久保一色中北、小針、村中、懐、間々、とみづか、南岩崎台、桜井、三ツ淵原団地、小牧原北、西町、岩崎原、間々原、田県西、光ヶ丘第6、藤島団地、古雅第4、東田中、光ヶ丘第1、光ヶ丘第4、東田中県住、岩崎中、大草、野口、常普請、中町、篠岡第3、桃花台パークヒルズ、片町、本庄、たがた宛、安田、池之内、大山、光ヶ丘第2、下之町、小牧ヶ丘

3 青少年教育

次代を担う青少年が、心身ともに健康で自発性と創造性に富み、深い教養と豊かな心が育まれるよう、青年の家や市内公共施設を中心に青少年の健全育成活動を推進しています。

(1) 青年の家運営事業

青少年の健全な成長と地域に役立つ人材の育成を目指し、余暇を利用した学習や、集団行動でのルールを守る意識を高める必要性等から、宿泊もできる「青年の家」を利用して様々な事業の実施や、活動の支援を行いました。

① 青年対象講座

(単位：回、人)

講座名	期日	回数	定員	受講者数
青年講座 香りで整う、自分の時間 ～調香体験 アロマ香水作り～	2月1日	1	15	8

② 親子対象講座

(単位：回、人)

講座名	期日	回数	定員	受講者数
やさしい電子工作	8月2日	1	20	12
コスメをつくろう	9月28日	1	20	21
小牧山自然観察会	10月4日	1	20	9
楽しい科学おもちゃ作り	11月8日	1	20	10
しめ縄リースづくり	12月7日	1	20	20

③ こども対象講座

(単位：回、人)

講座名	期日	回数	定員	受講者数
忍者体験！小牧山城忍び塾	4月27日	1	15	14
忍者飯ってどんなもの？一兵糧丸を作ってみようー	5月10日	1	15	6

④ 小中学生対象講座（ジュニアセミナー）

(単位：回、人)

講座名	期日	回数	定員	受講者数
小牧山でちょうせん！キャンプめし	7月6日～ 12月14日	5	18	16

(ジュニアセミナーは、学校外活動運営事業で再掲)

⑤ 青少年育成事業の協力支援

適応指導教室「アイトワ」

通える場を求めている不登校生徒を対象に、遊びや様々な活動を通じて各自の目標を持たせ、学校生活や社会生活への適応を図るために、会場の支援協力をしました。

⑥ 寺子屋

ありのままの子どもを受け入れ、安心して勉強や遊びに集中できる時間と場所を提供し、子どもの居場所づくりを行い、また、青年の家に愛着を持つ小学生を獲得し、青年の家の活性化を図りました。

(2) こども自然体験活動事業

子どもたちが自然環境の中で、たくましく豊かに生きる力を身につけることを目的として、地域の方の協力により多様な自然体験事業を開催しました。（単位：回、人）

講座名	期日	回数	定員	受講者数
「兒の森 里山自然体験」	7月6日～3月15日	6	40	19
自然観察学習講座 「身近な里山の自然観察」	第1回 6月29日 第2回 11月9日	2	15 家族	9 家族
自然観察学習講座 「大山川の自然観察」	9月14日	1	15 家族	13 家族
「兒の森クイズラリー」	10月5日	1	10 家族	3 家族

身近な里山の自然観察



大山川の自然観察



兒の森 里山自然体験



(3) 兒の森管理事業

兒の森は、東部丘陵地区に残る里山の自然を活かし、子どもたちが、のびのびと自然の中で遊び、学び、たくましく心豊かに成長していくことを願い、自然体験活動の場として、市民活動グループとの協働により森林整備・保全をしました。

兒の森の概要

位置	面積
小牧市大字野口字神尾前 2878 番地 20 外	16.96ha(県有林 14.96ha・市有林 2ha)

(4) 学校外活動運営事業

心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、公共施設等を利用して子どもたちの週末における様々な体験活動を支援しました。

① ジュニアセミナー

(単位：回、人)

講座名	期日	回数	定員	受講者数
友だちづくり	7月5日～ 3月15日	6	10	8
将棋		6	30	27
絵てがみ		6	15	14
星めぐりの教室		6	30	14
古代もの作り体験		5	15	9
科学と遊ぼう！A		6	10	10
科学と遊ぼう！B		6	10	10
宇宙の学校		4	25組	16組
親子でプログラミング体験		6	10組	10組
親子でロボットプログラミング体験		4	10組	8組
楽しく、カッコイイ！YOSAKOI		6	30	0
キッズダンス		6	40	36
ミュージックベル		6	20	13
ドラム教室 A		3	5	5
ドラム教室 B		3	5	5
ビーズクラフト		4	12	12
ジュニアクラフト		5	10	10
楽しくハンドメイド		6	20	14
かんたんおやつづくり		4	16	16
わたしがつくるおうちごはん		3	16	16
世界の料理		3	12	12
小牧山でちょうせん！キャンプめし（＊）		5	18	16
大好きな絵を描こう		3	18	18
これも図工なの？ ちょっと変わった工作を楽しもう！		2	10	10
楽しい！化学実験		1	10	10
おもしろものづくり		2	10	10

（＊印は青年の家運営事業で再掲）

② ポイントラリー制度

子どもたちが、社会の中で自立して豊かに生きていく力をつけるため、地域の中で、社会の様々な人たちと関わりながら、いろいろな学びや体験をしてほしいと願いできた制度です。市内の小中学生が指定の活動や講座などに参加することに、ポイントカードにポイントを付与し、活動の参加を促しました。30ポイントで奨励賞としてピンバッジを贈呈し、60ポイントでピンバッジの贈呈とともに、学校で表彰を行いました。

令和7年度 奨励賞対象者数 14人

(5) 放課後子ども教室

放課後に小学校の施設を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設けるとともに地域住民の協力を得て、子どもたちの学び・体験・交流活動の取り組みを実施することにより、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進しました。

(単位：回、人)

教室名 (開設場所)	開催 曜日	年間実施 回数	安全管理 指導員登録数等	登録 児童数
にじ色教室(小牧小)	火・木	24	9	36
WAKU2 クラブ(村中小)	火・木	12	7	92
みちくさ広場(小牧南小)	木	22	10	18
チャオCiao(三ツ渚小)	木	12	10	20
すまいるキッズ(味岡小)	木	16	10	20
しのキッズ(篠岡小)	火・木	14	9	24
里の子広場(北里小)	木	12	10	29
米野小放課後子ども教室(米野小)	木	15	7	30
一色小放課後子ども教室(一色小)	火	22	11	18
一色小放課後算数教室(一色小)	木	19		10
あすなろ教室(小木小)	不定	11	7	21
はらっ子キッズ(小牧原小)	木	20	11	30
プラスワン(本庄小)	木	18	8	54
ももっコランド(桃ヶ丘小)	火	8	3	18
陶小放課後子ども教室(陶小)	木	17	8	30
やまももくらぶ(光ヶ丘小)	木	13	9	19
わくわくっ子(大城小)	木	12	5	19

講座名	講師	期日	受講者数
子どもが夢中になる遊びやし クリエーションについて	愛知県児童総合センター 海老澤 千佳	10月7日	34

(6) 成人祝賀式

令和4年4月から民法改正により、成年年齢が十八歳に引き下げられましたが、参加者本人が式典を人生の節目とし、あらためて成人としての自覚を持ち、家族や友人との繋がりを確認できる機会となるよう、成年年齢引き下げ後も引き続き、二十歳を対象に成人祝賀式を開催しました。

日 時：令和8年1月11日（日）

会 場：小牧市スポーツ公園総合体育館（パークアリーナ小牧）

参加者：約1,200人（該当者数：令和7年12月時点1,555人）

内 容：Ⅰ部では厳粛な式典、Ⅱ部ではビデオレター上映等のイベント、Ⅲ部では交流会を行いました。

(7) 学校地域コーディネーター派遣事業

学校・家庭・地域の総合的な教育力の再構築を図り、学校と地域の連携による教育環境づくりや地域における諸活動の活性化を図りました。

令和7年度学校地域コーディネーター数 小学校27人、中学校16人

- ① 学校と地域との連携の促進
- ② 生徒に対する職場体験等体験学習の実施に関する協力
- ③ 学校を主とした地域の関連教育諸活動への支援
- ④ 生徒の地域行事及び地域諸団体の活動への参加協力の促進
- ⑤ 放課後子ども教室の運営支援（小学校のみ）

(8) 学習支援事業「駒来塾」

家庭環境により家で学習する機会がない、経済的理由により学習塾に通えないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援活動を行いました。

(単位：回、人)

地区	対象校	開催曜日	開催回数	参加者数
東部	篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中	木	48	32
北里	北里中・小牧西中	木	48	18
味岡	味岡中・岩崎中	木	48	23
小牧	小牧中	木	48	19
南部	応時中	水	45	15

4 成人教育

(1) 家庭教育推進事業

① 家庭教育推進事業（25 学級）

家庭の教育機能の役割と円滑な遂行を図るため、市内小中学校において家庭教育についての学習活動や親子ふれあい活動を、また、家庭・学校・地域との連携を図り、地域の人々と子どもがふれあう機会を充実し、地域ぐるみで子どもの自立を育む事業です。

小学校

学校名	主な事業名
小牧小学校	親子地域連携講座、PTA 教養講座
村中小学校	ミニ座談会 など
小牧南小学校	教育講演会
三ツ渚小学校	体験講座、親子講座など
味岡小学校	親子企画、味岡ワイワイフェスティバル など
篠岡小学校	「家庭教育書籍から学ぼう」学習会、家庭教育講座 など
北里小学校	親子防災教室
米野小学校	PTA 体験講座、PTA 家庭教育学級 など
一色小学校	地域ふれあい活動 など
小木小学校	体験講座「この指とまれ」 など
小牧原小学校	親子講座、原っこサンデースクール など
本庄小学校	体験講座「ほっと・すぽっと」
桃ヶ丘小学校	ピーチフェスタ 2025
陶小学校	教育講演会 食育講話 など
光ヶ丘小学校	新聞づくり講習会、光キッズフェスティバル など
大城小学校	親子講座

中学校

学校名	主な事業名
小牧中学校	教養講座
味岡中学校	親講座、体育的・文化的行事 など
篠岡中学校	上方講談に親しむ会、シノッチュウ祭 など
北里中学校	サークル活動 など
応時中学校	文化講座 など
岩崎中学校	PTA 講座、ヨークバザー など
桃陵中学校	カルチャー講座

小牧西中学校	家庭教育講座、校内緑化活動 など
光ヶ丘中学校	里山保全活動、親子除草作業 など

② 幼児期家庭教育学級（14 学級）

市内の幼稚園、保育園において家庭教育に関する学習を計画的、継続的に実施し、子育てについての情報交換と健全な家庭づくりを目的とする事業です。

園名	主な事業名
味噌保育園	ハロウィンパーティ、サイエンスショー など
小木保育園	リズムダンス、トランポリン教室 など
三ツ淵保育園	クレパスアート、英語でリトミック など
三ツ淵北保育園	ヤクルトおなか元気教室、フラダンス教室 など
本庄保育園	歯みがき教室、交通安全教室 など
古雅保育園	体操教室、マジック&サイエンスショー など
小牧幼稚園	社会見学、フォトコラージュ など
とやまこども園	防災講座、親子でトランポリン など
いちのくた幼稚園	幼児安全法講習、社会見学 など
太陽幼稚園	学年懇談会、親子で楽しむ生活発表会 など
あおぞら幼稚園	夏まつり、コンサート観賞 など
旭ヶ丘第二こども園	寄植え講座、パン教室
名北ゼンヌ幼稚園	人形劇、バランスボール体験 など
桃花台ひまわり幼稚園	いちごジャムづくり、やきいも大会 など

（２） 小牧市小中学校ＰＴＡ連絡協議会

ＰＴＡ相互の連携を密にするとともに各種研究会や情報交換会を通じＰＴＡ活動の充実を図りました。

活動方針 ① 望ましいＰＴＡ活動のあり方について、各種研究会・研修会や相談事業（情報交換会）等で学習を深め、ＰＴＡ活動の充実に努める。

② 単位ＰＴＡ活動の活性化を図るため、情報の集約・発信・交換の中心的存在となるように努める。

③ 各種関係団体及び機関との連携を密にする。

内 容 ① 家庭教育委員会等の研修活動への支援

② 青少年健全育成活動の推進

③ 市ＰＴＡ連絡協議会研究発表大会の開催

④ 県ＰＴＡ連絡協議会・尾張ＰＴＡ連絡協議会、愛日ＰＴＡ連絡協議会等の行事への参加

5 文化及び芸術の振興

(1) 鑑賞

① 子どもが文化にふれる機会の充実

子どもたちが、芸術家や作品に直接ふれ、楽しみ、関心を高めることができ、豊かな人間性を育むことができるように、公演、ワークショップ、展示会などを開催し、幼児期・青少年期から文化に親しむ機会を充実します。

a オーケストラ演奏鑑賞事業

児童生徒に良質な音楽を鑑賞する機会を提供するため、特定非営利活動法人中部フィルハーモニー交響楽団により、平成 13 年度から市立小学校・中学校の巡回演奏会を始めました。平成 30 年度からは 2 管編成で巡回演奏を実施しています。

また、平成 20 年度からは、弦楽器・金管楽器・木管楽器・打楽器によるアンサンブルコンサートを市内の各幼稚園・保育園・認定こども園からの要望に応じて実施しています。平成 21 年度からはポルタメント小牧会員が歌・司会として共演しています。

小中学校実績

期日	小学校名	期日	中学校名
5 月 14 日	篠岡小学校	10 月 8 日	岩崎中学校
5 月 15 日	光ヶ丘小学校	10 月 9 日	応時中学校
5 月 16 日	陶小学校	10 月 10 日	北里中学校
5 月 20 日	本庄小学校		
5 月 21 日	桃ヶ丘小学校		

幼稚園・保育園等実績

期日	園名	期日	園名
5 月 23 日	あおぞら幼稚園	6 月 24 日	一色保育園
5 月 28 日	さくら保育園	6 月 25 日	第二保育園
	市之久田幼稚園	6 月 26 日	第一幼稚園
5 月 29 日	名北ゼンヌ幼稚園	7 月 4 日	陶保育園
6 月 4 日	とやまこども園	7 月 9 日	大城保育園
	レイモンド小牧保育園	7 月 10 日	山北保育園
6 月 5 日	本庄保育園	7 月 11 日	古雅保育園
6 月 6 日	村中保育園	7 月 16 日	みなみ保育園

7月30日	味岡保育園	9月10日	太陽幼稚園
8月1日	小木保育園		藤島保育園
8月6日	じょうぶし保育園	9月11日	大山保育園
8月20日	岩崎保育園	9月12日	桃花台ひまわり幼稚園
8月21日	篠岡保育園	9月24日	小牧幼稚園
9月3日	三ツ渚北保育園	10月15日	美鳥第二幼稚園
9月4日	旭ヶ丘第二こども園	10月16日	美鳥幼稚園
	北里保育園	11月5日	三ツ渚保育園

b 巡回ミュージアム

身近に世界の名画にふれる機会を提供するため、希望のあった市内中学校に対して、平成8年～平成10年に購入したレプリカ絵画42点の中から、各校の指導に合わせた作品を巡回展示しています。

期日	中学校名
1月7日～1月28日	応時中学校
2月2日～2月27日	味岡中学校

② 気軽に楽しく文化にふれる機会づくり

文化への関心、経済・社会的な環境に関わらず、より多くの人が文化にふれることができるように、文化団体などと連携しながら、市民センターのロビーなどで魅力あるコンサートを行い、気軽に文化とふれあい、楽しみながら鑑賞する機会をつくれます。

a こまぶんフェスタ 2025・芸術フェスティバル 2025（同時開催）

「地域とつながる参加型フェスタ」として、市民会館ホールでは公募で選ばれた15組の出演者たちのパフォーマンスを楽しむ芸術フェスティバル、公民館展示場では美濃和紙提灯絵付け体験、ロックバーンシングワークショップ、講堂ステージではパペット腹話術、猿まわしの公演を行いました。また、講堂内やロビー、駐車場では計50店のマルシェが出店し、手作りクラフト作品やお菓子などを披露していただく場とともに、来場者が様々なイベント、飲食・お買い物等を楽しみ長時間滞在できるおまつりとなりました。

（単位：人）

期日	会場	入場者数
8月24日	市民会館・市公民館	3,125

- b こまき日本文化の日「文化百花」～みんなで文化の花を咲かせましょう
 地域の方々（書道連盟、茶道連盟、華道連盟）の協力を得ながらともに作り上げる市民参加型の地元密着イベントとして、小牧市民がひろく伝統文化に親しみ、こどもから大人まで楽しい体験をしていただく機会となりました。

期日	会場	入場者数
5月31日 6月1日	市公民館	272

③ 本格的な鑑賞機会の提供

市民の多様化・高度化する鑑賞ニーズに対応するため、市民会館、各市民センターで、幅広い分野を対象とした公演や質の高い公演など、本格的な鑑賞機会を提供します。また、作品やアーティストをより深く理解できるように、学習や体験の機会をつくります。

a 舞台公演事業の実施

良質な芸術文化に触れる機会を提供するため、市民会館等において、幅広い内容で自主文化事業を行いました。（共催・協賛事業を含む）

（単位：円、人）

会場	期日	公演名	出演者・内容等	入場料	入場者数
市民会館	5月10日	中部フィルハーモニー交響楽団第98回定期演奏会 KOMAKI シリーズ1〈イギリスの巨匠〉	中部フィルハーモニー交響楽団	セレクトプラチナ席：8,000 プラチナ席：7,000 S席：6,000 A席：4,500 B席：3,500 (アート会員各500円引き) 25歳以下：1,500	561
	5月11日	TEAM パフォーマン斯拉ボ×ガチャピン・ムックのサーカスエコロジカル	フジテレビ・パフォーマン斯拉ボ	一般：2,000 アート一般：1,500 18歳以下：1,000	364
	8月9日	中部フィルハーモニー交響楽団『小牧特別演奏会』シンフォニック・アニメ ジブリがいっぱい！オーケストラパークⅡ	管弦楽：Chubu フィルム・サウンズ・オーケストラ、 ピアノ：CHIAKi	プラチナ席：5,000 S席：4,000 A席：3,000 (アート会員各500円引き) 25歳以下：2,000	765
	8月17日	劇団四季ミュージカル『赤毛のアン』	劇団四季	S席：10,000 A席：8,000 B席：5,000 ※3歳未満入場不可	1,265
	9月6日	ANRI LIVE 2025 TIMELY!!	杏里	一般：8,800 ※未就学児入場不可	1,233

市民会館	10月18日	キーウ・クラシック・バレエ 白鳥の湖 全2幕	キーウ グランド・バレエ	一般：5,000 アート一般：4,500 18歳以下：2,000 アート18歳以下：1,500 ほか子ども無料席、同伴者半額席（文化庁による文化芸術振興費補助金を設定）	915
	11月9日	KAORI PARADISE 2025	岸谷香	一般：6,500 アート一般：6,000	834
	12月13日	市制70周年記念 中部フィルハーモニー交響楽団第101回定期演奏会 KOMAKI シリーズ 2〈こまぎ第九 2025〉	管弦楽：中部フィルハーモニー交響楽団 指揮：鈴木秀美 合唱：NUA ハルモニア合唱団、名古屋芸術大学学生合唱団、こまぎ第九2025 特別合唱団他	セレクトブラチナ席：9,000 ブラチナ席：8,000 S席：7,000 A席：5,500 B席：4,500 (アート会員各500円引き) 25歳以下：2,500	667
	12月14日	尾崎裕哉 Concert 2025	尾崎裕哉	一般：6,000 アート一般：5,500	522
	1月31日	カキンツハルカ LIVE 2026	柿澤勇人、ウエント瑛士、木南晴夏ほか	一般：8,000 アート一般：7,500	1,216
	2月14日	中部フィルハーモニー交響楽団第102回定期演奏会 KOMAKI シリーズ 3〈箏〉	管弦楽：中部フィルハーモニー交響楽団 指揮：飯森範親他	セレクトブラチナ席：8,000 ブラチナ席：7,000 S席：6,000 A席：4,500 B席：3,500 (アート会員各500円引き) 25歳以下：1,500	488
	3月14日 3月15日	吉本新喜劇出前ツアー2025 愛知公演 ～CBC コラボスペシャル～	間寛平、友近、東貴博ほか	一般：7,500	5,104
市民会館・市公民館	9月7日	小牧市制70周年記念 桂 宮治 親子寄席・独演会	桂 宮治	【独演会】 一般：3,500 アート一般：3,000 【親子寄席】 大人：1,500 18歳以下：500	572
味噌市民センター	1月18日	東京楽竹団コンサート ～竹楽器で奏でる癒しのハーモニー～	東京楽竹団	一般：2,000 アート一般：1,500 18歳以下：1,000 ワークショップ：500	55
東部市民センター	3月14日	絵本 de クラシック 「ブレーメンの音楽隊」	トラベル・プラス・クインテット+ (金管アンサンブル) ナレーション：岡村 明美	一般：2,000 18歳以下：1,000 アート一般：1,500	192

b 薪能開催事業

市制 50 周年を記念して実施した「小牧山薪能」を、小牧山と伝統芸能の素晴らしさを広く紹介するため毎年開催しています。

(単位：人)

名称	期日	会場	入場者数
小牧山薪能	9 月 20 日	市民会館（雨天のため）	1,150

c アウトリーチ・ワークショップ事業

想像力や表現力を育むため、プロのアーティストを小中学校などに派遣する、アウトリーチ事業として、様々なジャンルのワークショップを実施しました。

(単位：人)

名称	期日	講師	会場	参加者数
アウトリーチ事業	10 月 15 日	〈落語〉 瀧川鯉三郎	小木小学校	154
	11 月 5 日		小針の郷	45
	11 月 15 日		野口の郷	85
	1 月 16 日		村中小学校	158
	11 月 28 日	〈音楽〉 三門祐輝 (他 3 名)	小牧小学校	229
	11 月 26 日	〈講談〉	一色小学校	150
	11 月 27 日	玉田玉秀斎	北里小学校	251

d アート企画事業

現代の様々なアートに目を向け、美術鑑賞・体験の機会やアートを通じた交流などを目的として企画展覧会を開催しました。令和 7 年度は、小牧市出身の造形作家・仲宗根知子氏の展覧会を開催し、北欧フィンランドの伝統的吊り飾り〈ヒンメリ〉をはじめ、植物などの自然素材を使い、モダンで繊細な独自の造形を追求する作家の地元初の展覧会となりました。多くの方々がアートに親しみ交流する機会をつくりました。

(単位：人)

名称	期日	来場者数
仲宗根 知子展 Cosmology of the Earth -天地の 紋-	2月7日～2月15日	延べ973

(2) 創作

① 子どもの創作活動の推進

次代の小牧の文化を担うのは子どもです。学校における授業や部活動などを通じて、子どもの創作活動の推進を図ります。また、地域の指導者の協力を得ながら、放課後や休日に、学校や地域の公共施設を利用して、音楽・美術・演劇など様々な分野の活動機会を提供します。

a ジュニア育成文化活動

平成14年度に、学校完全週5日制が実施されました。それに伴い、文化部門のジュニア育成の必要性が増大してきましたが、全市的にジュニアクラブを立ち上げるまでの下地がないため、文化協会会員を授業や学校行事などに伝統文化等の指導者として派遣し、教育効果向上に貢献しています。また、平成18年度にはジュニア演劇クラブが立ち上がり、練習の集大成として自主公演を実施しています。平成23年度にはジュニア美術クラブも立ち上がり、まなび創造館センターモール等で展覧会を実施しています。

b 小牧市こども夢・チャレンジ文化事業

小牧山で親子を対象とした催しを開催しました。

(単位：組)

名称	期日	会場	入場者数
第21回こまき山おやこ りー「こまきやまタイムス リップ！」	5月4日、5日	小牧山史跡公園、 青年の家、小牧山	99

アートワークを通じて子どもたちの想像力や創造力を育み、作品を作り上げる喜びや表現することの楽しさ、新たな可能性を発見する機会を提供しました。

(単位：人)

名称	期日	会場	参加者数
GIANT STEP とつくろう！ あそぼう！パクパクおばけ	7月20日	青年の家、創垂館	29

小牧に！みんなの分身 100 人あつまる！	2月28日	市公民館	13
--------------------------	-------	------	----

c 小牧市制 70 周年記念 小牧将棋まつり

7月5日から6日まで小牧市で開催された「伊藤園お〜いお茶杯 第66期王位戦七番勝負 第一局 こまき対局」を記念して開催しました。「小牧市長杯 第18回小中学生 小牧陣中将棋大会」を始め、その他イベントとして「指導対局」を棋士5名が担当、「ぐるぐる将棋」「将棋初級講座」「対局観戦」を女流棋士4名が担当しました。また、視覚障がいのある実力者に挑戦するコーナーも開催しました。

「小牧市長杯 第18回小中学生 小牧陣中将棋大会」では、A級1～3位（同率3位2名）とB級・C級の優勝者計6名に対し、王位戦前夜祭（7月4日）のステージで藤井王位と永瀬九段へ花束贈呈を行う特典が用意されました。

（単位：人）

名称	期日	会場	参加者数
小牧市制 70 周年記念 小牧将棋まつり	6月29日	市公民館	約 250

② 市民の練習や団体活動等の支援

市民の文化芸術活動の一層の充実を図るため、市民が芸術家や専門家から直接、指導や助言を受ける機会を提供します。また、市内の各種文化団体の活動を支援し、活性化を図ります。

a 音楽指導事業

市内小中学校・高等学校の吹奏楽・金管バンドを技術指導するため、中部フィルハーモニー交響楽団が楽団員を派遣しています。令和7年度は延べ93人の楽団員を派遣しました。

b 吹奏楽フェスティバル

市内中学校9校、高校3校の吹奏楽部及び市民バンド2団体計14団体が一堂に会して、吹奏楽の祭典を実施しました。

（単位：人）

名称	期日	会場	入場者数
吹奏楽フェスティバル 2025	10月5日	市民会館	1,500

ｃ 文化協会

小牧市文化協会は昭和 47 年 8 月に書道、美術、写真の 3 団体により発足しました。翌 48 年には、4 団体が加盟し、第 1 回小牧市総合文化祭を開催、以後 7 団体が加盟し、令和 5 年度には、創立 50 周年を迎え、記念式典を開催しました。現在 9 部門、14 の部会、会員 881 人の組織になりました。

毎年、こまき市民文化財団をとおして、文化協会の運営について助成しているほか、加盟団体の行う文芸誌「駒来」発行事業（文芸協会）に助成しています。

部門	部会	構成団体	活動概要
洋楽	音楽	18	総合文化祭・サマーコーラスフェスティバル等全市的な活動を展開
邦楽	民謡	4	総合文化祭・民謡まつり・市民まつり・納涼盆踊り大会等普及活動を展開
	民謡	3	総合文化祭・民謡まつり・市民まつり・寿学園公演等民謡の振興と普及活動を展開
	吟剣詩舞	14	総合文化祭・吟剣詩舞大会・市民まつり・寿学園公演等その振興と普及活動を展開
	三曲	6	総合文化祭・定期演奏会・市民まつり・各種発表会等三曲の振興と普及活動を展開
日舞	日舞	8	総合文化祭・初舞の会・市民まつり・寿学園公演等日舞の振興と普及活動を展開
洋舞	洋舞	4	総合文化祭・市民舞台芸術祭・市民まつり・定期発表会等全市的な活動を展開
美術	美術	5	総合文化祭・市民美術展・絵画工芸教室・作品展等全市的な活動を展開
書	書道	1	総合文化祭・市民美術展・書き初め大会・臨書展等全市的な活動を展開
写真	写真	4	総合文化祭・市民美術展等の撮影会や作品展等全市的な活動を展開
伝統文化	茶道	1	総合文化祭・市民茶会・市民まつり・さくらまつり・こまき信長夢夜会・各月釜等茶道の振興と普及活動を展開
	華道	1	総合文化祭・市民まつり・各流派作品展等を通して、華道の振興と普及活動を展開
	囲碁	1	囲碁の振興と普及活動を展開

文芸	文芸	10	総合文化祭・月刊文芸誌「駒来」の発行等全市的な活動を展開・中日新聞近郊文芸投稿
----	----	----	---

③ 市民の発表・交流の支援

創作した作品を発表する機会を提供するとともに、市内の様々な芸術家や団体が一堂に会する機会を設け、交流を促進します。節目の際にはアーティストを招いたり、体験イベントやワークショップを同時開催したりするなど、より多くの市民が参加できるよう工夫します。

a 市民美術展

市民の美術愛好家の底辺の拡大と質の向上をめざして、昭和 33 年から開催し、第 66 回目を迎えました。市民から 5 部門の作品を公募し、審査のうえ、展覧会を開催しました。

(単位：人)

名称	期日	会場	入場者数
第 66 回市民美術展	10 月 25 日～11 月 2 日	市公民館	2,184

④ 芸術創造活動の支援

市内に拠点を置き活動する芸術団体等に対し、練習・発表・情報発信など、地域の芸術家の才能を開花させ、社会に名を広げていくための支援を、相互協力の視点を持ちながら実施します。

a 特定非営利活動法人中部フィルハーモニー交響楽団

平成 12 年に小牧市はもとより周辺市町の音楽芸術文化向上のため、小牧市に本拠を置き、我が国の一流オーケストラとなることを目標に設立されました。運営形態は小牧市民が中心となり、小牧市、地元企業及び財界が支えるという全く新しい形態のプロオーケストラで、芸術監督・首席指揮者には、秋山和慶氏を迎え、令和 2 年には首席客演指揮者に飯森範親氏を迎えました。

本市は楽団が主催する各自主公演を共催事業として位置づけるなど、積極的に活動支援を行っています。



ｂ サンデーコンサート、モーニングコンサート

日曜日の午後のひとときを音楽に親しんでもらえるよう、ポルタメント小牧会員を中心にコンサートを企画し、市民会館、各市民センター、まなび創造館等を会場に実施しています。ポルタメント小牧は、小牧市の音楽文化の向上と発展に寄与するため、プロフェッショナルの音楽家で結成された団体です。サンデー・モーニングコンサートや出張コンサートなどを企画し、出演しています。令和８年３月末現在で約 79 人の会員が在籍しています。

(単位：人)

期日	名称	会場	入場者数
5月25日	春のサンデーコンサート「Dear Mr. Gershwin」～クラシックとジャズで楽しむガーシュウィン～	北里市民センター	108
7月27日	夏のサンデーコンサート「NHKの世界」～家族みんなでどっぴりNHK～	東部市民センター	192
10月12日	秋のサンデーコンサート「ショパンの魅力」～ショパン国際ピアノコンクールを楽しもう～	味岡市民センター	210
12月21日	冬のサンデーコンサート「0歳から大人まで楽しめるポルタの贈るクリスマス🎄」～ポルタの音の芽ワークショップ♪～	市民会館大ホール	364
2月4日	モーニングコンサート「実はこんな曲」～あのメロディーの続き～	あさひホール	69

ｃ バリアフリー公演

障がいの有無や年齢に関係なく、障がい者も健常者も一緒に舞台を楽しんでいただく機会を提供しました。

(単位：人)

期日	名称	会場	入場者数
6月15日	「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」バリアフリー演劇	市民会館大ホール	306

(3) 継承

① 文化財の保護

文化財はわたしたちの先祖の歴史、文化の貴重な遺産です。市内の史跡、有形文化財、埋蔵文化財等を調査・保存して、次代に継承していきます。また、歴史的建造物、生活文化、言い伝えなども広く、調査・継承に取り組みます。

a 文化財の指定

文化財保護条例に基づいて、市にとって重要と考えられる文化財を指定し、保護を図っています。

指定文化財等一覧

種別		名称	所在地	所有者等	指定年月日
国指定	重要文化財 （彫刻）	銅造誕生釈迦仏立像	奈良国立博物館へ寄託中	正眼寺	S 63. 6. 6
		木造十一面観音坐像	藤島町居屋敷 267	賢林寺	R 2. 9.30
	史 跡	小牧山	堀の内 1 -1 他	小牧市	S 2.10.26
		大山廃寺跡	大山 411 他	小牧市	S 4.12.17
県指定	考古資料	三角縁獣文帯三神三獣鏡 （宇都宮神社古墳出土）	小木 3-229	宇都宮神社	S 62. 9. 9
	史 跡	高根遺跡	高根 1-331	小牧市	S 31. 3. 7
		宇都宮神社古墳	小木 3-226 他	宇都宮神社	S 62. 9. 9
	天然記念物	熊野神社の五枚岩	岩崎 1337	熊野神社	S 35. 6. 2
		岩崎清流亭の藤	岩崎 148	小牧市	S 36. 3.30
		大草のマメナシ自生地	大草 1 他	小牧市	H 23. 8.26
市指定	建 造 物	切支丹灯籠	岩崎 1335	小牧市	S 45. 3.26
		小松寺本堂	小松寺 3-15	小松寺	S 53. 3.25
		陶製宝篋印塔	大草 5229	福厳寺	S 53. 3.25
		附天保六年在銘陶製香炉			
		無縫塔	三ツ淵 29	正眼寺	H 3. 3.30
		絵 画	絹本着色盛禅画像	大草 5229	福厳寺
	絹本着色文殊菩薩像		大山 416	江岩寺	S 53. 3.25
	絹本着色千手観音菩薩像		小松寺 3-15	小松寺	H 10. 3.27
	釈迦涅槃図		愛知学院大学に寄託中	正眼寺	H 31. 3.29
	彫 刻		鑄鉄千手観音菩薩立像	大山 416	江岩寺
		木造十一面観音菩薩立像	小牧 3-143	戒蔵院	H 3. 3.30
		賢林寺の木造脇侍像（大）	藤島町居屋敷 267	賢林寺	H 21. 3. 9
		賢林寺の木造脇侍像（小）	藤島町居屋敷 267	賢林寺	H 21. 3. 9
		木造千手観音菩薩立像	小松寺 3-15	小松寺	H 31. 3.29
		木造地藏菩薩坐像	小松寺 3-15	小松寺	H 31. 3.29
		工 芸 品	銅製釣灯籠	小松寺 3-15	小松寺
	書 跡	扁額（身体健康精神活澆）	小牧 3-17	小牧市（小牧小学校）	H 3. 3.30
	考古資料	甲屋敷古墳出土の三角縁神獣鏡	堀の内 3-1	小牧市	S 53. 3.25
		小木出土の内行花文鏡	堀の内 3-1	個人	S 53. 3.25
		銅鐸（北外山出土）	堀の内 3-1	小牧市	S 53. 3.25
	有形民俗文化財	秋葉祭の山車 4台	小牧 5-153 小牧神明社	小牧山車保存会	S 57. 7.27
		小牧祭の山車	小牧 5-153 小牧神明社	小牧山車保存会	S 60. 4.13
		算額	久保一色 2823	庚申寺	H 3. 3.30
		三十六歌仙絵札 絵札 32面 奉納札 1枚	大草 2784	大久佐八幡宮	H 14. 4. 1
無形民俗文化財	野口棒の手	野口	野口棒の手保存会	S 45. 3.26	
	大草棒の手	大草	大草棒の手保存会	S 58. 2.17	

市指定	無形民俗文化財	五本棒オマント奉納神事	小牧 4（東町区）	五本棒オマント奉納神事保存会	H 16. 2.26
		田縣神社豊年祭の御輿行列（お練り）	田縣町 1 5 2	田縣神社	H 28. 3.24
	史 跡	甲屋敷古墳	小木 2-474-1	小牧市	H 4. 8.15
	天然記念物	日吉神社のクスノキ	小木 5-39	宇都宮神社	S 53. 3.25
		多気十二柱神社のシイノキ	多気中町 232	十二柱神社	H 11. 4.23
国登録	建 造 物	貴船神社のアベマキ	上末 2993	八幡社	H 22. 3.29
		愛知県立小牧高等学校 正門門柱（旧愛知県小牧中 学校正門）	小牧 1-321	愛知県	H 29. 6.28
		創垂館	堀の内 1-2	小牧市	R7.8.6

b 文化財の保存・管理への支援

市指定文化財の所有者が行う保存、公開、伝承活動に対し補助を実施し、文化財の保護を図りました。

c 文化財資料研究会

市内の小中学校の主に社会科教員で構成されており、市の委託事業として調査活動を実施しています。令和 7 年度は第 10 回こまき検定を実施したほか、過去に行われたこまき検定の内容をもとにした『小牧文化財散歩 ～こまき検定に出題された文化財の今～』を発行しました。

d 埋蔵文化財の調査

埋蔵文化財とは、地下に埋もれたままになっている文化財のことです。宅地開発や土地区画整理事業などにより、現地保存が不可能な埋蔵文化財包蔵地について、事前に発掘調査を実施して、記録を保存しています。

調査種別	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積 (㎡)	時代・主な成果	調査理由
範囲確認調査	織田井戸遺跡	小木 二丁目	5月26日～ 6月5日	9	縄文・近世以降 ピット 打製石斧、縄文土器小片、 陶磁器	個人 住宅

範囲確認調査	久捨古窯跡	大草字 久捨	2月16日～ 2月26日	10	奈良・平安・近世以降 須恵器、灰釉陶器、陶器	民間 開発 事業
--------	-------	-----------	-----------------	----	---------------------------	----------------

e 資料の収集及び調査・整理

近年の著しい生活様式の変化によって、長く使われてきた生活道具や伝承などの民俗資料は過去のものとして失われようとしています。しかし、これらの民俗資料は、先人の生活ぶりを正しく理解するための手掛かりとして欠くことのできないものです。寄贈していただいた民俗資料は、後世に伝え残していくために、民俗資料保存施設に収納、保管し、データベース化をしています。

民俗資料保存施設の概要

軽量鉄骨二階建 延床面積 540.3 m²

1 階 整理作業室、倉庫（埋蔵文化財・民俗資料等）

2 階 整理室、作業室、展示室、倉庫

f こまき歴史発見館

令和5年4月に小牧山山頂の小牧市歴史館の展示内容を戦国時代の小牧山を中心とした展示に改装し、小牧山歴史館としてリニューアルオープンしました。これに伴い、それまで展示していた郷土の歴史資料を展示する新たな施設として、こまき歴史発見館をラピオ4階の市民ギャラリー跡地に整備しました。

② 歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用

織田信長による小牧山城築城や小牧・長久手の合戦、小牧宿を始めとした小牧ゆかりの歴史や文化財に対して、市民が興味・関心を高めたり、理解を深めたりする機会の充実に取り組みます。

a こまき検定

小学校で郷土について学習することを受け、さらに発展的に郷土の歴史・文化・産業・地理・伝統行事・人々の暮らしなどへの興味関心を高めてもらうため、小中学生を対象として第10回「こまき検定」を開催しました（小牧市文化財資料研究員会委託事業）。また、より多くの方にも郷土への関心・愛着・誇りを高めていただけるようホームページで問題文を紹介しました。

こまき検定

(単位：人)

期日	内容	会場	参加者数
11月3日	歴史・地理・公民分野から30問を出題。 21点以上の正解で合格証を授与。	市役所 601会議室	29

b 各種講座等

愛知文教大学と連携して、歴史文化基礎講座、歴史講座、古文書講座、文化財巡り等を実施したほか、映像記録として『小牧神明社の秋葉祭』を作成し、市民の歴史、文化財学習機会の充実を図りました。

歴史文化基礎講座

(単位：人)

期日	演題	講師	会場	受講者数
6月28日	尾張のあけぼの～縄文時代の知恵と暮らし～	川添 和暁	市役所 大会議室	72
7月5日	外山銅鐸・三ツ山古墳獣帯鏡から見えてくる風景～小牧・大山川水系の弥生・古墳時代～	赤塚 次郎	市役所 大会議室	85
7月12日	小牧山と創垂館の魅力	麓 和善	市役所 大会議室	62

歴史講座 テーマ：城郭建築に恋をして

(単位：人)

期日	演題	講師	会場	受講者数
11月15日	三河中入と城郭	内貴 健太	まなび創造館	147
11月22日	小牧・長久手合戦後の徳川家康の城郭戦略	加藤 理文	まなび創造館	153

小牧市制70周年記念講座

(単位：人)

期日	演題	講師	会場	受講者数
11月29日	織田信長・徳川家康の小牧山城	千田 嘉博	市民会館	962

子ども古文書寺子屋 全2回連続講座

(単位：人)

期日	内容	講師	会場	受講者数
7月27日 8月3日	戦国時代から江戸時代に書かれた書状や書き物を読む。	酒向 道夫	まなび創造館	8

古文書基礎講座 全 4 回連続講座

(単位：人)

期日	内容	講師	会場	受講者数
9月6日、 13日、 20日、 27日	百人一首・龍馬の手紙・武家諸法度・証文・掛け軸など身近な史料を読む。	酒向 道夫	まなび創造館	30

古文書実践講座 全 4 回連続講座

(単位：人)

期日	内容	講師	会場	受講者数
1月10日、 17日、24日 31日	江戸時代の講談師がまとめた『森の雫』の解読に挑戦。	小牧市古文書調査会メンバー	まなび創造館	43

文化財巡り

(単位：人)

期日	内容	案内人・講師	参加者数
11月9日	小牧の文化財地図「訪ね歩きマップ（小牧地区）」をもとに、正眼寺を中心に文化財の解説を受けながら巡る。	西川菊次郎ほか 文化財地図作成委員	20

企画展 テーマ：これな～んだ?! 昔の農具

(単位：人)

期日	内容	会場	参加者数
8月18日 ～24日	かつて実際に使用されていた昔の農具の一部を展示し、当時の人々の工夫を紹介、精米体験も実施。	小牧市中央図書館	462

映像資料（DVD）の作成

小牧市内の祭りを調査対象として取材し、映像記録として保存活用する取り組みとして、小牧市指定有形民俗文化財となっている秋葉祭の山車が登場する『小牧神明社の秋葉祭』を作成しました。祭りの由来と歴史、祭りの1日の流れがわかる貴重な記録となっています。

小牧市文化財地図（訪ね歩きマップ）の増刷

「小牧の旧道 上街道」改訂版を発行するとともに、味噌地区の「訪ね歩きマップ」増刷に向けて、現地を巡り校正作業を進めました。

c 大草のマメナシ自生地についての啓発

県の天然記念物に指定されている大草のマメナシ自生地を知っていただくため、普段立ち入ることのできない自生地内へ入り、マメナシの説明を聞くことのできるマメナシ観察会を開催しました。（単位：人）

期日	内容	講師	会場	参加者数
3月28日	マメナシ観察会	増田 理子	大草のマメナシ自生地	131

③ 小牧山の整備・活用

市のシンボルである史跡小牧山を適切に保存管理・活用・整備・運営していくため、令和2年3月に「史跡小牧山保存活用計画」を策定しました。この計画に基づき、貴重な歴史遺産である史跡小牧山の保存活用を推進しています。

a 史跡小牧山の整備

国指定史跡小牧山は戦国時代の貴重な歴史遺産であり、緑豊かな憩いの場・桜の名所として市民に親しまれ、小牧市のシンボリック存在となっています。この小牧山の価値を更に高めるため、史跡小牧山の整備を進めています。

(a) 史跡小牧山の概要

戦国時代の永禄6年（1563年）、織田信長が小牧山城を築き、清須城から居城を移し、小牧山南麓に城下町を計画的に整備しましたが、その4年後に美濃の斎藤龍興を攻略して稲葉山城（岐阜城）へ移ると、小牧山城は廃城となりました。

織豊時代の天正12年（1584年）、小牧・長久手の合戦が起こり、犬山方面から南下する羽柴（豊臣）秀吉軍に対抗して、織田信雄・徳川家康連合軍が小牧山城跡を改修し陣城を築きました。その後、和議が成立し、小牧山城は再び廃城となりますが、このときの城の遺構が、江戸時代以降の手厚い保護により、現在まで残っています。

昭和2年10月26日に205,956.23㎡が国指定史跡に指定されました。これまでの調査で、織田信長が築いた小牧山城は主郭周辺を石垣で囲むなど石を多用した城であったことが判明するなど、新しい知見が得られています。

また、史跡指定地の外ですが、小牧山南麓では織田信長が本格的な城下町を形成したことも判明しています。

(b) 整備の経過・予定

史跡小牧山が、市民のシンボルとしてふさわしい郷土の誇りになるよう、歴史と自然を調和させた整備を進めます。

現在、史跡小牧山整備基本計画で早期整備に位置づけている主郭地区（山頂を

中心とした中腹までの区域)の整備を、史跡小牧山主郭地区整備基本計画に基づき進めています。また、整備のための基礎資料を収集するため、発掘調査を実施しています。

令和7年度は、小牧山歴史館の南東側に当たる第3-2工区整備工事及び大手道第2次発掘調査を実施しました。

また、発掘調査現場を見学できる機会として、現地公開を実施しました。

発掘調査の内容

調査種別	調査場所	調査期間	調査面積 (㎡)	時代・主な成果	調査理由
発掘調査	大手道	5月19日 ～3月25日	395.9	織豊 石垣 登城路	史跡整備

現地公開

(単位:人)

期日	会場	内容	参加者数
12月13日	小牧山	大手道第2次発掘調査成果について、成果資料の配布及び現地説明会	350



史跡小牧山大手道第2次発掘調査で確認された石垣

(c) 小牧山城復元プロジェクト

史跡小牧山主郭地区整備に伴い、復元する石垣の裏に詰める「裏込石(うらごめいし)」に名前やメッセージを記入することができる、裏込石記名イベントを実施しました。

イベントで記名された石材は、史跡小牧山主郭地区第3-2工区整備工事で小牧山歴史館南東側の石垣の裏込石として使用しました。

裏込石記名イベントの実績

期日	会場	使用石材数	参加人数
12月13日	小牧山城史跡情報館レクチャールーム	63個	90人



記名イベント



記名された石材の石垣背面充填状況

整備等の経過

年度	内容
平成 8 年度	史跡小牧山整備計画策定会議設置要綱制定、史跡小牧山整備計画策定会議設置・開催
平成 9 年度	史跡小牧山整備計画専門委員会設置・開催
平成 10 年度	小牧中学校移転、測量調査、発掘調査開始（～14 年度） 史跡小牧山整備計画基本構想策定
平成 11 年度	史跡小牧山旧小牧中学校用地整備基本計画策定
平成 12 年度	旧小牧中学校用地第 1 工区実施設計
平成 13 年度	旧小牧中学校用地第 1 工区整備工事、第 2 工区実施設計
平成 14 年度	旧小牧中学校用地第 2 工区整備工事、第 3 工区実施設計
平成 15 年度	旧小牧中学校用地第 3 工区整備工事
平成 16 年度	主郭地区試掘調査（～19 年度）
平成 19 年度	史跡小牧山西麓園路整備工事
平成 20 年度	史跡小牧山主郭地区整備基本計画策定、主郭地区第 1 次発掘調査
平成 21 年度	主郭地区第 2 次発掘調査、園路調査設計
平成 22 年度	主郭地区第 3 次発掘調査、主郭地区第 1 工区整備工事実施設計
平成 23 年度	主郭地区第 4 次発掘調査、市役所本庁舎跡地地区整備基本計画策定
平成 24 年度	主郭地区第 5 次発掘調査、本庁舎跡地発掘調査
平成 25 年度	主郭地区第 6 次発掘調査、旧本庁舎跡地整備実施設計（その 1）
平成 26 年度	主郭地区第 7 次発掘調査、旧本庁舎跡地整備実施設計（その 2）、 （仮称）史跡センター整備基本構想策定

平成 27 年度	主郭地区第 8 次発掘調査、旧本庁舎跡地基盤整備工事、 （仮称）史跡センター展示基本設計、 （仮称）史跡センター建設工事基本設計、 （仮称）史跡センター周辺史跡整備基本計画
平成 28 年度	主郭地区第 9 次発掘調査、旧本庁舎跡地本整備工事、 （仮称）史跡センター周辺発掘調査、 （仮称）史跡センター展示実施設計、 （仮称）史跡センター建設工事实施設計、 （仮称）史跡センター周辺史跡整備実施設計
平成 29 年度	主郭地区第 10 次発掘調査、 （仮称）史跡センター建設工事、 （仮称）史跡センター周辺整備工事、 （仮称）史跡センター周辺新登山道部分整備実施設計
平成 30 年度	主郭地区第 11 次発掘調査、 （仮称）史跡センター建設工事（繰越）、 （仮称）史跡センター周辺整備工事（繰越）、 史跡センター周辺新管理道部分整備工事、 史跡小牧山主郭地区整備基本計画修正、 史跡小牧山保存活用計画（前半部）
令和 元 年度	小牧山城史跡情報館開館、 主郭地区第 12 次発掘調査、 小牧山城史跡情報館周辺（管理道部分）発掘調査、 史跡小牧山桜の馬場屋外トイレ改修工事設計、 史跡小牧山主郭地区物置等撤去工事設計、 史跡小牧山作業道整備実施設計、 史跡小牧山主郭地区整備第 5 工区実施設計、 史跡小牧山主郭地区屋外トイレ撤去工事、 史跡小牧山保存活用計画策定
令和 2 年度	桜の馬場発掘調査、 主郭地区第 13 次発掘調査、 史跡小牧山桜の馬場屋外トイレ改修工事、 史跡小牧山主郭地区物置等撤去工事、 史跡小牧山作業道整備工事、 史跡小牧山主郭地区整備第 1 工区実施設計、 小牧山城史跡情報館周辺（管理道部分）実施設計
令和 3 年度	主郭地区第 2 工区発掘調査、 史跡小牧山主郭地区第 5 工区整備工事、 史跡小牧山主郭地区整備第 2 工区実施設計、 史跡小牧山整備基本計画
令和 4 年度	主郭地区第 3・4 工区発掘調査、 史跡小牧山主郭地区第 1 工区整備工事、 史跡小牧山小牧山城史跡情報館周辺（旧管理道部分）整備工事、 史跡小牧山主郭地区整備第 3 工区実施設計
令和 5 年度	主郭地区第 4 工区発掘調査 史跡小牧山主郭地区第 2 工区整備工事、 史跡小牧山主郭地区整備第 4 工区実施設計 史跡小牧山主郭地区整備第 3 工区 B 地区修正実施設計

令和 6 年 度	大手道発掘調査 史跡小牧山主郭地区第 3－1 工区整備工事
令和 7 年 度	大手道第 2 次発掘調査 史跡小牧山主郭地区第 3－2 工区整備工事 創垂館エリア整備基本計画策定



史跡小牧山主郭地区第 3－2 工区整備状況

④ 小牧山歴史館の管理運営

篤志家からの寄附により昭和 43 年に小牧山山頂に建設された、京都の西本願寺飛雲閣を模した模擬天守です。開館以来、小牧市の歴史民俗資料を展示してきましたが、令和 5 年 4 月 1 日にリニューアルオープンし、名称を「小牧山歴史館」に改称しました。

鉄筋コンクリート造三層四階建

建築面積 333.54 m² 延床面積 629.21 m²

- ・入場料 一般 200 円 団体（30 人以上）100 円 18 歳以下無料
（常設展示室の入場料で、ふもとの小牧山城史跡情報館の常設展示室へも入場できます）
- ・令和 7 年度 常設展示室入場者数 52,664 人
総入場者数 111,002 人（入場口の計測機数値）

a 企画展示

企画展を開催しました。

（単位：人）

期日	名称	入場者数
1 月 1 7 日～3 月 1 5 日	-緑の宝庫- 小牧山の樹木たち	20,703

b 戦国体験 (単位：人)

期日	参加者数
4月20日、10月19日、 3月22日	1,779

c 忍者衣装試着体験 (単位：人)

期日	参加者数
4月～3月の毎週土日	53

d 小牧山城茶会 (単位：人)

期日	参加者数
5月3日、11月3日	397

⑤ 小牧山城史跡情報館の管理運営

小牧市のシンボルである小牧山の歴史や文化、残された貴重な自然をみなさんにお伝えするガイダンス施設として平成31年4月に開館しました。

常設展示室では、発掘調査で明らかとなった織田信長が築いた小牧山城の石垣や城下町、小牧・長久手の合戦など、小牧山にまつわる歴史を、模型や映像を多く使ってわかりやすく紹介しています。

また、企画展示やワークショップ、講演会や講座を行うスペースを設けており、小牧山に関する最新の情報を提供する施設です。

鉄骨造 平屋建て

延床面積約 999.24 m²

- ・入場料 一般 200 円 団体（30 人以上）100 円 18 歳以下無料
（常設展示室の入場料で、山頂の歴史館常設展示室へも入場できます）
- ・令和7年度 常設展示室入場者数 35,971 人
総入場者数 100,596 人（入場口の計測機数値）

a 企画展示

企画展を開催しました。

(単位：人)

期日	名称	入場者数
4月26日～6月11日	史跡小牧山大手道発掘調査と石垣復元パネル展	3,466
10月15日～12月25日	津田応助と小牧山	6,968
2月14日～3月22日	史跡小牧山大手道発掘調査パネル展	6,416

b 館内ガイド

入館者の利便性向上のため、土日祝日を中心に館内のガイドを行うれきしるこまきガイドボランティアを配置しています。

c れきしるこまき講座

(単位：人)

期日	演目	講師	受講者数
8月3日	小牧山城の発掘品にふれてみよう！	小牧山課職員、 れきしるこまき職員	16
1月10日	超現代語訳 小牧山城	ブロードキャスト！！房野 史典	57

d れきしるこまきワークショップ

(単位：人)

期日	名称	受講者数
12月6日	戦国武将なりきり体験～ダンボール甲冑をつくろう！～	15

e イベント

(単位：人)

期日	名称	受講者数
4月26日	小牧山が面白い！大人のための自然観察会	19
7月19日	信長も聴いたクラシック音楽～リュートの音色にのせて～	30
10月11日～ 12月14日	ぐるぐるめぐる！小牧山スタンプラリー2025	916
11月16日	秋の小牧山 わくわく史跡探検【こども編】	13

⑥ 小牧市創垂館の管理運営

創垂館は、小牧山が愛知県立の小牧公園として公開されていた明治21年に、迎賓館機能をもって山頂西側の曲輪に建設された建物です。昭和24年に現在地に移築され、当時小牧山内にあった小牧中学校の作法室として利用され、昭和39年に西隣に青年の家が開館した以降は、その付属施設として利用されました。令和2～3年度にかけて保存修理工事を行い、令和4年4月1日に利用を再開しました。近代以降の小牧山の歴史を物語る歴史的建造物であり、広い式台など格

式を備え良材を用いた上質な座敷棟であるとして、令和 7 年 8 月 6 日に国登録有形文化財（建造物）に登録されました。

木造平屋建 延床面積 145.7 m²

- ・ 使用料 1 時間につき 720 円、見学のみの場合は無料
- ・ 令和 7 年度利用者数 4,744 人 見学者数 640 人

a 体験講座等

（単位：人）

期日	名称	受講者数
5 月 17 日	松屋式！おいしいコーヒーの淹れ方講座	13
9 月 21 日	創垂館アフタヌーンコンサート	29
1 月 18 日	はじめての練りきり体験	15
3 月 7 日	くらしに香りを添えて～お香のあるひととき～	9

（４） 推進体制

① 文化財団の設立と運営支援

平成 29 年 4 月、小牧市は市民や多種多様な文化団体・芸術家等と連携しながら、さらなる文化の振興を図ることを目指して、「一般財団法人 こまき市民文化財団」を設立しました。

市においては、計画の策定など事業の方向性を示す役割を担い、文化財団では、事業の推進、施設の管理などの機能分担を図り、対等なパートナーシップ体制を構築し、小牧の文化を育てていく両輪として連携協力しています。

② 共催事業

こまき市民文化財団の行う様々な文化事業等を共催事業として位置づけ、必要な支援を行い、ともに小牧市の文化振興の推進を図ります。

また、民間団体や有志が行う文化事業のうち、協力して実施することで小牧市の文化振興につながると認められる事業については、小牧市又は小牧市教育委員会の共催事業として実施しています。

(単位：人)

名称	期日	会場	入場者数 (参加者)	主催者
所蔵企画展 歳時記 風薫る夏	4月13日～ 7月7日	メナード美術館	6,875	メナード 美術館
なつやすみ所蔵企画展 額縁のむこうの FRANCE	7月13日～ 9月23日	メナード美術館	8,912	メナード 美術館
所蔵企画展 歳時記 秋の彩りから冬色へ	10月5日～ 12月22日	メナード美術館	7,310	メナード 美術館
第76回書き初め大会	1月17日 ・18日	篠岡小学校 小牧小学校	613	小牧市書 道連盟

③ 協働による推進体制の充実

市民、文化団体、芸術家・専門家、行政、文化施設、企業等、様々な主体が連携・協働し、文化振興の推進を図る体制を充実します。特に、市民が文化事業の企画段階から積極的に参加できるしくみを検討します。

④ 施設機能の充実

鑑賞・創作・継承の拠点となる市内の文化施設について、施設機能の充実を図ります。また、新たな公共施設を建設、改修する際に、鑑賞や創作などで利用できる機能の導入を検討します。

⑤ 情報の収集と発信

鑑賞や創作、市内で行われている文化事業や文化活動について情報収集し、様々な機会や手段を通じて情報提供を行います。また、市内外、世代、国籍などを考慮し、それぞれの関心やライフスタイルをふまえた情報発信に取り組みます。

6 図書館

図書館は、市民の主体的な学びやレクリエーションなど市民生活に役立つ様々な資料・情報を提供しています。

近年は、インターネット等情報通信技術の普及に伴い、高度な図書館サービスの提供が求められています。そのため、本市においても図書館のＩＣＴ化を進めるとともに電子書籍を導入するなど、利用者の利便性向上を図っています。



また、子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものであるため、今後も積極的に取組を進めていきます。

(1) 施設と資料構成

本市の図書館本館である「小牧市中央図書館」は、旧図書館本館の老朽化に加え、資料の保管スペースや本を読む席数の不足といった問題に対応するため、小牧駅前に建設し、令和３年３月２７日に開館しました。

「小牧市中央図書館」は、図書館サービスの基本である蔵書の充実やレファレンスサービスの向上などに努めることを第一としながら、居心地の良い図書館となるよう、多種多様な座席を数多く配置することとし、集中して読書や勉強等をするための静かなスペースとして、サイレントルームや研究個室も十分に設けました。また、利用者サービス向上のため図書の自動貸出・返却機の導入や Wi-Fi 環境の整備、タブレット端末や電子書籍の貸出なども行っています。

また、本市の図書館運営は、「小牧市中央図書館」に加え、ラピオ４階にある「小牧市えほん図書館」と公民館図書室である３ヶ所の「市民センター図書室」により市内全域でサービスの提供を行っています。

中央図書館ほか各施設の蔵書数（資料種別）

（単位：点）

	一般書	児童書	郷土資料	参考図書	逐次刊行物※	小計
中央図書館	205,458	53,693	29,516	10,938	7,738	307,343
施設配本	10	56,227				56,237
えほん図書館	2,466	45,405				47,871
東部図書室	49,892	25,430	1,191	1,468	381	78,362
北里図書室	22,291	8,499	919	267	118	32,094
味岡図書室	38,305	18,266	1,134	762	260	58,727

※逐次刊行物とは、年鑑、白書など定期的に刊行される資料

	C D	ビデオ	DVD	紙芝居	点訳本	小計	合計
中央図書館	8,105	115	4,873	1,266	1,005	15,364	322,707
施設配本				2,332		2,332	58,569
えほん図書館				2,518		2,518	50,389
東部図書室	1,320	0	1,223	462		3,005	81,367
北里図書室	687	0	783	502		1,972	34,066
味岡図書室	1,541	0	1,378	564		3,483	62,210

(2) 図書館サービスと利用状況

① 開館時間

各館（室）の休館日・開館時間等は、P 128、129 を参照してください。

② 図書・視聴覚資料の貸出

中央図書館の開館に合わせて、本市の図書館をより多くの方にご利用いただくため、利用者登録要件を全国に拡大しました。どなたでも、1 人 20 点まで（うち視聴覚資料は 10 点まで、参考図書・郷土資料は各 2 点まで）、2 週間借りることができます。

電子書籍については、市内在住・在勤・在学の方に限り、3 点まで借りることができます。

学校・幼稚園・保育園・児童クラブなどへの配本貸出については、一度に 200 冊まで、2 ヶ月以内で貸出を行っています。

また、本市の図書館資料であれば、どの施設でも貸出・返却が可能です。

そのほか、全国の公共図書館や各大学図書館の図書についても、相互貸借制度を活用し、お近くの図書館（室）の窓口で貸出を受けることができます。

年齢別登録者数

(単位：人)

	年齢 年度	0～6 (幼児)	7～12 (小学生)	13～15 (中学生)	16～18 (高校生等)	19～ (一般)	団体	計
中央図書館	R6 年度	322	1,213	1,185	2,126	20,799	311	25,956
	R7 年度	310	1,340	1,421	2,396	26,455	319	32,241
施設配本	R6 年度						152	152
	R7 年度						172	172
えほん図書館	R6 年度	269	336	91	54	2,895	17	3,662
	R7 年度	283	398	127	80	3,367	21	4,276
東部図書室	R6 年度	42	186	128	104	3,428	2	3,890
	R7 年度	39	184	147	141	3,877	4	4,392
北里図書室	R6 年度	16	91	47	30	823	1	1,008
	R7 年度	16	98	58	39	963	1	1,175
味岡図書室	R6 年度	36	201	142	105	3,062	2	3,548
	R7 年度	26	210	165	128	3,578	2	4,109
計	R6 年度	685	2,027	1,593	2,419	31,007	485	38,216
	R7 年度	674	2,230	1,918	2,784	38,240	519	46,365

※年度末（令和 8 年 3 月 31 日時点）に有効期限内の利用者を登録者という。

年齢別館外貸出点数

(単位：点)

	年齢 年度	0～6 (幼児)	7～12 (小学生)	13～15 (中学生)	16～18 (高校生等)	19～ (一般)	団体	計
中央図書館	R6 年度	16,654	38,461	7,939	4,378	379,643	2,569	449,644
	R7 年度	11,789	38,851	8,918	3,286	362,344	3,109	428,297
施設配本	R6 年度						61,556	61,556
	R7 年度						61,720	61,720
えほん図書館	R6 年度	21,434	7,183	99	206	88,891	1,535	119,348
	R7 年度	17,717	12,327	149	115	89,006	3,211	122,525
東部図書室	R6 年度	5,084	5,835	1,791	553	153,778	84	167,125
	R7 年度	4,282	5,047	1,584	448	145,192	109	156,662
北里図書室	R6 年度	3,223	2,265	82	68	43,438	25	49,101
	R7 年度	1,369	4,031	222	195	39,282	114	45,213
味岡図書室	R6 年度	4,918	7,808	1,534	867	121,708	224	137,059
	R7 年度	3,791	7,578	2,207	947	120,101	246	134,870
広域	R6 年度	11,761	18,258	3,168	1,201	183,650		218,038
	R7 年度	10,784	16,886	2,152	1,258	177,418		208,498
電子図書館	R6 年度	16	68	60	108	3,997		4,249
	R7 年度	31	88	29	67	4,240		4,455
計	R6 年度	63,090	79,878	14,673	7,381	975,105	65,993	1,206,120
	R7 年度	49,763	84,808	15,261	6,316	937,583	68,509	1,162,240

図書及び逐次刊行物＜受入・除籍冊数・蔵書数＞※視聴覚資料除く（単位：冊）

	資料種別	増冊	減冊	蔵書数
中央図書館	一般書	4,705	289	205,458
	児童書	1,732	171	53,693
	郷土資料	624	0	29,516
	参考図書	142	1	10,938
	逐次刊行物	558	1	7,738
	小計	7,761	462	307,343
施設配本	一般書	0	3	10
	児童書	1,119	518	56,227
	郷土資料			
	参考図書			
	逐次刊行物			
	小計	1,119	521	56,237
えほん図書館	一般書	93	27	2,466
	児童書	1,651	228	45,405
	郷土資料			
	参考図書			
	逐次刊行物			
	小計	1,744	255	47,871
東部図書室	一般書	3,144	440	49,892
	児童書	706	408	25,430
	郷土資料	170	0	1,191
	参考図書	60	0	1,468
	逐次刊行物	48	0	381
	小計	4,128	848	78,362
北里図書室	一般書	1,697	79	22,291
	児童書	405	58	8,499
	郷土資料	170	0	919
	参考図書	42	0	267
	逐次刊行物	17	0	118
	小計	2,331	137	32,094
味岡図書室	一般書	2,653	1,993	38,305
	児童書	548	685	18,266
	郷土資料	174	0	1,134
	参考図書	38	0	762
	逐次刊行物	30	0	260
	小計	3,443	2,678	58,727
計		20,526	4,901	580,634

③ 予約・リクエストサービス（市内在住・在勤・在学の方のみ）

利用者から求められた資料が貸出中の時や所蔵していない時など、その要望にお応えするためのサービスです。貸出中の時は返却を待ち、予約していただいた順番に貸し出します。所蔵していない資料は他の図書館から借りたり、書店から購入したりして、ご要望に応えるよう努めています。

令和 7 年度実績 予約件数 181,810 件 リクエスト件数 2,533 件

④ レファレンスサービス

図書館の資料などを使って、利用者の方の調べものや研究のお手伝いをしています。中央図書館に導入しているデータベースも調べものに役立ちます。

⑤ コピーサービス（えほん図書館を除く）

図書館所蔵資料に限り、1 枚 10 円（モノクロ）で可能です。中央図書館のみカラーコピーも 1 枚 50 円にて可能です。ただし、著作権法上の制限があります。

⑥ 児童サービス

子どもたちが図書館と本に親しむきっかけになるように、中央図書館の児童図書エリアにある「おはなしのへや」、東部市民センター図書室の児童コーナー、えほん図書館にあるおはなしの部屋「みるみる」において、絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアターなどを行っています。

⑦ 読書バリアフリーサービス

障がい等のある方に読書を楽しんでいただけるよう、録音図書（デージー）や点字図書、デジタル録音図書読書機の貸出を行っているほか、身体の不自由な方には資料の郵送貸出を行っています。また、ボランティアの方のみなさんの協力を得て、活字での読書が難しい方に向けて図書を点訳・音訳するサービスや中央図書館の対面読書室にて図書の代読サービスを行っています。

⑧ 図書館講座・イベントの開催

お菓子研究家によるトークイベントとスイーツラッピングのワークショップ、小牧について学べる「ふるさとカルタ」を作成しそれを使った大判カルタ大会、広い図書館内を巡りゴールを目指す体験型謎解きイベント、読み聞かせボランティアのスキルアップとコンテンツ充実を図るステップアップ講座など、多様な講座やイベントを開催しています。

そのほか、市の各部署や市民活動団体等が主催するイベントも積極的に受け入れ、にぎわい創出に努めています。

令和 7 年度の主な事業

(単位：回、人) 開催日順

講座・催し名	講師・協力団体 (敬称略)	回数	参加 人数
外部講師に依頼したもの			
メナード美術館・小牧市中央図書館連携講座「本のえ 絵のもじ」	メナード美術館	1	61
こども講座「新聞切り抜き作品教室」	中日新聞 NIE コーディネーター	1	16
ボランティアステップアップ講座～紙芝居講座～	橋口 英二郎	1	41
お金と未来のワークショップ『夢の設計図をつくろう！』	株式会社デュナミス 藤木 誠也	1	17
お菓子研究家・星谷菜々先生トークイベント&スイーツラッピングワークショップ「夢をレシビに」	星谷 菜々	1	22
ボランティアステップアップ講座～こどもたちにおはなしを届ける～	古川 よし子	1	42
図書館講座「私にぴったりの香りでつくるロールオンアロマ」	高橋 悠夏	1	20
絵本作家・高畠純さん講演会「やっぱり絵本はおもしろい！」	高畠 純	1	89
職員によるもの			
ぬいぐるみとおはなし会	職員	1	23
図書館講座 えほんシリーズ読書会「ぐりとぐら」	職員	1	12
視覚？錯覚？ふしぎなおはなし会	職員	1	24
司書派遣 本庄小学校区生涯学習振興会	職員	1	25
図書館講座「たなばた読書会 村上春樹『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』」	職員	1	11
こどもよりみちシネマ	職員	3	98
ムーミン好き集まれ♪「読んで楽しむムーミンの世界」	職員	1	8
夏休み！小学生 1 日こども司書体験！	職員	3	24
ぬいぐるみとおとまり会（おとまりおはなし会）	職員	1	20
ぬいぐるみとおとまり会（おむかえおはなし会）	職員	1	10
おとなの工作教室～想いを綴じる和装本の世界～	職員	1	9
つくってあそぼう！紙皿シアター	職員	1	31
市制 70 周年記念「こまきふるさとカルタ」であそぼう！カルタ展示 & 大判カルタ大会	職員	1	49
読書週間特別講座 「珈琲の読み方講座～朗読とバリスタのお話で楽しむ珈琲文学～西欧編」	職員	1	29
児童アウトリーチ企画「えぶろんのひとにきいてみる」	職員	4	34
市制 70 周年記念小牧ふるさと人形劇「てんぐの門」	職員	1	31
おしごとおはなし会 & プチ工作	職員	1	18
図書館講座 えほんシリーズ読書会 かこさとし『だるまちゃん』	職員	1	6
司書派遣 ステップアップ講座「心を育む本の選び方」	職員	1	15
図書館員による「クリスマスおはなし会」	職員	1	15
福をよぶ！工作とお正月おはなし会	職員	1	19
お試し！だれでも対面読書サービス	職員	1	5
司書派遣 療育室リミィ読み聞かせ	職員	1	13
司書派遣 小牧特別支援学校高等部	職員	1	14
つつんでたのしい！おはなし会 & プチ工作	職員	1	16
本のフィルムコーティング体験講座	職員	1	25
オンライン百科辞典「Sagasokka！」でクイズに挑戦！	職員	1	13
きっと見つかる読書のカタチ「読書バリアフリーサービス読む人つくる人」	職員	1	148
出前講座	職員	6	118
おはなし会	職員	26	413
ボランティアによるもの			
おはなし会・イベント	おはなしこいこい！	84	1,263
おはなし会・イベント	おはなしのこばこ	33	341
おはなし会・イベント	おはなしの森	80	1,234
おはなし会・イベント	おはなしポケット	8	556
おはなし会・イベント	おひさまスマイル	12	172
おはなし会・イベント	ちちんぷいぷい	22	107

おはなし会・イベント	どんぐりひろば	10	162
おはなし会・イベント	はしばみ	7	87
おはなし会・イベント	はじまりはじまり	25	489
おはなし会・イベント	もこもこ	48	756
おはなし会・イベント	わらべうたの会	12	125
事業を委託したもの			
かんたんプログラミング講座「ロボット“こくり”を動かしてみよう！」	図書館流通センター	1	27
みて・ふれて・楽しく学ぶ！～図書館バリアフリーデイズ～	こまき市民活動ネットワーク	2	151
図書館謎解きイベント「図書館に隠された暗号を探せ！！」	こまき市民活動ネットワーク	2	192
その他			
図書館協力団体作品・活動展示会	図書館協力団体	1	

※上記のほか、市や外部団体が主催するイベントを多数開催しました。

⑨ 図書コーナーの設置

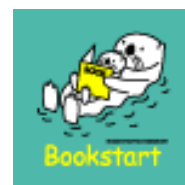
小牧市の地域ブランド・行政計画コーナーを設け、市の事業や施策に関する資料を展示したり、市民の読書啓発のために、季節の絵本やテーマによる図書を展示するなど、多様な視点で図書館資料を活用しています。

(3) 子ども読書活動推進事業

① ブックスタート事業

赤ちゃんの心とことばを育むため、保健センターで4ヶ月児健診を受診する親子を対象に、絵本の読み聞かせと絵本を手渡しでプレゼントする事業を行っています。

令和7年度実績 39回実施 851人配付



② 施設配本サービス

市内の保育園、幼稚園、児童クラブ、小中学校、福祉施設などを対象として、ご希望の本をお届けするサービスを行っています。1回の配本につき2ヶ月間、200冊まで利用が可能です。

令和7年度実績 登録172団体 貸出点数61,720点

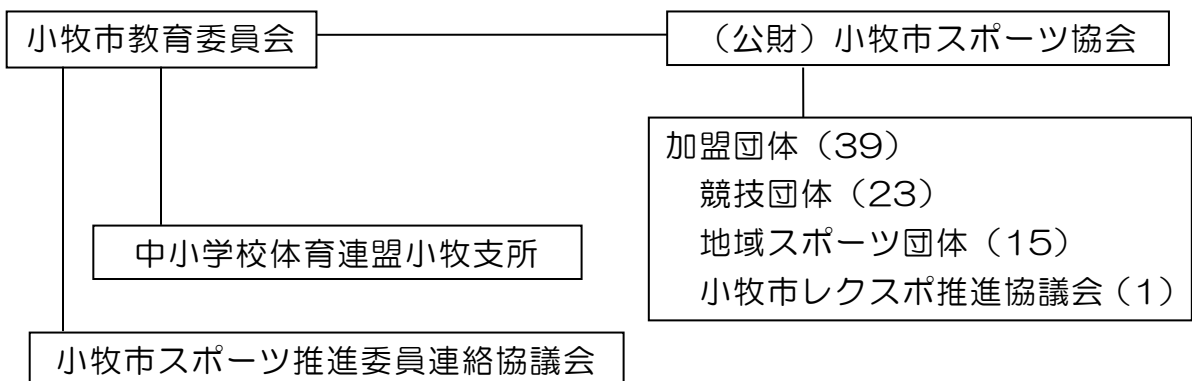
7 社会体育

健康で生きがいのある明るいまちづくりを推進するため、昭和54年から市民総スポーツを目指して、全小学校区においてスポーツ振興会（現在の地域スポーツ団体）を設立し、地域コミュニティスポーツの普及に努めてきました。現在、地域スポーツ団体を更に活性化させるため、様々な助成を行っています。また、少子化傾向や指導者の高齢化による指導者不足を補うため、小学校では、学校と地域が連携して実施するジュニアクラブを継続し、地域社会が一体となったジュニアスポーツ指導の充実を図り、中学校では、従来のジュニアクラブから地域と連携した地域連携型部活動へ移行し、地域に支えられた学校部活動の推進を図っています。

一方、高齢化社会の進展に伴い、シルバースポーツ協会による高齢者のスポーツを通じた健康増進と仲間づくりを実践していきます。

『だれでも』『いつでも』『どこでも』生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境づくりを目標に、体育施設の整備や学校体育施設の開放などスポーツ環境整備に努めています。

小 牧 市 の ス ポ ー ツ 行 政



(1) スポーツ教室の開催

スポーツを通じて仲間づくりや健康保持・増進並びに体力の向上を図ることを目的に実施しています。

① 市民スポーツ教室

a 文化・スポーツ課事業

(単位：回、人・組)

種目	開催月	回数	会場	参加
親子ふれあい体操教室	5月～7月	8	パークアリーナ小牧	18
	9月～11月	8		18
	1月～3月	8		29
ノルディックウォーク講習会	5月	1	小牧山、市役所	15
	11月	1	市民四季の森	11

※アクアビクス教室、水泳教室は温水プール休館のため中止

b (公財) 小牧市スポーツ協会事業

(単位：回、人・組)

種目	対象	開催日	回数	会場	参加数
卓球教室	一般	5月28日～	7	パークアリーナ小牧	40
		10月1日～	7		40
バドミントン教室	一般	6月9日～	7		29
		9月22日～	7		30
テニス教室	一般	6月10日～	7		30
		9月30日～	7		29
あそび運動教室	年中・年長園児と保護者	6月8日	1		40
かけっこ教室	小学生	9月15日～	3		20
ジュニア体操教室 ～寺本明日香先生と 体操しよう!～	小学3・4年生	9月20日	1		45
	小学1・2年生	11月29日	1		51
	年中・年長園児と保護者	1月31日	1		82
初心者水泳教室	小学2～6年生	7月19日～	5	小牧小学校プール	50
ミニテニス	一般	9月13日～	5	パークアリーナ小牧	15
ミニトランポリン	一般	6月9日～	5		12
		9月24日～	5		12

② 地域スポーツ教室

地域スポーツ団体（各小学校区スポーツ振興会）を中心に、地域住民を対象として気軽に参加できるスポーツ教室を開催しています。（単位：回、人）

団体名	種目	開催月	回数	会場	延べ人数
小牧小学校区スポーツ振興会	バドミントン	10月～11月	5	小牧小学校 体育館	57
小牧南スポーツクラブ	ピックルボール	6月～11月	5	小牧南小学校 体育館	90
三ツ淵小学校区スポーツ振興会	モルック、インディアカ、ペタンク、テニピン、バドミントン、ビーチボール	5月～6月	6	三ツ淵小学校 体育館 外	135
味岡スポーツクラブ	ショートテニス、バドミントン	2月	8	味岡小学校 体育館	121
北里小学校区スポーツ振興会	モルック、卓球、ショートテニス、ピックルボール	12月～2月	5	北里小学校 体育館 外	68
米野スポーツ文化クラブ	ボッチャ、モルック、ソフトバレー、卓球、インディアカ、ラダーゲッター、タスポニー、テニピン	6月～9月	5	米野小学校 体育館	74
一色小学校区スポーツ振興会	ショートテニス、ソフトバレー、バドミントン、卓球、剣道	11月～12月	5	一色小学校 体育館	159
小牧原小学校区スポーツ振興会	ピックルボール、バドミントン、ショートテニス、モルック	1月～3月	5	小牧原小学校 体育館 外	86
本庄小学校区スポーツ振興会	ラダーゲッター、モルック	6月～10月	5	本庄小学校 体育館 外	148
桃ヶ丘小学校区スポーツ振興会	バスケットボール、ドッジボール、グラウンドゴルフ	7月～11月	5	桃ヶ丘小学校 体育館 外	144
光ヶ丘小学校区スポーツ振興会	ティーボール、ショートテニス、卓球、モルック	9月～10月	5	光ヶ丘小学校 体育館 外	167
計					1,249

③ いきいきシルバースポーツ学級

高齢者を対象に、スポーツに関する知識の習得とより多くのスポーツに親しんでいただく機会を提供することで、体力維持と健康増進を図っています。

受講者40人

回	内容	開催月	講師名
1	開講式 体組成計で自分のからだを知ろう	5月	文化・スポーツ課職員 保健センター職員
2	シルバー世代のためのストレッチ	6月	小原 徳子
3	ディスコン	7月	小牧市スポーツ推進委員
4	ソフトタスポニー①	8月	日本タスポニー協会 山口 榮三
5	ソフトタスポニー②	8月	日本タスポニー協会 山口 榮三
6	ミニテニス①	9月	小牧市ミニテニス協会
7	ミニテニス②	10月	小牧市ミニテニス協会
8	スカイクロス	10月	びわくしまレクリエーションスポーツスタディ 江口 正巳
9	ニチレクボール	11月	びわくしまレクリエーションスポーツスタディ 江口 正巳
10	シルバーレクリエーション大会	11月	小牧市シルバースポーツ協会
11	背骨コンディショニング	12月	加藤 栄梨
12	健康体操	1月	小牧市体操連盟
13	カローリング①	2月	加藤 極、宮地 久美枝
14	カローリング②	2月	加藤 極、宮地 久美枝
15	シルバー世代のための筋力トレーニング	3月	鑄山 和泉

(2) 研修会、講習会の開催

スポーツの楽しさと指導員の資質向上を図るため研修会等を開催しています。

① 公認スポーツ指導員養成講座

公認スポーツ指導員、スポーツ推進委員をはじめ、すでに職域・地域などで活躍中のスポーツ指導者・スポーツリーダーの資質向上を図るため、講座を開催しています。

受講者（2/8）32人、（2/15）27人

回	内容	開催日	講師名
1	スポーツ指導者に求められること	2月8日	中部大学 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 准教授 飯尾 洋子
2	スポーツにおけるケガの正しい応急処置		
3	トレーニング論	2月15日	健康運動指導士 鏑山 和泉
4	ストレッチとクールダウン		

② 新体カテスト

一人でも多くの市民の方に体力年齢や体の弱点を知ってもらい、健康やスポーツへの関心を高めるため開催しました。

（単位：人）

期日	会場	運営	参加数
6月14日	パークアリーナ小牧	スポーツ推進委員	41

③ 指導者の養成（（公財）小牧市スポーツ協会事業）

健康・体力づくりに関する事業としてラジオ体操指導者講習会を開催し、またジュニア層の要請に対応できるよう、スポーツ活動を実践している指導者の資質向上と活動の促進を図るため、各種講習会を開催しました。

（単位：人）

種目	開催月	会場	参加数
ラジオ体操指導者講習会	6月	パークアリーナ小牧サブアリーナ	40
ハラスメント防止講習会	8月	パークアリーナ小牧会議室 A	22
普通救命講習	9月	パークアリーナ小牧会議室 A	17

（３） 各種スポーツ大会の開催

市民を対象に技術の向上と日ごろの練習の成果を試す場として、各種スポーツ大会を開催しています。

（単位：人）

大会名	開催日	参加数
◎レクスポ小牧 2025	4月13日・20日	407
◎市民トレッキング（春季）	5月11日	39
◎市民トレッキング（秋季）	10月12日	39
○第64回市民スポーツ大会	4月19日～	4,856
○第44回市民駅伝競走大会	12月14日	560
○SVリーグ等誘致事業	6月7日～	5,311
◎第21回小牧市招待ジュニアサッカー大会	12月6・7日	452
◎第18回小牧山城杯中部少年剣道大会	11月23日	847
○第18回愛知県市町村対抗駅伝競走大会	12月6日	20
○第36回小牧シティマラソン大会	1月25日	4,046

◎（公財）小牧市スポーツ協会事業 ○（公財）小牧市スポーツ協会への委託事業

（４） 各種体育大会への選手派遣

県内スポーツ大会に市の代表選手を派遣し、本市の名声を高めるとともに、競技力の向上を図っています。

（単位：種目、人）

大会名	開催日	会場	種目	参加数
第75回愛知県青年体育大会	8月31日	北スポーツセンター	1	3

（５） ジュニア育成活動の実施

小・中学生を対象に幅広くスポーツに親しむ環境を提供し、ジュニア層の育成を図っています。

（公財）小牧市スポーツ協会事業

①通年開催教室

（単位：人）

種目	会場	対象	実施日	参加数
陸上	南スポーツセンターグランド他	小・中学生	土曜日	82
	パークアリーナ小牧外周他	小学4～中学生	第2・4土曜日	11
柔道	南スポーツセンター武道館	小・中学生	月・水・金曜日	37
	味岡中学校武道館		月・金曜日	17

剣道	一色小学校体育館		小・中学生	火・土曜日	7	
	味岡中学校体育館・武道館			火・木曜日	7	
	桃陵中学校体育館			火・金曜日	9	
	南スポーツセンター武道館		小・中学生 (経験者)	第2・4土曜日	8	
サッカー	岩崎中学校グラウンド		小学3～6年生	第2・4土曜日	21	
	陶運動場他				29	
	味岡中学校グラウンド		中学生		37	
バスケットボール	味岡中学校体育館		小学3～6年生	第2・4土曜日	34	
	応時中学校体育館		小学3～中学生		40	
バドミントン	小牧中学校体育館		小・中学生	第2・4土曜日	109	
	大輪体育館		小学4～中学生	月曜日	23	
水泳	オークマ温水プール他		小学3～中学生	土曜日	5	
空手道	南スポーツセンター武道館		小・中学生	火・金曜日	29	
	一色小学校体育館			月・水曜日	8	
バレーボール	岩崎中学校体育館		中学生男子	第2・4土曜日	54	
	味岡中学校体育館		中学生女子		36	
	小牧西中学校体育館				34	
	小牧西中学校体育館		小学3～6年生		73	
	大輪体育館		小学生	第2・4水曜日	21	
卓球	パークアリーナ小牧他		小学4～中学生	第2・4土曜日	42	
新体操女子	パークアリーナ小牧他		小学4～中学生	第2・4土曜日	40	
テニス	岩崎中学校テニスコート		小学4～中学生	第2・4土曜日	20	
軟式野球	南スポーツセンターグラウンド他		小学4～中学生	第2・4土曜日	24	
合気道	南スポーツセンター武道館		小・中学生	土・日曜日	40	
	光ヶ丘中学校武道館			月・金曜日	11	
	岩崎中学校武道館			水曜日	5	
ViVa！	あそ ViVa！	まなび創造館	小学2年生	第1・3・5土曜日	30	
スポーツクラス	まな ViVa！		小学3・4年生	第2・4土曜日	30	
計						973

②スポーツクリニック

(単位：人)

事業名	会場	対象	実施日	参加数
ウルフドッグス名古屋 ジュニアバレーボール クリニック	小牧西中学校	ジュニア育成に参加する小学生	9月27日	63
	岩崎中学校	ジュニア育成に参加する中学男子	8月23日	61
		ジュニア育成に参加する中学女子	9月27日	70

クインシーズ刈谷 ジュニアバレーボール クリニック	小牧西中学校	ジュニア育成に参 加する小学生	8月9日	47
	光ヶ丘中学校	ジュニア育成に参 加する中学男子	9月13日	53
		ジュニア育成に参 加する中学女子		46
東海理化チェリーブロ ッサムズ ジュニアソフトボール クリニック	総合運動場野球場	学校部活動に参加 する中学女子	11月23日	68
	岩崎中学校		12月20日	雨天中止
	応時中学校			
	味岡中学校			
	桃陵中学校			
	北里中学校			
計				408

(6) ジュニアクラブ化事業

学校と地域の指導者が協力して指導できるようクラブ化を推進しています。

(公財) 小牧市スポーツ協会助成事業

令和8年3月末現在

学校名	クラブ数	種目
小 牧 小 学 校	2	・バスケットボール混合 ・サッカー混合
小 牧 南 小 学 校	2	・バスケットボール混合 ・サッカー混合
三 ツ 渚 小 学 校	1	・サッカー混合
篠 岡 小 学 校	1	・サッカー混合
米 野 小 学 校	1	・サッカー混合
一 色 小 学 校	2	・バスケットボール混合 ・サッカー混合
北 里 小 学 校	1	・サッカー混合（小木小と連携）
小 牧 原 小 学 校	2	・バスケットボール混合 ・サッカー男子
陶 小 学 校	1	・バスケットボール女子
桃 ヶ 丘 小 学 校	1	・サッカー混合
光 ヶ 丘 小 学 校	1	・バスケットボール混合
計	15	

(7) 学校体育施設の開放

市民総スポーツ化を目指した地域スポーツ団体、競技団体およびジュニア育成事業の活動の場として市内公立学校の体育施設を広く市民に開放しています。主に小学校は、各地域スポーツ団体の活動の拠点として、中学校は、競技団体やジュニア育成事業に利用されています。(単位：施設、人)

施設名	開放施設数	利用人数	備考
体育館	25	143,080	16小学校、9中学校
柔剣道場	8	11,473	8中学校
運動場	17	39,315	16小学校、1中学校
計	50	193,868	

(8) 社会体育事業の幅広い推進

① 小牧市スポーツ推進委員連絡協議会の活動

小牧市におけるスポーツ推進のため、事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行う等の活動をしています。実施事業として、16小学校区スポーツ交流大会や、わいわいキッズNewスポーツフェスタなどを行っています。

また、駅伝競走大会等の市主催事業やViValスポーツクラス等の小牧市スポーツ協会主催事業にも協力しています。

② 高齢者スポーツ活動の推進事業

a 第41回小牧市シルバースポーツ大会

小牧市シルバースポーツ協会に加盟している団体並びに老人クラブの会員を中心に高齢者のためのレクリエーションスポーツ大会を開催し、運動不足になりがちな高齢者の健康づくりを進めています。(単位：人)

種目	開催月	会場	参加数
レクリエーション	11月	パークアリーナ小牧	133
グラウンドゴルフ	10月	南スポーツセンターグラウンド	207
ディスクゴルフ	10月	市民四季の森ディスクゴルフ場	26
計			366

b 小牧市ウォーキングアプリalkoシルバー歩け歩けチャレンジ

市が独自に開発したスマートフォン専用のウォーキングアプリalko内でシルバー専用のチャレンジ期間を設け、期間内に健康を意識してウォーキングを行うことで、高齢者の健康保持と生きがいを高め、体力増進を図ることにより、明るく豊かな生活の実現に寄与しました。(達成者数：1,385人)

③ 全国大会等出場者激励費交付事業

アマチュアスポーツ競技の全国大会等に選手として出場する個人、団体に激励費を支給し、激励することにより本市の名声と競技力の向上を図っています。

令和7年度は個人56人、団体52チームに激励費を支給しました。

④ 小中学校運動・文化部活動への指導者派遣事業

指導者不足により運動・文化部活動の運営が困難な状態になっている小中学校に対して、専門的な技術指導力を備えた民間指導者を派遣し、技術の向上と部活動の活性化を図っています。

(単位：人)

学校名	派遣種目	派遣者数
小 牧 中 学 校	バドミントン(5人)、剣道(2人)、サッカー(3人)、 野球、卓球(3人)、バレーボール(2人)、バスケット ボール、ソフトテニス	18
味 岡 中 学 校	剣道(2人)、卓球(3人)、ソフトテニス(3人)、 バスケットボール、バレーボール(2人)、吹奏楽(4 人)、囲碁将棋、美術	17
篠 岡 中 学 校	ソフトテニス(2人)、バレーボール、トータルスポ ーツ(7人)、吹奏楽	11
北里中学校	野球、卓球、バレーボール、ソフトテニス、ソフトボ ール、吹奏楽	6
応 時 中 学 校	サッカー(3人)、バドミントン、卓球(3人)、バス ケットボール、ソフトボール(3人)、バレーボール(2 人)、野球、吹奏楽	15
岩 崎 中 学 校	剣道(2人)、卓球(2人)、バレーボール(5人)、 ソフトテニス、ソフトボール、野球部	12
桃 陵 中 学 校	ソフトボール(6人)、バスケットボール(2人)、卓 球、バレーボール、吹奏楽(2人)	12
小 牧 西 中 学 校	卓球(2人)、バレーボール(16人)、バスケットボ ール(2人)、ソフトテニス(2人)、吹奏楽	23
光 ヶ 丘 中 学 校	バレーボール、野球(2人)、テニス	4
米 野 小 学 校	サッカー	1

(9) 社会体育団体への助成事業

体育、スポーツの振興と自主活動の促進を図るため、各種団体へ助成しています。

① (公財)小牧市スポーツ協会への助成

小牧市におけるスポーツ団体を総括し、スポーツの普及・振興を図るため運営費の一部を補助しています。

② 小牧市シルバースポーツ協会への助成

シルバースポーツの普及と振興を図り、高齢者の体力づくりと健康増進を推進するため運営費の一部を補助しています。

(10) 指定管理者制度

地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号、平成15年6月公布、9月施行)により、管理委託制度に代わり、新たに民間企業やNPOなども公の施設の管理を行うことが可能となりました。この制度により、コスト削減のみならず、施設の利用者満足度・利用率の向上、安全の確保を図るため、利用者にとって最適の指定管理者を選び、施設の運営を委託しています。

施設	指定管理者
南スポーツセンター	(公財)小牧市スポーツ協会
さかき運動場	
大輪体育館	
総合運動場	
総合体育館	
野口運動場	
村中運動場	

(11) 体育施設整備事業

良好で安全な状態で体育施設を利用できるよう、各施設の整備を行いました。

① 総合体育館施設整備事業

トイレ改修(バリアフリー化)工事を実施しました。

音響設備改修工事を実施しました。

スポーツ公園園路改修工事を実施しました。

管理棟空調設備更新工事を実施しました。

② 総合運動場施設整備事業

野球場クッションラバー（1塁側）修繕を実施しました。（3塁側は令和8年度実施予定）

野球場事務所空調工事を実施しました。

③ 南スポーツセンター施設整備事業

プール濾過機等ポンプ修繕を実施しました。

南スポーツセンタートイレ改修工事を実施しました。

Ⅳ 資料（令和8年度）

Ⅳ 資料

1 歴代教育長・教育委員・教育委員長

(1) 教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
増 田 陸 郎	昭和30年1月1日	昭和32年9月30日
加 藤 由 松	昭和33年1月13日	昭和33年4月12日
沖 本 嘉左衛門	昭和33年5月9日	昭和35年9月30日
沖 本 嘉左衛門	昭和35年10月7日	昭和36年12月15日
稲 山 国 幸	昭和36年12月19日	昭和40年12月18日
蛭 原 侃 爾	昭和40年12月27日	昭和44年12月18日
栗 木 博 夫	昭和44年12月19日	昭和48年12月18日
栗 木 一 男	昭和48年12月25日	昭和56年12月24日
山 本 種 雄	昭和56年12月25日	昭和60年3月31日
大 野 輝 郎	昭和60年4月2日	平成5年3月31日
能 登 邦 彦	平成5年4月1日	平成7年3月31日
山 本 道 雄	平成7年4月25日	平成13年3月31日
副 島 孝	平成13年4月2日	平成21年12月24日
江 口 光 広	平成21年12月25日	平成25年3月31日
安 藤 和 憲	平成25年4月2日	平成30年3月31日
中 川 宣 芳	平成30年4月1日	現 在

※平成27年4月1日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に基づき、平成27年4月1日より教育委員長を廃止し、常勤特別職の教育長を設置した。

(2) 教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
加 藤 由 松	昭和30年1月1日	昭和30年9月12日
沖 本 嘉左衛門	昭和30年1月1日	昭和30年9月12日
亀 谷 正 紀	昭和30年1月1日	昭和30年9月12日
落 合 栄 吉	昭和30年1月1日	昭和30年9月12日
小 沢 鎌三郎	昭和30年1月1日	昭和30年9月12日
加 藤 由 松	昭和30年10月10日	昭和33年4月12日
沖 本 嘉左衛門	昭和30年10月10日	昭和36年12月15日
落 合 栄 吉	昭和30年10月10日	昭和35年9月30日
亀 谷 正 紀	昭和30年10月10日	昭和34年9月30日
稲 山 国 幸	昭和30年10月17日	昭和31年9月30日
増 田 陸 郎	昭和31年10月1日	昭和32年9月30日
丹 羽 鈞	昭和32年12月18日	昭和36年12月17日
牧 野 省 三	昭和33年10月1日	昭和41年9月30日
水 野 之 治	昭和34年10月12日	昭和38年10月11日
佐 橋 練太郎	昭和35年10月1日	昭和43年9月30日
稲 山 国 幸	昭和36年12月19日	昭和40年12月18日
山 中 浅 男	昭和36年12月19日	昭和39年9月30日
古 沢 光 賢	昭和38年10月12日	昭和42年10月11日
伊 藤 尙	昭和39年10月1日	昭和43年9月30日
蛭 原 侃 爾	昭和40年12月19日	昭和44年12月18日
橋 本 晃 全	昭和41年10月1日	昭和45年9月30日
古 沢 光 賢	昭和42年10月21日	昭和46年10月20日
石 田 泰 一	昭和43年10月1日	昭和51年9月30日
神 戸 基	昭和43年10月1日	昭和51年9月30日
栗 木 博 夫	昭和44年12月19日	昭和48年12月18日
野 村 重 三	昭和45年10月1日	昭和57年9月30日
山 内 栄 三	昭和46年10月21日	昭和54年10月20日
栗 木 一 男	昭和48年12月25日	昭和56年12月24日
鵜 飼 留 男	昭和51年10月1日	昭和55年9月30日
大 橋 伸 旭	昭和51年10月1日	昭和55年9月30日
田 島 雅 洋	昭和54年10月21日	昭和58年10月20日
長 田 為 雄	昭和55年10月1日	昭和59年9月30日
白 石 博 之	昭和55年10月1日	昭和59年9月30日

山 本 種 雄	昭和56年12月25日	昭和60年3月31日
丹 羽 亮 道	昭和57年10月1日	昭和61年9月30日
服 部 智 教	昭和58年10月21日	平成3年10月20日
鈴 木 昭 真	昭和59年10月1日	昭和63年9月30日
芳 川 正 子	昭和59年10月1日	平成4年9月30日
大 野 輝 郎	昭和60年4月2日	平成5年3月31日
大 島 茂	昭和61年10月1日	平成6年9月30日
浅 井 正 二	昭和63年10月1日	平成8年9月30日
船 橋 秀 鳳	平成3年10月21日	平成11年10月20日
千 田 八 朗	平成4年10月1日	平成12年9月30日
能 登 邦 彦	平成5年4月1日	平成7年3月31日
山 田 敬 子	平成6年10月1日	平成10年9月30日
山 本 道 雄	平成7年4月11日	平成13年3月31日
小 森 黎	平成8年10月1日	平成11年6月30日
速 水 敏 彦	平成10年10月1日	平成13年3月31日
伊 藤 二 三	平成11年7月1日	平成15年5月31日
朝 倉 義 文	平成11年10月21日	平成15年10月20日
山 下 豊 子	平成12年10月1日	平成20年9月30日
坂 田 新	平成13年4月1日	平成18年9月30日
副 島 孝	平成13年4月2日	平成21年12月24日
松 浦 秀 則	平成15年6月3日	平成24年9月30日
横 井 志 保	平成15年10月21日	平成23年10月20日
埋 田 良 博	平成18年10月1日	平成26年9月30日
代 田 玲 子	平成20年10月1日	平成28年9月30日
江 口 光 広	平成21年12月25日	平成25年3月31日
斎 藤 由 美	平成23年10月21日	令和元年10月20日
伊 藤 敬 一	平成24年10月1日	令和2年9月30日
安 藤 和 憲	平成25年4月2日	平成27年3月31日
山 田 周 司	平成26年10月1日	令和4年9月30日
伊 藤 和 子	平成28年10月1日	令和6年9月30日
加 藤 由 美	令和元年10月21日	現 在
河 内 光	令和2年10月1日	令和4年6月30日
野 中 亮 秀	令和4年7月1日	現 在
古 田 重 紀	令和4年10月1日	現 在
額 額 由 美	令和6年10月1日	現 在

※平成27年4月1日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に基づき、平成27年4月1日より常勤特別職の教育長を設置した。

(3) 教育委員長

氏名	就任年月日	退任年月日
加 藤 由 松	昭和30年1月13日	昭和30年9月12日
稲 山 国 幸	昭和30年10月21日	昭和31年9月30日
加 藤 由 松	昭和31年10月1日	昭和33年4月12日
沖 本 嘉左衛門	昭和33年4月18日	昭和36年12月15日
牧 野 省 三	昭和36年12月22日	昭和41年9月30日
佐 橋 練太郎	昭和41年10月1日	昭和43年9月30日
古 沢 光 賢	昭和43年10月1日	昭和46年9月30日
石 田 泰 一	昭和46年10月1日	昭和50年9月30日
神 戸 基	昭和50年10月1日	昭和51年9月30日
野 村 重 三	昭和51年10月1日	昭和56年9月30日
田 島 雅 洋	昭和56年10月1日	昭和58年9月30日
白 石 博 之	昭和58年10月1日	昭和59年9月30日
丹 羽 亮 道	昭和59年10月1日	昭和61年9月30日
服 部 智 教	昭和61年10月1日	平成元年10月20日
大 島 茂	平成元年10月21日	平成3年10月20日
芳 川 正 子	平成3年10月21日	平成4年9月30日
浅 井 正 二	平成4年10月3日	平成6年10月2日
船 橋 秀 鳳	平成6年10月3日	平成8年10月2日
千 田 八 朗	平成8年10月3日	平成12年9月30日
伊 藤 二 三	平成12年10月3日	平成13年10月2日
朝 倉 義 文	平成13年10月3日	平成15年10月2日
山 下 豊 子	平成15年10月3日	平成19年9月30日
埴 田 良 博	平成19年10月1日	平成26年9月30日
代 田 玲 子	平成26年10月1日	平成27年3月31日

※平成27年4月1日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に基づき、平成27年4月1日より教育委員長を廃止した。

２ 附属機関委員

（１） 学校教育関係委員

・ 小牧市通学区審議会委員

教育委員会の諮問に応じ、小牧市立小・中学校の通学区域に関し、必要な調査及び審議を行う。

定数 20 人以内 任期 1 年

令和 8 年 4 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
舟 橋 秀 和	市議会議長	鬼 頭 友 規	小中学校 PTA 連絡協議会代表
谷 田 貝 将 典	市議会副議長	山 中 東	小牧市区長会代表
小 沢 国 大	市議会文教建設委員長	伊 藤 直 樹	小牧市区長会代表
余 語 智	市議会文教建設副委員長	志 村 寿 章	小牧市区長会代表
加 藤 和 昭	小中学校長会会長	坂 茂 樹	小牧市区長会代表
櫻 本 寛 之	小中学校長会副会長	鈴 木 弘 二	小牧市区長会代表
上 條 稔 貴	小中学校 PTA 連絡協議会代表	堀 尾 正 典	小牧市区長会代表
亀 谷 徳 久	小中学校 PTA 連絡協議会代表	伊 藤 敬 一	元教育委員
小 柳 禎 彦	小中学校 PTA 連絡協議会代表	大 森 健 司	元学校長
村 瀬 由 美	小中学校 PTA 連絡協議会代表		

・ 小牧市学校給食運営委員会委員

教育委員会の諮問に応じて、学校給食の運営に関する重要な事項について調査及び審議を行う。

定数 15 人以内 任期 1 年

令和 8 年 4 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
後 藤 美 千 子	市立の小・中学校の教員	山 森 久 美	小中学校 PTA 連絡協議会代表
鈴 木 和 弘	市立の小・中学校の教員	林 美 菜	小中学校 PTA 連絡協議会代表
小 竹 美 穂	市立の小・中学校の教員	伊 藤 純 代	小中学校 PTA 連絡協議会代表
尾 形 卓 也	市立の小・中学校の教員	中 村 満 衣 子	小中学校 PTA 連絡協議会代表
土 谷 香 織	市立の小・中学校の教員	川 出 潤 一 郎	愛知県春日井保健所 食品安全課長
塚 田 直 子	市立の小・中学校の教員		
早 川 史 洋	小中学校 PTA 連絡協議会代表	伊 藤 純 子	元学校長
横 山 敏 一	小中学校 PTA 連絡協議会代表	梶 田 光 俊	元学校長

・ 小牧市学校給食用物資選定委員会委員

経済的かつ良質な学校給食用物資を選定する。

定数 12 人以内 任期 1 年

令和 8 年 4 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
千 田 道 子	元学校長	細 江 麻 里	市立の小・中学校の教員
伊 藤 圭 太	小中学校 PTA 連絡協議会代表	佐 藤 真 澄	市立の小・中学校の教員
坂 本 文	小中学校 PTA 連絡協議会代表	松 岡 る な	市立の小・中学校の教員
後 藤 美 千 子	市立の小・中学校の教員	栗 木 春 香	市立の小・中学校の教員
鈴 木 和 弘	市立の小・中学校の教員	長 谷 川 隆 司	市職員
安 藤 美 空	市立の小・中学校の教員	勝 山 貴 之	市職員

・ 小牧市いじめ問題対策委員会委員

教育委員会の諮問に応じて、いじめ防止等のための対策、重大事態の対処及び重大事態と同種の事態の発生防止等の事項について調査及び審議を行う。

定数 10 人以内 任期 2 年

令和 8 年 4 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
柴 田 好 章	名古屋大学大学院教授	楠 本 和 彦	南山大学教授・臨床心理士
森 亮 太	弁護士	吉 川 徹	精神科医師
杉 本 一 正	愛知県春日井児童相談センター長	野 尻 紀 恵	日本福祉大学教授・社会福祉士

・ 小牧市学校保健結核対策委員会委員

児童生徒及び学校の職員について精密検査の必要性及び結核発生時の対策を検討する。

定数 12 人以内 任期 1 年

令和 8 年 4 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
澁 谷 い づ み	春日井保健所長	後 藤 美 千 子	市立の小・中学校の教員
森 雅 典	小牧市医師会代表	持 田 麻 友 美	市立の小・中学校の教員
辻 清 太	小牧市学校保健会代表	舟 橋 久 美 子	市立の小・中学校の教員
平 松 哲 夫	小牧市学校保健会代表	小 島 英 嗣	小牧市民病院の医師

(2) 社会教育関係委員

・ 社会教育委員

委員は、次の職務を行う。

- ①社会教育に関する諸計画を立案すること。
- ②教育委員会の諮問に応じ、意見を述べること。
- ③必要な研究調査を行うこと。
- ④教育委員会で社会教育に関し意見を述べること。
- ⑤特定の事項について、社会教育関係団体等に助言と指導をすること。

定数 12 人以内 任期 2 年

令和 8 年 4 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
鈴木 久代	校長会	吉 田 隆	こまき市民文化財団次長
後 藤 孝 文	名古屋学院大学非常勤講師・小牧市音楽連盟会長	奥 村 智 子	愛知文教大学非常勤講師・愛知文教女子短期大学教授
光 部 明 美	学校地域コーディネーター	立 川 雅 弥	こまき市民活動ネットワーク事務局長
丹 羽 和 子	元公立保育園園長	鳥 居 正 幸	公募委員
水 野 嗣 則	堀の内サロン代表	長谷川智香子	公募委員
加 藤 健 一	区長会	山 越 晃 洋	市小中学校PTA連絡協議会

※社会教育委員、公民館運営審議会委員、生涯学習審議会委員は兼任

・ 公民館運営審議会委員

委員は、社会教育委員をもってあて、公民館事業の企画実施につき調整審議する。

定数 12 人以内 任期 2 年

・ 生涯学習審議会委員

委員は、社会教育委員をもってあて、生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する事項を調査審議する。

定数 12 人以内 任期 2 年

・ 小牧市文化財保護審議会委員

文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関して教育委員会へ建議する。

定数 12 人以内 任期 2 年

令和 8 年 7 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
小 野 佳 代	愛知学院大学教授	村 松 正 雄	愛知県環境審議会専門調査員
山 田 諭	美術史家	増 田 理 子	名古屋工業大学大学院教授
藤 堂 修 一	小牧市古文書調査会代表	西 川 菊 次 郎	学識経験者
中 嶋 隆	史跡小牧山整備計画専門委員	兼 子 茂	小中学校長会代表

・ 小牧山歴史館等運営委員会委員

委員は、歴史館等の運営について建議する。

定数 5 人以内 任期 2 年

令和 8 年 5 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
浅 井 啓 介	伝統技術保持者	楠 詩 帆	小中学校長会代表
西 川 菊 次 郎	小牧市文化財保護審議会委員	三 輪 徹	学識経験者
八 木 裕 介	小牧市観光協会事務局長		

・ 史跡小牧山整備計画審議会委員

史跡小牧山の整備及び管理に関する計画について審議する。

定数 12 人以内 任期 2 年

令和 8 年 5 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
西 川 菊 次 郎	小牧市文化財保護審議会委員	玉 木 弘 子	小牧市女性の会
千 田 美 和 子	小牧市文化協会副会長	水 野 嗣 則	小牧市社会教育委員
服 部 哲 也	NPO 法人古代瀬波の里・ 文化遺産ネットワーク副 理事長	志 村 雄 司	(一社)小牧青年会議所委 員
吉 田 龍 夫	小牧市区長会代表	舟 橋 知 生	市職員
國 保 雅 文	小牧商工会議所専務理事	伊 藤 加 代 子	市職員
中 林 一 成	小中学校長会代表	川 島 充 裕	市職員

・ 図書館協議会委員

学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験者など 13 人以内の図書館協議会委員が、図書館の運営に関し意見を述べる。

定数 13 人以内 任期 2 年

令和 8 年 7 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
佐 野 吾 朗	小中学校校長会図書担当	早 川 渡	愛知文教大学図書館長
鈴 木 光	小中学校 PTA 連絡協議会委員	長 江 美 津 子	名古屋経済大学特任教授
光 部 明 美	小牧市社会教育委員	梶 田 光 俊	ボランティアセンター所長
高 木 大 作	(一財)こまき市民文化財団事務局長	舟 橋 鋭 子	公募委員
小 林 仁 美	図書館ボランティア	丸 山 真 由 美	公募委員
森 島 厚 子	指導保育士	水 谷 直 美	公募委員
家 禰 淳 一	愛知大学教授		

・ スポーツ推進審議会委員

委員は、教育委員会の諮問に応じてスポーツの推進に関する事項について調査審議し、これらの事項を教育委員会に建議する。

定数 10 人以内 任期 2 年

令和 8 年 4 月 1 日現在

氏名	備考	氏名	備考
長 尾 英 俊	(公財)小牧市スポーツ協会副会長	御 苗 卓 也	小牧市スポーツ推進委員連絡協議会副会長
木 野 孝 司	(公財)小牧市スポーツ協会競技副委員長	宮 崎 加 代	小牧市体操連盟理事
花 井 忠 征	中部大学副学長	高 原 正 子	公募委員
寺 本 圭 輔	愛知教育大学教授	松 本 高 幸	公募委員
舟 橋 巧	小牧南スポーツクラブ役員		

3 施設

(1) 学校教育

① 幼稚園

令和 8 年 5 月 1 日現在

幼稚園	位置	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	備考
第 一	中央三丁目 193 番地	—	—	仮園舎

② 小学校

令和 8 年 5 月 1 日現在

小学校	位置	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	設置年	設置年	
					児 童 クラブ	放課後子 ども教室
小 牧	小牧三丁目 17 番地	19,967	10,379	明治 6	H12	H20
村 中	村中 1045 番地	17,920	5,514	//	H15	H20
小牧南	若草町 82 番地	21,712	10,301	//	H15	H20
三ツ淵	三ツ淵 480 番地	14,350	4,450	明治 7	H15	H20
味 岡	小松寺五丁目 150 番地	19,074	7,455	明治 41	H13	H21
篠 岡	篠岡二丁目 25 番地	28,508	5,839	明治 42	H12	H20
北 里	下小針中島二丁目 50 番地	17,894	6,373	//	H10	H21
米 野	中央五丁目 339 番地	19,617	7,100	昭和 45	H9	H20
一 色	久保一色 3500 番地	18,684	7,068	//	H8	H20
小 木	小木西二丁目 1 番地	21,689	6,015	昭和 50	H15	H20
小牧原	小牧原新田 1 1 2 5 番地	22,463	6,546	昭和 51	H13	H20
本 庄	本庄 2597 番地 40	21,413	6,193	//	H11	H21
桃ヶ丘	桃ヶ丘二丁目 3 番地	27,160	6,343	//	H7	H20
陶	上末 3450 番地 282	19,651	4,079	昭和 60	H15	H20
光ヶ丘	光ヶ丘三丁目 50 番地	24,150	6,762	昭和 63	H11	H20
大 城	城山三丁目 8 番地	27,415	7,308	平成 2	H15	H20
計		341,667	107,593			

建物面積には屋内運動場面積を含む。

児童クラブ：平成 15 年度で全校設置。平成 26 年度よりこども政策課が所管。

放課後子ども教室：放課後に子どもたちが安全に安心して様々な活動を行うための場として

平成 21 年度で全校設置。平成 26 年度よりこども政策課が所管。

③ 中学校

令和 8 年 5 月 1 日現在

中学校	位置	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	設置年
小 牧	堀の内四丁目 30 番地	30,546	9,782	昭和 22
味 岡	小松寺四丁目 1 番地	29,595	11,904	//
篠 岡	篠岡二丁目 28 番地	33,757	7,108	//
北 里	下小針中島二丁目 170 番地	24,868	7,932	//
応 時	応時一丁目 130 番地	28,340	8,906	昭和 49
岩 崎	岩崎 2588 番地	29,514	8,773	昭和 53
桃 陵	桃ヶ丘二丁目 1 番地	34,777	8,096	昭和 57
小牧西	西之島 2200 番地	29,371	7,413	昭和 58
光ヶ丘	光ヶ丘三丁目 52 番地	31,794	7,974	平成 2
	計	272,562	77,888	

建物面積には屋内運動場面積を含む。

屋内運動場面積には武道場（柔剣道場）を含む。

④ 適応指導教室カルミア・日本語初期教室分室 （平成 25 年 9 月供用開始）

所 在 地	小牧市大字岩崎 250 番地 1
敷 地 面 積	735.82 ㎡
延 床 面 積	256.86 ㎡
施 設 内 容	適応指導教室カルミア〈2 階〉 日本語初期教室分室〈1 階〉
開 室 時 間	適応指導教室カルミア 午前 9 時から午後 2 時 30 分まで 日本語初期教室分室 午前 9 時から午後 2 時 50 分まで

※適応指導教室カルミアは平成 25 年 9 月に現在地へ移転

(2) 学校給食

① 東部学校給食センター (昭和 60 年 4 月供用開始)

所 在 地	小牧市大字上末 3450 番地 260
敷 地 面 積	3,450.64 m ²
建 築 構 造	鉄筋コンクリート造平屋建一部二階建
延 床 面 積	センター棟 1544.21 m ² ボイラー棟 51.70 m ²
設 備 概 要	グランドケトル (3 台)、回転釜 (4 台)、連続揚物機 (1 台)、スチームコンベクションオープン (3 台)、フードスライサー (2 台)、真空冷却機 (1 台)、食缶類洗浄機 (1 台)、超音波洗浄機 (2 台)、全自動食器洗浄機 (1 台)、アレルギーコーナー、その他
配 送 車 両	コンテナ自動車 (2 トン車) × 4 台
総 事 業 費	371,576,000 円
対 象 校	篠岡小学校、本庄小学校、桃ヶ丘小学校、陶小学校、光ヶ丘小学校、大城小学校、篠岡中学校、桃陵中学校、光ヶ丘中学校

② 北部学校給食センター (平成 10 年 4 月供用開始)

所 在 地	小牧市大字間々原新田 630 番地 1
敷 地 面 積	5,148.91 m ²
建 築 構 造	鉄筋コンクリート造二階建
延 床 面 積	センター棟 2,380.88 m ² ボイラー棟 73.75 m ²
設 備 概 要	グランドケトル (3 台)、回転釜 (6 台)、連続揚物機 (2 台)、スチームコンベクションオープン (4 台)、フードミキサー (2 台)、フードスライサー (2 台)、真空冷却機 (1 台)、全自動食器洗浄機 (2 台)、食缶類洗浄機 (1 台)、器具洗浄機 (1 台)、コンテナ洗浄機 (1 台)、アレルギーコーナー、その他
配 送 車 両	コンテナ自動車 (2 トン車) × 4 台
総 事 業 費	1,464,504,000 円
対 象 校	小牧小学校、村中小学校、味岡小学校、一色小学校、小牧原小学校、小牧中学校、味岡中学校、岩崎中学校

③ 南部学校給食センター （平成 22 年 4 月供用開始）

所 在 地	小牧市小針二丁目 572 番地 1
敷 地 面 積	4,963.82 m ²
建 築 構 造	鉄骨造二階建
延 床 面 積	センター棟 2,297.91 m ² 付属棟 74.00 m ²
設 備 概 要	回転釜（9 台）、連続揚物機（1 台）、スチームコンベクションオープン（3 台）、フードミキサー（2 台）、フードスライサー（2 台）、真空冷却機（1 台）、全自動食器洗浄機（1 台）、食缶類洗浄機（1 台）、器具洗浄機（2 台）、コンテナ洗浄機（1 台）、超音波洗浄機（1 台）、アレルギーコーナー、太陽光発電装置、その他
配 送 車 両	コンテナ自動車（2 トン車）×4 台
総 事 業 費	904,210,000 円
対 象 校	小牧南小学校、三ツ渚小学校、北里小学校、米野小学校、小木小学校、北里中学校、応時中学校、小牧西中学校

(3) 社会教育

① 青年の家 (昭和 39 年 4 月開館) 令和 8 年 3 月 31 日閉館

所 在 地	小牧市堀の内一丁目 2 番地		
延 床 面 積	512 m ²		
施 設 内 容	事務室、講義室、談話室、和室、食堂、浴室（宿泊設備あり）		
休 館 日	毎週木曜日（祝日に当たる場合は、その後最も近い平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
開 館 時 間	午前 8 時 30 分～午後 9 時 30 分		
利用状況（総数）	年度	件数（件）	人員（人）
	R 6 年度	2,952	19,445
	R 7 年度	2,974	14,976

② 小牧市公民館 (昭和 47 年 4 月開館)

所 在 地	小牧市小牧二丁目 107 番地		
敷 地 面 積	22,064.78 m ² （借地面積 2,819 m ² 含む）（市民会館併設）		
延 床 面 積	4,918.00 m ²		
施 設 内 容	事務室、学習室、音楽スタジオ、講堂、展示場、和室、茶室、料理教室、視聴覚室、創作室		
休 館 日	毎週月曜日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
開 館 時 間	午前 9 時～午後 9 時 30 分		
利用状況（総数）	年度	件数（件）	人員（人）
	R 6 年度	2,033	32,614
	R 7 年度	8,715	157,485

③ 小牧中部公民館 (昭和 57 年 4 月開館)

所 在 地	小牧市小牧五丁目 253 番地		
敷 地 面 積	4,160.92 m ² （商工会議所会館等含む）		
延 床 面 積	5,245.71 m ² （商工会議所会館等含む）		
施 設 内 容	事務室、大会議室、会議室、茶室、和室、学習室、プラネタリウム		
休 館 日	毎週月曜日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
開 館 時 間	午前 9 時～午後 9 時 30 分		
利用状況（総数）	年度	件数（件）	人員（人）
	R 6 年度	2,235	36,466
	R 7 年度	1,666	30,152

(小牧中部公民館プラネタリウム) (昭和 57 年 7 月開設)

所 在 地	小牧市小牧五丁目 253 番地 小牧中部公民館 5 階		
休 館 日	小牧中部公民館と同じ（休日の月曜日は開館）		
本 体	五藤光学研究所 G X - A T ビデオプロジェクター付		
投 映 限 界 等 級	6.25 等級		
投 映 恒 星 数	6,500 個		
ド ー ム 径	直径 12m		
座 席 数	80 席（1 方向タイプ）		
利用状況（総数）	年度	入場者数（人）	投映回数（回）
	R 6 年度	17,955	679
	R 7 年度	17,966	666

④ 東部市民センター （平成元年 9 月開館）

所 在 地	小牧市篠岡二丁目 23 番地		
敷 地 面 積	11,115.70 m ²		
延 床 面 積	3,867.12 m ²		
施 設 内 容	事務室、図書室、講堂、会議室、学習室、和室 1、和室 2、料理教室、視聴覚室、集会室、篠岡支所		
休 館 日	公民館 金曜日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 図書室 金曜日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 特別整理期間（年 1 回 5 日間） 篠岡支所 土曜日、日曜日、祝日、 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ※施設工事等による臨時休館有		
開 館 時 間	公民館 午前 9 時～午後 9 時 30 分		
利用状況（総数）	年度	件数（件）	人員（人）
	R6 年度	3,832	98,250
	R7 年度	3,642	83,463

⑤ 北里市民センター （平成 4 年 9 月開館）

所 在 地	小牧市下小針中島二丁目 130 番地		
敷 地 面 積	3,364.11 m ²		
延 床 面 積	3,506.22 m ²		
施 設 内 容	事務室、図書室、講堂、和室、料理教室、視聴覚室、集会室、学習室、会議室、控室、北里支所、北里児童館、消防署南支署		
休 館 日	公民館 水曜日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 図書室 水曜日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 特別整理期間（年 1 回 5 日間） 北里支所 土曜日、日曜日、祝日、 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 北里児童館 月曜日、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日） ※施設工事等による臨時休館有		
開 館 時 間	公民館 午前 9 時～午後 9 時 30 分		
利用状況（総数）	年度	件数（件）	人員（人）
	R6 年度	2,041	36,955
	R7 年度	2,112	38,994

⑥ 味岡市民センター（平成 8 年 4 月開館）

所 在 地	小牧市久保新町 60 番地		
敷 地 面 積	5,869.20 m ²		
延 床 面 積	5,319.68 m ²		
施 設 内 容	事務室、図書室、講堂、和室、多目的室、料理教室、学習室、視聴覚室、創作室、会議室、味岡支所、消防署北支署		
休 館 日	公民館 火曜日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 図書室 火曜日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 特別整理期間（年 1 回 5 日間） 味岡支所 土曜日、日曜日、祝日、 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ※施設工事等による臨時休館有		
開 館 時 間	公民館 午前 9 時～午後 9 時 30 分		
利用状況（総数）	年度	件数（件）	人員（人）
	R 6 年度	3,576	113,845
	R 7 年度	3,314	84,476

⑦ 小牧市市民会館（昭和 46 年 7 月開館）

所 在 地	小牧市小牧二丁目 107 番地		
敷 地 面 積	22,064.78 m ² （借地面積 2,819 m ² 含む）（公民館併設）		
延 床 面 積	5,461.42 m ²		
施 設 内 容	ホール、客室、舞台、楽屋、リハーサル室		
休 館 日	毎週月曜日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）		
開 館 時 間	午前 9 時～午後 9 時 30 分		
利用状況（ホール 利用人員）	年度	件数（件）	人員（人）
	R 6 年度	15	4,500
	R 7 年度	494	127,580

⑧ 小牧山歴史館（昭和 43 年 4 月開館） 令和 5 年 4 月 1 日リニューアルオープン

所 在 地	小牧市堀の内一丁目 1 番地				
延 床 面 積	629.21 m ²				
施 設 内 容	受付、休憩スペース、フォトスポット、小牧の歴史、小牧山と城下町の姿、常設展示室（戦国時代の尾張国、ミニシアター、戦国クイズコーナー、展望室）				
休 館 日	第 3 木曜日、ただし木曜日が祝日と重なるときは、その翌日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
開 館 時 間	午前 9 時～午後 4 時 30 分（常設展示室への入場は午後 4 時 15 分まで）				
利用状況（総数）	年度	来場者総数 （人）	常設展示室 入場者数（人）	内訳	
				大人（人）	小人（人）
	R 6 年度	105,911	53,321	43,778	9,543
	R 7 年度	111,002	52,664	44,407	8,257

※入場口の計測機数値

⑨ 小牧山城史跡情報館（れきしるこまき）（平成 31 年 4 月開館）

所 在 地	小牧市堀の内一丁目 2 番地				
延 床 面 積	999.24 m ²				
施 設 内 容	受付、常設展示室、レクチャールーム、企画展示・資料室、収蔵品展示室				
休 館 日	第 3 木曜日、ただし木曜日が祝日と重なるときは、その翌日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）				
開 館 時 間	午前 9 時～午後 5 時（常設展示室への入場は午後 4 時 30 分まで）				
利用状況（総数）	年度	来場者総数 （人）	常設展示室 入場者数（人）	内訳	
				大人（人）	小人（人）
	R 6 年度	96,530	37,383	32,588	4,795
	R 7 年度	100,596	35,971	31,447	4,524

⑩ 小牧市創垂館（令和 4 年 4 月再開）

所 在 地	小牧市堀の内一丁目 2 番地			
延 床 面 積	145.7 m ²			
施 設 内 容	主座敷、次の間、十畳、台所			
休 館 日	毎週木曜日（祝日に当たる場合は、その後最も近い平日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）			
開 館 時 間	午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分			
利用状況（総数）	年度	貸館		見学人員（人）
		件数（件）	利用人数（人）	
	R 6 年度	368	9,412	309
	R 7 年度	295	4,744	640

⑪ 図書館

小牧市中央図書館（令和３年３月２７日開館）

所 在 地	小牧市中央一丁目 234 番地
延 床 面 積	6,378.79 m ²
施 設 内 容	エントランスエリア、イベントスペース、児童図書エリア、おはなしのへや、予約本受取コーナー、カフェ、ティーンズ図書エリア、ボランティア活動室、サイレントルーム、一般図書エリア、グループワークルーム、個人ブース、郷土資料エリア、ビジネス情報コーナー、参考図書エリア、読書バリアフリーコーナー、対面読書室、公開書庫、研究個室、多目的室、貴重資料保管庫、配本用書庫、閉架書庫
休 館 日	・毎月最終月曜日 （ただし、祝日又は 12 月 31 日の場合は直前の月曜日） ・年末年始（12 月 31 日～1 月 3 日） ・特別整理期間（年 1 回 5 日間）
開 館 時 間	午前 9 時 00 分～午後 9 時 00 分 ※1 階エントランスエリアは、午前 8 時から開館

えほん図書館（平成 20 年 7 月 19 日開館）

所 在 地	小牧市小牧三丁目 555 番地
延 床 面 積	867.54 m ²
施 設 内 容	開架書架、おはなしの部屋、乳児スペース
休 館 日	・毎月第 3 火曜日とその前日の月曜日 （月曜日が祝日の場合は開館し、水曜日を休館） ・年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
開 館 時 間	午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分

東部市民センター図書室（平成元年 9 月 12 日開設）

所 在 地	小牧市篠岡二丁目 23 番地
延 床 面 積	528.3 m ²
施 設 内 容	開架図書室、親子図書室（おはなし室）
休 室 日	・金曜日 ・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ・特別整理期間（年 1 回 5 日間）
開 室 時 間	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分 （職員在室時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時 00 分）

北里市民センター図書室（平成 4 年 9 月 1 日開設）

所 在 地	小牧市下小針中島二丁目 130 番地
延 床 面 積	181.1 m ²
施 設 内 容	開架図書室
休 室 日	・水曜日 ・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ・特別整理期間（年 1 回 5 日間）
開 室 時 間	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分 （職員在室時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時 00 分）

味岡市民センター図書室（平成 8 年 4 月 1 日開設）

所 在 地	小牧市久保新町 60 番地
延 床 面 積	412.0 m ²
施 設 内 容	開架図書室
休 室 日	・ 火曜日 ・ 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ・ 特別整理期間（年 1 回 5 日間）
開 室 時 間	午前 9 時 30 分～午後 8 時 00 分 （職員在室時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時 00 分）

① 小牧市総合運動場 (昭和63年3月竣工)

- 130 -

② 小牧市南スポーツセンター

所 在 地	小牧市郷中二丁目201番地			
施 設 内 容	○グラウンド（ナイター照明4基）（昭和51年3月竣工） 面 積 25,195.99㎡ 野球（2面）又はサッカー場兼陸上競技場（1面）			
施 設 内 容	管理棟 503.64㎡ 控室、更衣室、放送室、シャワー室 ○水泳プール（7・8月のみ開場）（昭和48年9月竣工） 徒渉プール 302.14㎡ 50mプール 950.00㎡（9コース） 管 理 棟 360.75㎡ 管理室、更衣室、シャワー室 プールスタンド（150人） ○武道館（昭和55年9月竣工） 建築延床面積 2,014.93㎡ 1 階 1,026.20㎡ 2 階 988.73㎡ 構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 2階建て 1 階 柔道場 631.00㎡（240畳） 管理棟 395.20㎡ 事務室、応接室、ロビー、更衣室、シャワー室 2 階 剣道場 643.50㎡ 管理棟 345.23㎡ 会議室、講師控室、更衣室、シャワー室			
休 場 日	・グラウンド及び武道館 毎週木曜日 （木曜日が祝日の場合は、その日後において、その日に最も近い平日） ・年末年始（12月28日から1月4日まで）			
利 用 状 況	施設名	年度	件数（件）	人員（人）
	グラウンド	R 6年度	471	14,841
		R 7年度	463	16,960
	武道館	R 6年度	3,571	50,705
		R 7年度	3,671	50,189
	プール	R 6年度		13,579
		R 7年度		15,441



〔南スポーツセンター武道場〕



〔南スポーツセンタープール〕

③ 小牧市さかき運動場 （昭和48年10月竣工）

所 在 地	小牧市新小木一丁目73番地			
施 設 内 容	○野球場（ナイター照明4基） 面 積 12,119.57㎡（1面） ○テニスコート（ナイター照明） コート 6,498.00㎡（6面 砂入人工芝） 管理棟 鉄筋コンクリート平屋建て 96㎡ 事務室、更衣室、シャワー室 ○多目的コート（ナイター照明） コート 2,121㎡（2面 ハードコート）			
休 場 日	・毎週水曜日（水曜日が祝日の場合は、その日後において、その日に最も近い平日） ・年末年始（12月28日から1月4日まで）			
利 用 状 況	施設名	年度	件数（件）	人員（人）
	野球場	R 6年度	409	6,162
		R 7年度	400	5,575
	テニスコート	R 6年度	6,012	28,085
		R 7年度	6,258	28,560
	多目的コート	R 6年度	759	8,409
		R 7年度	868	10,539



〔さかき運動場テニスコート〕



〔さかき運動場多目的コート〕

④ 小牧市大輪体育館 （昭和57年2月竣工）

所 在 地	小牧市小牧一丁目114番地		
敷 地 面 積	1,350.39㎡		
施 設 内 容	構造規模：鉄骨ダイヤモンドトラス構造一部2階建て 868.74㎡ 1階 競技場（30m×20m）、器具庫、管理室、 玄関ホール、更衣室、シャワー室 2階 ミーティングルーム（2室）、倉庫		
休 館 日	・毎週木曜日（木曜日が祝日の場合は、その日後において、その日に最も近い平日） ・年末年始（12月28日から1月4日まで）		
利 用 状 況	年度	件数（件）	人員（人）
	R6年度	3,441	19,032
	R7年度	3,354	18,647



[大輪体育館]

⑤ 中学校グラウンド夜間開放施設 （平成8年9月竣工）

小牧西中学校

所 在 地	小牧市大字西之島2200番地	
施 設 内 容	ナイター照明6基	
利 用 種 目	ソフトボール、サッカー、少年野球等	
利 用 状 況	年度	件数（件）
	R6年度	132
	R7年度	156

桃陵中学校

所 在 地	小牧市桃ヶ丘二丁目1番地	
施 設 内 容	ナイター照明6基	
利 用 種 目	ソフトボール、サッカー、少年野球等	
利 用 状 況	年度	件数（件）
	R6年度	112
	R7年度	109

⑥ 小牧市スポーツ公園（パークアリーナ小牧）

所 在 地	小牧市大字間々原新田737番地
敷 地 面 積	113,662㎡（公園面積）
施 設 内 容	○総合体育館（平成13年10月竣工） 延床面積 17,287㎡ ◇アリーナ棟 構造：鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄骨造 ・メインアリーナ 競技フロア 2,600㎡（65m×40m） 観覧席 3,000席 固定席：1,868席 可動席：1,120席 車椅子：12席 主要施設 交流サロン、エントランスホール、 休憩コーナー、事務室、ロッカー室、 シャワー室、選手控室、器具庫、放送・ 映像室、備蓄倉庫等 ・サブアリーナ 競技フロア 1,400㎡（40m×35m） 観覧席 302席（固定席：300席、車椅子：2席） 主要施設 子供遊戯室、器具庫等 ◇トレーニングジム棟 構造：鉄筋コンクリート造 平屋建て 主要施設 トレーニングジム（327㎡）、 フィットネススタジオ（187㎡）、 会議室（A・B・C・和室）、 トレーナー控室、資料室、倉庫、 シャワー室、ロッカー室等 ○サッカーグラウンド（平成18年3月竣工） グラウンド 68m×135m ナイター設備：照明8基（1基8灯） 芝の種類：人工芝 使用用途：サッカー、フットサル、ラグビー、グラウンドゴルフ等 観覧席：約200人収容 ○駐車場 普通車：440台 大型車：10台 身障者：7台

施 設 内 容	○その他の施設 見晴らしの丘、水と緑のコリドール、遊戯広場、多目的広場、スケーティングエリア、瞑想の森、自由広場等			
休 場 日	・毎月第4木曜日（木曜日が祝日の場合は、その日後において、その日に最も近い平日） ・年末年始（12月29日から1月3日まで）			
利 用 状 況	施設名	年度	件数（件）	人員（人）
	メインアリーナ	R 6年度	2,973	114,036
		R 7年度	2,867	102,804
	サブアリーナ	R 6年度	2,687	42,764
		R 7年度	2,858	45,294
	トレーニング ジム・スタジオ プログラム	R 6年度		74,579
		R 7年度		78,172
	フィットネス スタジオ（貸館）	R 6年度	222	3,303
		R 7年度	224	3,429
	会議室・和室	R 6年度	1,718	28,404
		R 7年度	1,514	22,994
	ジョギング コース	R 6年度		1,279
		R 7年度		1,913
	サッカー グラウンド	R 6年度	1,178	46,682
		R 7年度	1,381	53,862



[パークアリーナ小牧]

小 牧 の 教 育

(令和 8 年度)

令和 8 年 9 月発行
発行 小牧市教育委員会

小牧市堀の内三丁目 1 番地
(0568) 72-2101



SDGs 未来都市 **こまき**

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち